

# PROBLEM PARADISE

Issue 102

vol. 26

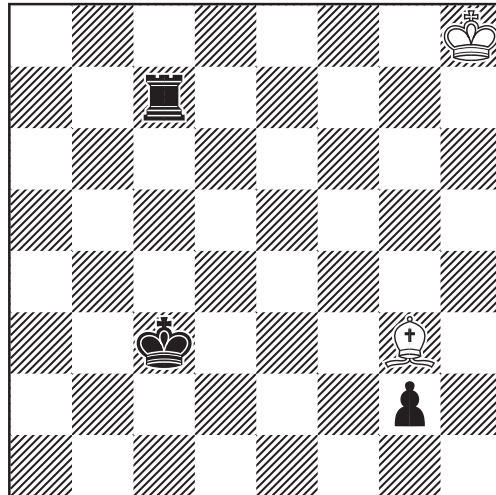
April-June 2023

Online Journal of Japanese Chess Problem Society

<https://problem-paradise.com/>

General Editor: Tadashi Wakashima (tadashi@hcn.zaq.ne.jp)

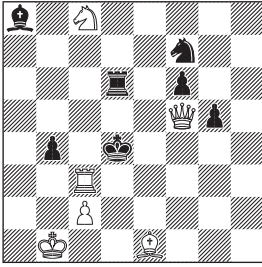
H1432      Zlatko Mihajloski  
C+      (North Macedonia)



H#8

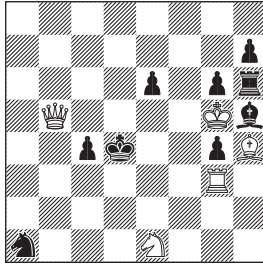
(2+3)

**D669** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



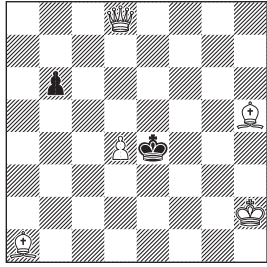
#3 (6+7)

**D670** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



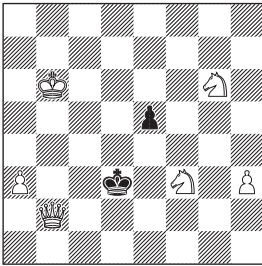
#3 (5+9)

**D671** Petrašin Petrašinović  
C+ (Serbia)



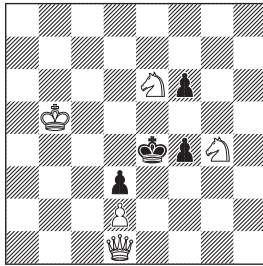
#3 (5+2)

**D672** Petrašin Petrašinović  
C+ (Serbia)



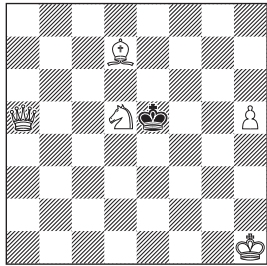
#3 (6+2)

**D673** Petrašin Petrašinović  
C+ (Serbia)



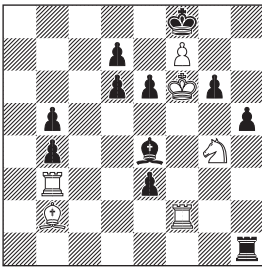
#4 (5+4)

**D674** Petrašin Petrašinović  
C+ (Serbia)



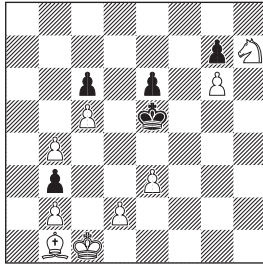
#4 (5+1)

**D675** Antonio Tarnawiecki  
C+ (Peru, USA)



#5 (6+11)

**D676** Steve Dowd  
C+ (USA)



#9 (9+5)

# Directmate

## Editor

Yuji Kikuta (菊田裕司)

Judge 2022-2023

Hiroimi Tutsui (筒井浩実)

☆担当の事情により投稿いただいた作品のうちいくつかは次号回しとなります。あしからずご了承ください。

☆ Due to some reasons of editor, some originals are not published in this issue, but will be published in the next issue (Problem Paradise 103).

Sorry for the inconvenience.

## D669 (Makaronez)

1.Se7!(2.Qc5+Ke4 3.Qe3#)  
1...bxc3 2.Bf2+ Kc4 3.Qc5#  
1...Rd5 2.Qg4+ Ke5 3.Bg3#  
1...Bd5 2.Bf2+ Kc3 3.Qd3#  
1...Se5 2.Qf2+ Ke4 3.Qe3#

☆ Grimshaw と Self-block. 簡潔な構図でうまくできています。

☆ Grimshaw and Self-block. Well done with simple structure.

## D670 (Makaronez)

1.Qb5-c6 ! waiting  
1...Sc2(Sb3) 2.S(x)c2+ Ke5 3.Re3#  
1...c3 2.Rd3+ Ke5 3.Bg3#  
1...Ke5 2.Qc5+ Ke4 3.Re3#  
1...e5 2.Rd3+ 2.cxd3 3.Bf2#

## D671 (Petrašinić)

1.Qg8! (2.Qe6 Kd3/Kf4 3.Qe2/Qe5#)  
1...Kd3 2.Qb3+ Ke4/Kd2 3.Qf3/Qc3#  
1...Kf5 2.Qd5+ Kf4/Kf6 3.Qe5#  
1...Ke3 2.Qg3+ 2.Kd2/Ke4 3.Qc3/Qf3#  
1...Kf4 2.Qg3+ Ke4/Kf5 3.Qf3/Qe5#

## D672 (Petrašinić)

1.Sgh4!  
1...Ke4 2.Qc3 Kd5/Kf4 3.Qc6/Qxe5#  
1...Kc4 2.Qc2+ Kd5 3.Qc6#  
1...Ke3 2.Qd2+ Ke4 3.Sg5#  
1...e4 2.Se5+ Ke3 3.Sg2#

## D673 (Petrašinić)

1.Sd4!  
1...Kd5 2.Qb3+ 2...Ke4 3.Qe6+ Kxd4  
4.Qc4#  
2...Kd6 3.Qf7 ~ 4.Sf5#  
1...Kxd4 2.Qf3 f5 3.Qxf4+ Kd5 4.Qe5#  
1...f3 2.Qxf3+ Kxd4 3.Qc6 ~ 4.Qc4#

## D674 (Petrašinić)

1.Bc6!  
1... Kf5 2.Qb4 Ke5 3.Qf4+ Ke6 4.Qf6#  
2...Kg5 3.Qf4 Kh5 4.Be8#  
2...Ke6 3.Qe7+ Kf5 4.Bd7#  
1...Kd4 2.Qc3+ Ke4 3.Qe3+ Kf5 4.Bd7#  
1...Ke4 2.Qd2 Kf5/Ke5 3.Qf4+ Ke6 4.Qf6#  
1...Ke6 2.Qc7 Kf5 3.Qf4+ Ke6 4.Qf6#

## D675 (Tarnawiecki & Dowd)

1.Be5! (2.Bxd6#) dxe5 2.Sxe5 (3.Sxe7#)  
Rd1 3.Rd3! Rxd3 4.Rc2 Bc6(Bb7)/Rc3  
5.Sxg6/Sxd7#

☆ 3.Rd3! が気持ちのいい捨て駒です。  
☆ 3.Rd3! is nice feeling sacrifice.

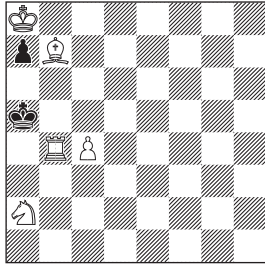
## D676 (Dowd)

1.Bd3! Kd5 2.Sf6+! Ke5 (2...gxf6? 3.g7)  
3.Se8 Kd5 4.Kd1! Ke5 5.Bb1 Kd5 6.d3 Ke5  
7.d4+ Kd5 8. Bd3! e5 9.Sc7#

☆ Bd3-Bb1-Bd3 と 2 回スイッチバックが狙い。簡単ですがうまくできています。  
☆ 2 times white bishop switchback. Simple but nice.

**Issue 100**

**D631** Marian Frańk  
C+ (Poland)



#4 (5+2)  
b) Rb4→b2

- a) 1.c5! waiting a6 2.Bxa6 Kxa6 3.Sc3 Ka5  
4.Ra4#  
b) 1.Sc3! (2.Rb5#) a6 2.Bxa6 Kxa6 3.Sd5  
Ka5 4.Ra2#

Author: MM X2, miniature, annihilation b.  
pa7, sacrifice wBb7. Swap the game.

黒川：入門といった感じで解きやすい。

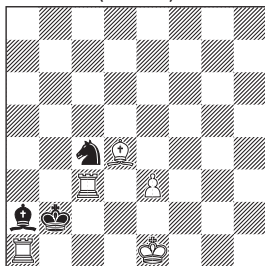
Oikawa: b5・b6 地点を押さえる駒の違い。  
The difference between the pieces that  
work for b5 and b6 squares.

太刀岡：被り手が多い印象。

☆太刀岡さんのコメントにある通りで、a) と b)  
があまり変わらない感じがします。

[ ○ 6 △ 0 × 0 - 4 ]

**D651** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



#2 (5+3)

- 1.Kd1! (2.Rd3#) 1...Sxe3+/Bb3+/Kxa1  
2.Rxe3/Rc2/Rc1#

内田：王手されに行く

水野：わざわざチェックを掛けられにくんで  
すね。

黒川：あえてチェックされる位置に行くのがう  
まい。

太刀岡：チェックのかかる位置に移動するのが  
面白い。

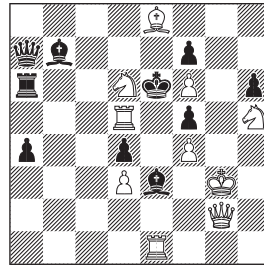
宮嶋：1...Kxa1 2.Rc1# がミエミエなのでイン  
パクトが弱い。

Oikawa: 両王手と開き王手。Discovered  
check and double check.

☆わざわざチェックを掛けられに行くというの  
は面白いのですが、これは少し単調です。

[ ○ 10 △ 0 × 0 - 0 ]

**D652** Aleksandr Pankratyev  
C+ (Russia)



#2 (10+10)

- 1.Se4! (2.Re5#)  
1...Bf2+ 2.Sxf2#  
1...Bxf4+ 2.Sxf4#  
1...fxe4 2.Qxe4#  
1...Ra5 2.Rd6#  
1...Kxd5 2.Qa2#  
1...Qc5/Qb8 2.Sxc5#  
1...Bxd5 2.Sg7#

水野：d6 の S があまり働いていないから動か  
してみました。

Oikawa：白 Knight の使い方が重要。How to  
use white Knight is important.

太刀岡：変化が多くそれぞれ別の駒なのが良い。

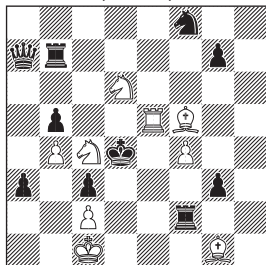
黒川：一目やってみたい手。どの変化もびつた  
りきれいに割り切れている。

☆ e3B をアンピン & g2Q の利きをとめて d5R  
をブラにする 1.Se4! がいい感じのキー。変化

が多くどれもきれいでうまくできています。

[○8△0×0-2]

**D653** Aleksandr Pankratyev  
C+ (Russia)



#2 (9+10)

- 1.Se3! (2.Re4#)  
1...Rf1+ 2.Sxf1#  
1...Rxc2+ 2.Sxc2#  
1...Rxf4 2.Rd5#  
1...Re7 2.Sxb5#

Oikawa: 三方向に動く黒 Rook。D652 より良いと思う。A black Rook that moves in three directions. I think it's better than the D652.

宮嶋: 舞台装置の割には狙いがシンプル。

太刀岡: 変化を R に統一。

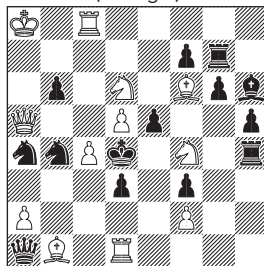
黒川: 何に使うのかわからない駒がいくつかある。別の手を防いでいるのかもしれないが、もう少し削れそうところ。

☆ g7P は 1.Sd3? に 1...g6 で逃れるため、f8S は 1.Se6? を防ぐためですが、確かにもう少し何とかなりそうな気がします。

☆ D652 に続きこれもアンピンしてチェックをかけさせるキー。黒の応手を R に統一しているというのはありますが、変化の多さやキーの味の良さから私は D652 の方が良いように思いました。

[○9△0×0-1]

**D654** Givi Mosiashvili  
C+ (Georgia)



#2 (12+14)

- 1...Sc3 2.Qxb6#  
1...Sc6 [a] 2.Rxd3 [A]#  
1...Kc3 [b] 2.Bxe5 [B]#  
1... d2 2.Sb5 [D]#  
1. Re1? (2. Sb5 [D] , Bxe5 [B]#)  
1...Sc6 [a] 2. Re4 [E]#, But 1...Kc3 [b] !  
1. Sxd3? (2. Bxe5 [B]#)  
1... Kc3 [b], 2.Sb5 [D]#  
1...Sc6 [a] 2.Sf4 [C]#  
1... Sxd3 2. Rxd3 [A]#, But 1...Bf4!  
1.Bxd3! (2. Sb5 [D] #)  
1... Kc3 [b] 2.Bxe5 [B]#  
1...Sc6 [a] 2.Bb1 [F]#  
1...Sxd3 2.Rxd3 [A] #,  
1...Sc3 2.Qxb6#

Author: Le Grand theme, changes mates, Dombrovskis theme

Oikawa:c3 地点に焦点を当てた作品。A problem focused on c3.

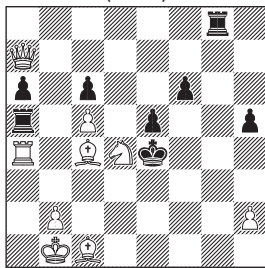
太刀岡: 右辺があまり使えていない感じ。

黒川: 黒のディフェンスがもう少しある方が良く気がする。

☆ Le Grand と Dombrovskis の組み合わせで、うまくできています。

[○6△0×0-4]

**D655** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



#3 (9+8)

1.Qd7!(2.Qc6+Kd4 3.Qd5#)  
1...Rc5 2.Qf5+ Kd4 3.Qd3#  
1...ed 2.Qe6+Kf3 3.Qe2#  
1...Rc8(Rd8) 2.Bd5+! Kd3/cxd5 3.Qh3/  
Qf5#

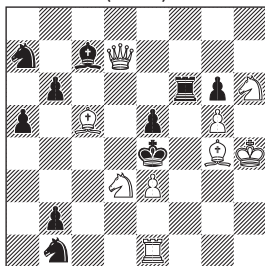
Oikawa:Ra4の利きが通っているか否かで分かる。The branches depending on whether Ra4' s line is open.

太刀岡：Q が様々な地点に動く。

☆変化がきれいにできています。1...Rc8/Rd8 が限定されていないのがちょっと難ですが。

[ ○ 2 △ 1 × 0 - 7 ]

**D656** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



#3 (9+10)

1.Be2!(2.Sf2+Rf2 3.Qd3#)  
1...bxc5 2.Bf3+!Rf3/Kf3 3.Sxc5/Qg4#  
1...Rf4+ 2.Sf4 exf4 (3.Qd5/Qd3/Qa4#)  
1...Rd6 2.Qf7(3.Qf3/Sd2#) Rf6 3.Qc4#  
1...Bd6 2.Qb7+ Sc6 3.Qc6#

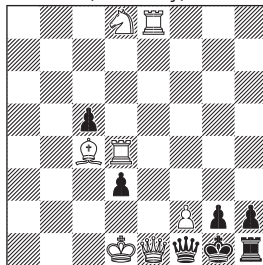
中嶋：初手が見えずに大苦戦しました。

太刀岡：それぞれの変化が全く違う手順になって面白い。

☆変化が楽しめますが、なかでも 1...bxc5 に対する 2.Bf3+ からのメイトが気持ちいいですね。

[ ○ 2 △ 1 × 0 - 7 ]

**D657** Udo Marks  
C+ (Germany)



#11 (7+7)

black begins with set play

set:

2. Rf4! d2 3.Kxd2 Qxe1 4.Rxe1#

play:

1...d2 2.Rxd2 Qxe1 3.Rxe1#

1...Qxe1+ 2.Kxe1 d2+ (2...cxd4 3.Rf8... see the main-line!)

3.Kxd2 cxd4 4.Rf8... see the main-line!

3...Kxf2 4. Re2+ Kf3/Kg3 5.Re3+ Kf2 6.Rf4+ Kg1 7.Re1#

4...Kg1 5.Rg4 Kf1 6.R2g2#

4...Kf1 5.Rf4+ Kg1 6.Re1#

1...cxd4 2.Rf8 d2 (2...Qxe1+ 3.Kxe1 d2+ 4.Kxd2 d3 5. Se6 Kf1 6.Bxd3+ Kg1 7. Sf4 Kxf2 8.Se2#)

3. Kxd2 Qxe1+ (3...d3 4.Sf7 Qxe1+ Kxe1...see the main-line)

4. Kxe1 d3 5.Sf7 d2 6.Kxd2 Kxf2 7.Sg5+ Kg3 8. Se4+ Kh4 9.Be2(10.Rh8#) Rd1+ 10.Bxd1 (11.Rh8)

(8...Kh3 9.Be6+ Kh4 10.Rh8#)

(8...Kg4 9.Be2 Kh4/k3 10.Rh8#)

☆本手順に戻る分岐が2つあってなんかすっきりしない感じです。

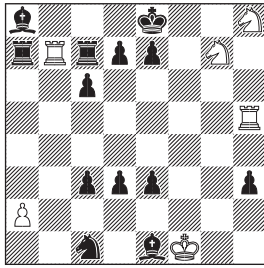
[ ○ 2 △ 0 × 0 - 8 ]

## D658

Udo Marks

C+

(Germany)



#14

(6+13)

black begins

1...Kd8 2.Sf7+ Kc8 3.Rb4 (4.Rh8#)  
 e2+ 4.Kg1 Bf2+ 5.Kxf2 e1=Q 6.Kxe1  
 d2+ 7.Kd1 c2 8.Kxd2 Sb3 9.Rxb3 c1=Q  
 10.Kxc1 Rcb7 11.Rh8+ Kc7 12.Se8+ Kc8  
 13.Sed6+ Kc7 14.Kc8#

1...Kf8 2.Se6+ dxe6 3.Rb8+ Rc8 4.Rxc8  
 Kg7 5.Rg5+ Kh7 6.Sf7 e2+ 7.Kg1+ Bf2+  
 8.Kxf2 e1=Q 9.Kxe1 d2+ 10.Kf2 d1=S  
 11.Kg3 Se2+ 12.Kh2 (13.Rh8#)

☆細かい変化は煩雑になるため省略し、メイン  
 ラインと 1...Kf8 のみ記載しました。

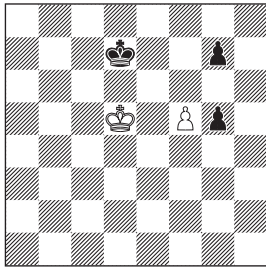
太刀岡：エンドゲームのような逆王手。

中嶋：黒のディフェンスが難解。どちらの変化  
 も #14 だったら更に良かったかも。

☆初手の変化で途中から白の応手が変わるのが  
 面白いところですが、これも同手数の方が良い  
 という中嶋さんの意見に同感です。

[ ○ 2 △ 0 × 0 - 8 ]

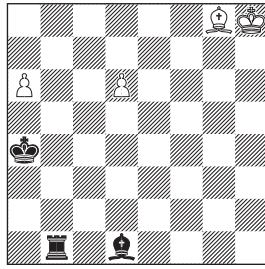
**E224** Toshiji Kawagoe  
(川越敏司)



Draw

(2+3)

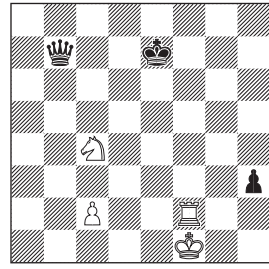
**E225** Toshiji Kawagoe  
(川越敏司)



Win

(4+3)

**E226** Toshiji Kawagoe  
(川越敏司)



Win

(4+3)

## Endgame

### Editor

Ryo Shiomi [塩見 亮]

### Judge 2023

Mario G. Garcia (Argentina)

日本人作家の endgame study は珍しいのですが、今号では川越さんから3作投稿をいただきました。

いずれもシンプルな miniature (駒数7つ以下) で、取り組みやすい問題です。これまで endgame に挑戦したことがないという方も、今回はぜひ!

### E224 (Kawagoe)

1.Ke4! Kd6 2.Kf3 Ke5 3.Kg4 Kf6 4.Kh5!  
Kxf5 Draw

☆ 1 ポーンダウンのポーンエンディング。さらに f5 の P も取られれば、基本的には負けです。

☆ た ち え ば 1.Kd4? は、1...Ke7 2.Ke5 Kf7 3.Ke4 Kf6。1.Ke5? も、1...Ke7 2.Ke4 Kf6 と、いずれも白が zugzwang になってしまいます。どうやっても f5 の P が落ちそうですが……?

☆ 1.Ke4! から、f3 ~ g4 ~ h5 というルート

が正解でした。やはり f5 の P は取られますが、その瞬間 stalemate となってドローです。

☆ バツと見、corresponding squares の問題かと思いましたが、まっすぐに h5 に逃げ込むのが正解でした。

★ It looks like an example of corresponding squares at first sight. It turned out that WK simply rushes to h5!

### E225 (Kawagoe)

1.a7! Bf3 2.d7 Rd1 3.Bd5! Bxd5 (3...Rxd5 4.a8=Q+) 4.d8=Q Win

☆ 初手は 2 択でしょう。1.d7 の方は、1...Rb8 と 8 段目を守られてしまうのでダメそうです。2.Kg7 Ka5 3.a7 Rd8 4.Be6 Rxd7+ 5.Bxd7 Bf3= が一例。

☆ 正解は 1.a7。1...Bf3 2.d7 Rd1 と、B と R で promotion をびったり防がれたように見えますが……。

☆ 3.Bd5! が盤上この一手の、焦点の捨て駒。と将棋っぽく言いましたが、Novotny のテーマですね。B で取れば R の利きがなくなるので 4.d8=Q、R なら B が止まるため 4.a8=Q+ とできるという仕掛けです。

☆ 黒 B が空けたマスに黒 R が移動するという Umnov も実現したという作者からのコメントもありました。



★ 3.Bd5! is the point, showing the famous theme of Novotny.

### E226 (Kawagoe)

1.Rf7+ Kxf7 2.Nd6+ Ke6 3.Nxb7 Kd5  
4.Na5 Kd4 5.Nb3+ Kc3 6.Na1 Win

☆実戦をされる方なら、初手は「ひと目」かもしれません。実際、作者の過去の対局がヒントになっているそうです。

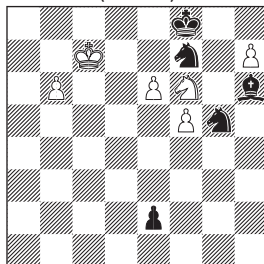
☆ 2.Sd6+ で K と Q のフォークがかりますが、それで終わりではありません。P を取られてしまうと draw なので、S で P を支える必要があります。この場合は黒 K に取られずに行けるのが a1 しかなく、6.Sa1 までが唯一解でした。

★ The study was extracted from the author's actual game. It is a bit pity that the route of WS doesn't make Rundlauf.

### Issue 100

Editor: Hiroshi Manabe

### E208 Andrzej Jasik (Poland)



Draw (6+5)

1.e7+! Kxe7 2.Sd5+! Kf8! 3.b7 e1=Q  
4.b8=Q+ Qe8 5.Qxe8+ Kxe8 6.Sf6+ Kf8  
7.h8=Q+ Sxh8 8.Sg4! Bg7 9.f6! Draw

☆ 初手 1.b7? は 1...Sxe6+! 2.fxe6 Bf4+ で b8 地点を守られてしまうので、1.e7+ Kxe7 は必然です。

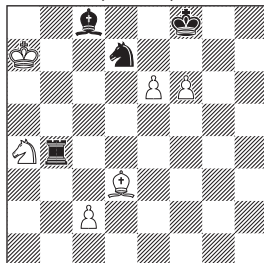
☆ ここで 2.Sg8+? とすると 2...Kf8 3.b7 Se6+ 4.fxe6 Bf4+ 5.Kd7 e1=Q 6.e7+ Kg7 7.e8=Q Qd2+ で黒勝ち。2.Sd5+! とこちらからのチェックが正解で、2...Kf8 3.b7 e1=Q 4.b8=Q+ 5.Qe8 5.Qxe8+ Kxe8 と進みます。

☆ 残った黒の駒は、B+S+S の 3 枚。ここから B を取ることができればドローなので、この後の手順は B に狙いを定めます。

☆ 6.Sf6+ Kf8 (6...Ke7 7.Sg8+) の局面で、7.h8=Q+ がうまい手で、以下 7...Sxh8 8.Sg4 Bg7 9.f6 で無事にビショップを捕獲してドローになります。

[ ○ 0 △ 2 × 1 ]

### E209 Andrzej Jasik (Poland)



Draw (6+4)

1.Sb6! Rxb6 2.exd7 Rb7+ 3.Ka8! Rxd7  
4.Kb8! Bb7 5.Bb5! Rf7 6.Bc4 Rh7 7.Bd3  
Rd7 8.Bb5 Rd5 9.c4 Draw

☆ e8でのプロモーションが見えますが、いきなり1.e7+?とするのは、1...Kf7 2.Bg6+ Kxf6! 3.e8=Q Rxa4# でメイトにされて失敗です。

中嶋：初手のS捨てで決まる。

☆ 1.Sd6! が焦点の捨て駒。1...Sxb6 なら予定通り 2.e7+ Kf7 3.Bg6+ Kxf6 4.e8=Q で白勝ちです。

☆ 黒は 1...Rxb6 と取りますが、ここで 2.e7+? とするのでも 2...Kf7 3.Bg6+ (3.Bc4+ Ke8) Kxf6 4.e8=Q Ra6# で失敗します。

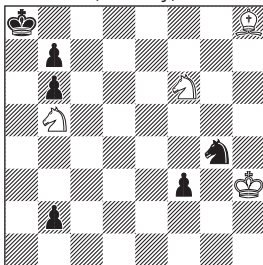
☆ 白は方針変更で 2.exd7 とナイトを取り、2...Rb7+ 3.Ka8 Rxd7 4.Kb8 と進めます。

☆ 4...Rd8 5.Kc7 Re8 6.Bg6 はドローなので、黒は 4...Bb7 としますが、5.Bb5! とすると黒ルークの安全な場所がありません。以下、5...Rf7 6.Bc4 Rh7 7.Bd3 Rd7 8.Bb5 Rd5 9.c4 となってドローです。

☆ 解答者全員正解でした。

[ ○ 3 △ 0 × 0 ]

### E210 Jarl Henning Ulrichsen (Norway)



Win (4+6)

1.Sa3! f2 2.Kg2 Se3+ 3.Kxf2 Sd1+ 4.Ke2!  
Sc3+ 5.Kd3! b1=Q+ 6.Sxb1 Sxb1 7.Sd5!  
Sa3 8.Bb2! Sb5 9.Be5! Ka7 10.Kc4! Ka6  
11.Kb4! Sa7 12.Sc7# Win

☆ 初手 1.Sc3? は 1...f2 2.Kg2 Se3+ 3.Kxf2 Sd1+ 4.Sxd1 b1=Q で黒勝ちなので、手順中の Sd1 のフォークを避けて 1.Sa3! が正解で

す。

☆ 以下、1...f2 2.Kg2 Se3+ 3.Kxf2 Sd1+ 4.Ke2! Sc3+ 5.Kd3! b1=Q+ 6.Sxb1 Sxb1 まで一気に進みます。

☆ 7.Sd5! がこの後、メイトの狙いを作るキームーブ。黒は 7...Sa3 とナイトを助けたいといけません。

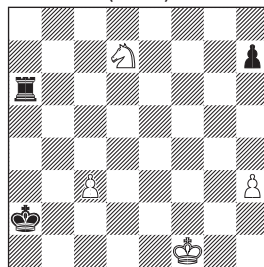
☆ 8.Bb2! が一見ナイトの逃亡を助けるように見え、指しにくい手ですが、8...Sb5 9.Be5! と進むと、黒の2枚のポーンが壁駒になっており、黒キングが急に危険に晒されます。

☆ 9...Sa7 10.Sxb6# があるので、黒は 9...Ka7 とせざるを得ず、これで黒ナイトの行き場がなくなりました。10.Kc4 に 10...Sa3+ とするのは、11.Kb3 Sb1 (11...Sb5 12.Kb4 Ka6 13.Bb8) 12.Bf4 で白勝ち。

☆ 作意の 10...Ka6 には 11.Kb4! Sa7 12.Sc7# でメイトになります。

[ ○ 0 △ 2 × 1 ]

### E211 Michael Pasman (Israel)



Draw (4+3)

1.Kf2! Ra7 2.Sc5! Rc7 3.Se6! Rxc3 4.Kg2  
Kb3 5.Sg5! h6 6.Sf7 h5 7.Sg5! Kc2 8.Se6!  
Kd2 9.Sg7! Rc5 10.Kf3! Rg5 11.Se6 Rg8  
12.Sf4 h4 13.Sg2! Rg3+ 14.Kf2 Rxh3  
15.Se1! Rh2+ 16.Kg1 Rh3 17.Kf2 Kd1  
18.Sf3 Draw

☆ 簡素な初形ですが、初手に迷うところです。

1.Kg2? は Try で、1...Ra7 2.Sc5 Rc7! 3.Se6 Re7! 4.Sg5 Rg7 がピンになって黒勝ちです。

☆ 作意は 1.Kf2! Ra7 (1...Rd6 2.Sc5 Rc6 3.Se4 Kb3 4.Kf3) 2.Sc5! Rc7 と進み、ここで 3.Se4 と頑張るのは、3...Kb3 4.Ke3 Kc4

5.Kf4 Kd5 6.Kf5 Rf7+ 7.Sf6+ Kd6 8.Kg5 Ke6 となって黒勝ちです。

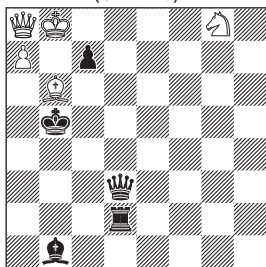
☆正解はポーンを捨てて、3.Se6+ とする手で、3...Re7 に対しては今度はキングの位置が違うので 4.Sg5! と指すことができます。

☆作意の 3..Rxc3 に対しては、4.Kg2 Kb3 5.Sg5! h6 6.Sf7 h5 7.Sg5! Kc2 8.Se6! Kd2 9.Sg7! (9.Sf4? h4 10.Sg6 Rg3+) Rc5 (9...h4 10.Sf5 Rc4 11.Kf3) 10.Kf3! とhポーンを取りに向かい、以下、手数は掛かりますが、10...Rg5 11.Se6 Rg8 12.Sf4 h4 13.Sg2! Rg3+ 14.Kf2 Rxf3 15.Se1! Rh2+ 16.Kg1 Rh3 17.Kf2 Kd1 18.Sf3 でドローになります。

☆正解者無し。解きにくい問題だったようです。

[ ○ 0 △ 0 × 3 ]

**E212** Leonid Topko (Ukraine)



Draw (5+5)

1.Se7 Qd8+ 2.Sc8 Qxc8+ 3.Kxc8 Bf5+ 4.Kxc7 Rd7+ 5.Kb8 Kxb6 6.Qc6+ Kxc6 7.a8=Q+ Kb6 8.Qa7+ Rxa7 Draw

☆初手に迷うところですが、1.Qh1? cxb6 2.Qh5+ Kb4、1.Bd4? Qxd4 2.Qb7+ Qb6 とも続きません。

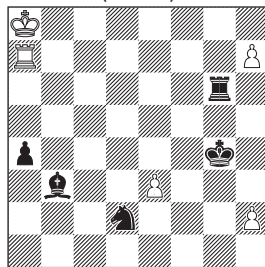
☆正解は 1.Se7 で以下、Qd8+ 2.Sc8 の局面で、2...Bf5 の抵抗は 3.Qb7 Bxc8 4.Qxc8 Qxc8+ 5.Kxc8 Ra2 6.Kxc7 でドローです。

☆作意は、2...Qxc8+ 3.Kxc8 Bf5+ 4.Kxc7 Rd7+ 5.Kb8 Kxb6 まで進んで、ここで手が止まります。

☆困ったようですが、6.Qc6+ Kxc6 7.a8=Q+ Kb6 とクイーンのタダ捨てで Pa7 を消去してから、8.Qa7+! Rxa7 となって、鮮やかなステイルメイトでドローになります。

[ ○ 0 △ 1 × 2 ]

**E213** Pavel Arestov (Russia)



Win (5+5)

1.h8=Q Bd5+! 2.Kb8 Rg8+ 3.Qxg8+ Bxg8 4.Rg7+ Kh3 5.Rg3+!! Kxh2 6.Rxg8 Sc4 7.e4 a3 8.Kc7 a2 9.Ra8 Kg3 10.Rxa2 Kf4 11.Ra4! Sd2 12.Kd6! Sxe4+ 13.Kd5 Win

☆初手 1.h8=Q はこの一手ですが、黒の応手がポイントです。1...Rg8+ の変化は、2.Qxg8+ Bxg8 3.Rg7+ Kh3 4.Rxg8 Kxh2 と進んだところで、5.Kb8! が唯一の勝ちの手になります。

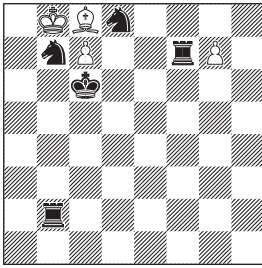
☆作意は 1...Bd5+ 2.Kb8 を交換してから、2...Rg8+ 3.Qxg8+ Bxg8 4.Rg7+ Kh3 と進み、ここで上の変化と同じく 5.Rxg8? とすると、5...Kxh2 6.Kc7 a3 7.Rg4 Sf1 8.Ra4 Sxe3 でドローになります。つまり 5...Kxh2 の局面はツークツワンクということです。

☆正解は、5.Rg3+!! Kxh2 6.Rxg8 の手順で、先程のツークツワンクの局面で手番を渡した形になります。

☆以下は 6...Sc4 7.e4 a3 8.Kc7 a2 9.Ra8 Kg3 10.Rxa2 Kf4 11.Ra4! (11.Re2? Ke5!) Sd2 12.Kd6! Sxe4+ 13.Kd5 で白勝ちとなります。

[ ○ 0 △ 3 × 0 ]

**E214** Sergey Osintsev  
(Russia)



Draw (4+5)

1.Bd7+ Kxd7 2.c8=Q+ Kd6 3.g8=Q Sc6+  
4.Qxc6+ Kxc6 5.Qe8+!! Rd7! 6.Qc8+! Kd6  
7.Qf8+ Ke6 8.Qh6+! Kd5 9.Qh1+!! Kd6  
10.Qh6+ Kd5 11.Qh1+ Kc4 12.Kc8! Rf7!  
13.Qe4+! Kb5 14.Qe5+! Kc6 15.Qe4+!  
Kb5 16.Qe5+ Draw

☆白は2つのポーンがプロモーションできる一方で、すぐにもキングがメイトされそうな初形です。従って、1.Bd7+ Kxd7 2.c8=Q+ Kd6 3.g8=Q とスピード重視でクイーン2つを作ります。

☆ここで3...Sc5+ は4.Ka8 Ra2+ 5.Kb8 Sd7+ 6.Qxd7+ Kxd7 (6...Rxd7 7.Qf8+) 7.Qxd8+! Kxd8 でスタイルメイトです。

☆作意は3...Sc6+ で4.Qxc6+ Kxc6 を強制する手。ここで慌てて5.Qxf7? Sd6+! は失敗。クイーンのチェックは手が広いところですが、5.Qe8+!! が好手で5...Rd7! (5...Kd6 6.Qxf7 Sd8+ 7.Kc8! Sxf7 はスタイルメイト) 6.Qc8+! Kd6 7.Qf8+ Ke6 8.Qh6+ Kd5 と進めるのが作意です。

☆ここも手が広いですが、9.Qg5+? は9...Kc4! 10.Kc8 Rf7! 11.Qc1+ Kb3 12.Qe3+ Ka4! 13. Qd4+ Rb4 14.Qd1+ Ka5! 15.Qd5+ Rb5! 16.Qa2+ Kb4 17.Qb2+ Kc4 18.Qe2+ Kd4!! 19.Qxb5 Sd6+ で黒勝ち、9.Kc8? Rf7! 10.Qh1+ Ke5! 11.Qh5+ Rf5 12.Qh8+ Rf6 も黒勝ちです。

☆正解は9.Qh1!! Kd6 10.Qh6+ Kd6 と11.Qh1 とパーペチュアルを狙い、黒の11...Kc4 に対して12.Kc8! と躲す手です。

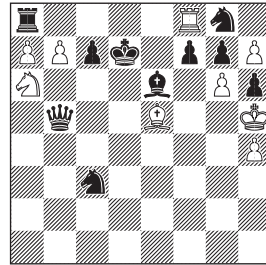
☆黒はここでも12...Rf7 と指しますが、こ

の局面では13.Qe4+ のチェックがあり、13...Kb5 14.Qe5+ Kc6 15.Qe4+ Kb5 16.Qe5+ でパーペチュアルチェックのドローに持ち込むことができます。

☆省略した変化が多数。手の広いクイーンエンディングの難問でした。

[○0△3×0]

**E215** Alexey Gasparyan  
(Armenia)



Draw (9+10)

1.Sb8+! Rxb8 2.axb8=S+ Ke7 3.Sc6+ Kxf8 4.b8=Q+ Qxb8 5.Sxb8 Sd5! 6.Sd7+ Bxd7 7.Bxg7+ Kxg7 8.h8=B+ Kf8 9.g7+ Ke7 Draw

☆導入部は1.Sb8+! Rxb8 2.axb8=S+ Ke7 3.Sc6+ までは自然に進みます。ここで3...Qxc6 は4.hxg8=S+ Kxf8 5.b8=Q+ Qe8 6.Qxe8+ Kxe8 7.Bxc3 でドローです。

☆作意は3...Kxf8 4.b8=Q+ Qxb8 5.Sxb8 Sd5 (5...fxg6+ 6.Kxg6 Bf7+ 7.Kf5 Se7+ 8.Kg4) と進んだ局面が考え所です。

☆ここで6.Sd7+ Bxd7 と捨てる手が見えれば収束が見えてきます。以下、7.Bxg7+ Kxg7 8.h8=B+ とアンダープロモーションし、8...Kf8 9.g7+ Ke7 でスタイルメイトのドローになります。

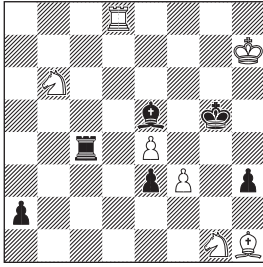
☆初手で捨てたSが2手目のアンダープロモーションで復活、7手目で捨てたBが8手目のアンダープロモーションで復活という、2度のPhoenixがテーマの作品でした。

[○0△2×1]

## E216

Peter Krug

(Austria)



Win

(7+6)

1.f4+! Bxf4 2.Rg8+! Kf6 3.Sd5+ Ke5  
 4.Re8+ Kd6 5.Rd8+ Ke5 6.Sf3+ Kxe4  
 7.Kg6 Rc6+ 8.Sf6+! Rxf6+ 9.Kxf6 a1=Q+  
 10.Rd4+ Qxd4+ 11.Se5# Win

☆初手は 1.f4+! はピースの効きを通す自然な手。1...Kxf4 に対しては、2.Rf8+! Kg3 3.Rg8+ Kh2 (3...Kf2 4.Sxh3+ Ke2 5.Rg2+) 4.Sf3+ Kxh1 5.Rg1# で白勝ちです。

☆ 作意の 1...Bxf4 に対しては 2.Sd5? がメイトスレットで上手い手に見えますが、2...Rc7+! 3.Sxc7 a1=Q となってドローです。

☆正解は 2.Rg8+! Kf6 としてからの 3.Sd5+。これは 3...Ke5 で手順に中央に逃がしてしまうように見えますが、4.Re8+ Kd6 5.Rd8+ Ke5 6.Sf3+ Kxe4 7.Kg6 と網を絞ります。

☆ 7...a1=Q 8.Sc3+! Qxc3 9.Sg5+ Ke5 10.Rd5# のメイトがあるので、黒は 7...Rc6+ と粘り、以下 8.Sf6+! Rxf6+ 9.Kxf6 a1=Q+ とチェックでプロモーションして守り切ったように見えますが。

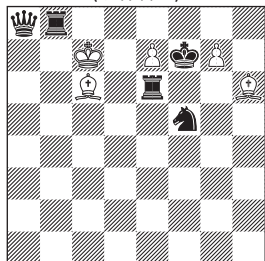
☆ 10.Rd4+ Qxd4+ 11.Se5# と逆チェックの応酬で鮮やかに中央でのメイトになります。意外な詰め上がりでした。

[ ○ 0 △ 0 × 3 ]

## 【総評】

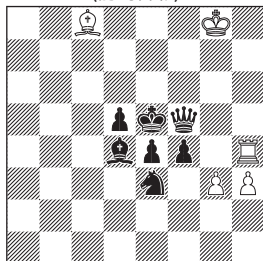
太刀岡：エンドゲームの解答に挑戦します。初めてなので突拍子もない答を書いていると思いますが、温かく見守っていただけたら幸いです。  
 ☆多くの問題に解答をお寄せいただきありがとうございます。ありがとうございました。

**H1420** Kankuh Kobayashi  
C+ (小林看空)



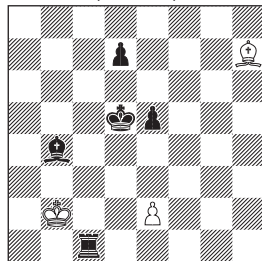
H#1.5 2sols (5+5)

**H1421** Hiroaki Maeshima  
C+ (前嶋啓彰)



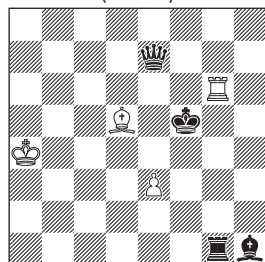
H#2 3sols (5+7)

**H1422** Dmitri Grinchenko  
C+ (after S. Hudák) (Ukraine)



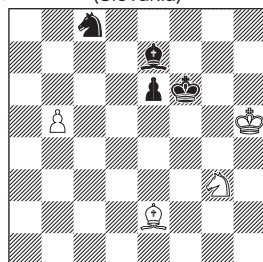
H#3 2sols (3+5)

**H1423** Aleksandr Pankratiev  
C+ Yuri Gorbatenko (Russia)



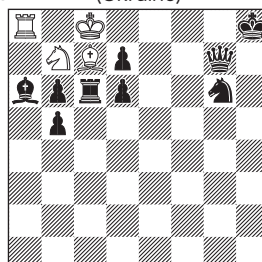
H#3 2sols (4+4)

**H1424** Stanislav Hudák  
C+ (Slovakia)



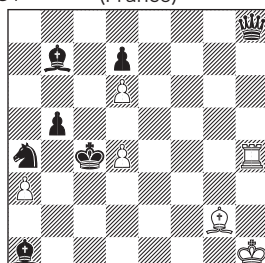
H#3 2sols (4+4)

**H1425** Evgeny Gavryliv  
C+ (Ukraine)



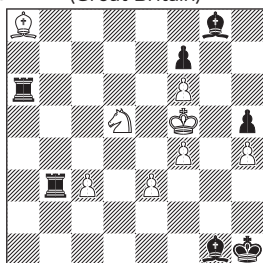
H#3 2sols (4+9)

**H1426** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



H#3 2sols (6+7)

**H1427** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



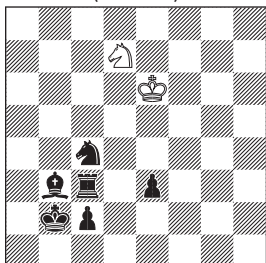
H#3 b)Bg1→h2 (8+7)

**H1428** C+ Fadil Abdurahmanović  
Marko Klasinc (Bosnia Hercegovina, Slovenia)



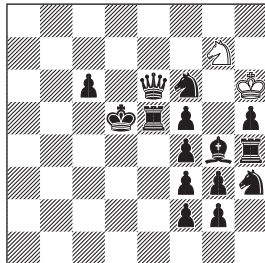
H#3.5 2sols (3+10)

**H1429** Carlos de la Fé Dahlin  
Kaj Engström  
C+ (Sweden)



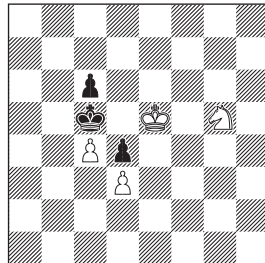
H#4 2sols (2+6)

**H1430** Jorge Lois  
C+ (Argentina)



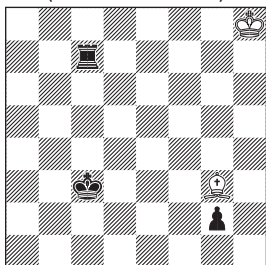
H#4 (2+15)  
b/c) Sg7→g6/g5

**H1431** Niels Danstrup  
C+ (Denmark)



H#5 2sols (4+3)

**H1432** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#8 (2+3)

## Helpmate

### Editor

Toshimasa Fujiwara [藤原俊雅]

### Judge 2023

Michal Dragoun (Czech)

●今号は 13 題の作品発表です。前号に引き続き、Hans Gruber さんから英語で、小林敏樹さんと及川弘典さんから日本語で先に短評をいただくことができました。ありがと

うございました。103号以降も先に短評を送ってくださる方を募集しています。1ヶ月ほどで 10～20 作のヘルプの感想を書くという作業になります。やっても良いよという方がいらっしやいましたらメールか Twitter の DM までご連絡ください。

●また現在のプロバラでは、従来の解答募集の代わりとなる短評募集も行っています。解答を見ていただいて (鑑賞で) 構いませんので、作品の感想を送ってください。翌号に掲載されます。先に短評を送るのは厳しいけどそれなら出来るよ、という方はぜひお願いし

ます。

This issue has 13 compositions. Very thankfully, Mr. Hans Gruber continues to write comments! HG means the comment of Hans Gruber, TF means the comment of Toshimasa Fujiwara.

### H1420 (Kobayashi)

1...e8=R 2.Rf6 g8=Q#

1...e8=B+ 2.Ke7 g8=S#

●手数を切り詰めて 1.5 手で AUW。H#2 よりもむしろ新鮮味があり、これはこれで一つの方向だと思えます。

及川：AUW を超シンプルに実現。

小林：2...g8=Q# の解で、白 B2 枚とも不要になるのはちょっとまずいのでは？

●RQ 成に比べて、BS 成は利きが乏しいため余分に白駒が必要になっています。その辺りを工夫できれば良かったのですが、手数的にも配置的にも工夫の余地が少なかったのかもしれません。

HG：A clap for the author's bravery to omit the first black move which is not needed for the theme, white Allumwandlung based on two pawns. It is evident that the mates must be given by the Q and S promotion, so the first moves are the R and B promotions. With the move of the black king, this is cleverly arranged. However, it is a burden of a mortgage that both white bishops are superfluous in the RQ solution.

TF：I seem to hear the author's voice that "H#2 is too long for AUW". The setting efficiency could have been better if the RQ solution was devised.

### H1421 (Maeshima)

1.Qxh3 Rh6 2.Sf5 Re6#

1.Qxc8+ Kf7 2.Kf5 Rh5#

1.Qe6+ Kg7 2.Qd6 gxf4#

●見える手順の一つは 1.Q ~ Rh6 2. Sf5 Re6# というものです。この時、黒 Q の移動先は (逆王手や白 R のルート等に注意すると) h3 に限定されます。所謂 Correction で、まずこれが解の 1 つ。

●残りの 2 解も黒 Q、白 K の動きが上手く限定されており綺麗にできています。

及川：bQ の動きを楽しむ 3 解。ブロック駒の交換・同地点着手が上手い。

小林：白 K が手順の限定にうまく活用されている。

●Hans Gruber 氏は、1.Qe6+ の解は余詰に近いのではと指摘しています。私は 1.Qxh3 と 1.Qxc8+ の解を一对のものだと捉えなかったのも、そうは思いませんでした。HG：Two capturing hideaway moves by the BQ on the c8-h3 diagonal – and a strange third solution. I wonder whether it is rather an "anti-identical solution" or an "accepted cook".

TF：The moves of black Queen and white King are well defined. In my opinion, 1.Qe6+ is just one solution because the solutions of 1.Qxh3 and 1.Qxc8+ are not a pair.

### H1422 (Grinchenko)

1.Rc5 e3 2.Kc4 Kc2 3.d5 Bd3#

1.Rc6 Bf5 2.Bc5 Kc3 3.d6 e4#

●白の手は 2 解で完全に対応しています。

●白 P だけでなく、黒 P もシングルステップとダブルステップの対比になっていて、比



較的薄味なもの悪くない小品と言えます。  
小林：2解で白黒のPが1、2ステップ。きれいにできている。

及川：綺麗な役割交換。bRの移動地点の違いがいい感じ。

HG : A tiny achievement, with the interference of the rook line as a common element of the solutions. A pity that the BPe5 spoils the second ideal mate.

TF : Contrast between single step and double step by both sides of Pawn. A lovely work!

### H1423 (Pankratiev, Gorbatenko)

1.Qf6 Rh6 2.Rg6 Bf3 3.Kg5 Rh5#

1.Qe5 Bb3 2.Bd5 Rg3 3.Ke4 Bc2#

●この作者が量産している「H#3でのRとBの対比」の1作です。普段はそこに同地点着手のおまけを付けることが多いですが、今回作者はUmnovを味付けしました。小林さんと及川さんともにそこに言及されており、作者の狙いはまず成功と言えそうです。

小林：難しかった。白R/Bのいる場所を黒R/Bがブロックするのがいい感じ。配置も無駄がない。

及川：本作も綺麗な役割交換。ウムノフがアクセント。

● Hans Gruberさんのコメントはオリジナルティへの言及で、これはHelpmate作家なら考えておかなければならないことです。

HG : More than 20 years ago, Nikola Stolev presented in Orbit (no. 11, 2001) a selection of 81 H#3 with the white material KRB which was taken from a collection of more than 1,600 such problems! Chris Feather commented this as a splendid selection (Die Schwalbe,

no. 194, 2002) which, however, inevitably caused boredom – the 81 problems, not the 1,600 ones. I wonder how many such problems have been published since 2001. Is it possible that new discoveries can be made in this area. Did the authors check all those (more than) 1,600 relatives to assure the originality of H1423? It looks so simple (little strategy, just a change of functions of WR and WB) that this is an important question.

TF : Exchange of functions of wR & wB, bR & bB from only 8 pieces. Umnov is a good spice.

### H1424 (Hudák)

1.Bd6 Kh4 2.Be5 Sh5+ 3.Kf5 Bd3#

1.Bd8 b6 2.Ke7 Sf5+ 3.Kd7 Bb5#

●SでcheckからBでメイト、を2種類。2解で舞台が分裂しているので解き辛いですね。

及川：「可もなく不可もなく」といった所だけど、Bd6～Sh5+の流れはいい。

小林：3...Bb5 #はすぐ見えるが、もう一つに悩んだ。統一性は全くないけど、頑張って2解にしたのですね。

●この作者は少ない駒数で纏めることに拘っているのか、肝心の手順が物足りなくなってしまう傾向にあるようです。

HG : Just a nice little problem without depth (in the style of the early helpmate era), but it has to be deplored that the WP and the BS are idle in one of the solutions.

TF : W2 and W3 are related in two solutions, but the separation of mate positions weakens the relevance.

## H1425 (Gavryliv)

1.Bxb7+ Kxb7+ 2.Qg8 Bd8 3.Qh7 Bf6#  
1.Rxc7+ Kxc7+ 2.Sf8 Sd8 3.Sh7 Sf7#

●初手はミエミエ。それもまた Help らしくて良いです。

●お互いの駒を取り合った局面で白 R が check をかけています。黒は一旦それを受け、そのあと h7 を self-block するという手順が 2 解で統一されています。

●特に 1 解目の Q による self-block は、1 手で Qh7 とできるのを 2 手かけないといけないのが面白いですね。

小林：単純な仕組みだけど、ダブルチェックの実現に協力する黒の手はなるほどと思った。

及川：ジラヒ&両王手。綺麗な手順・構成。

HG : The strong white material must be put in some hardship (the officers are pinned or corralled and far away from the BK) – and efforts are needed to resolve the Gordian knot. This is achieved is a remarkably analogous and attractive play on the 8th rank and on the square h7.

TF : B1 is obvious, but good. Black piece moves once to the 8th rank to prevent check and then reaches h7. It is especially interesting that Queen takes two moves when she could move to h7 in one move.

## H1426 (Onkoud)

1.Be4 Bf3 2.Bd3 Bh5 3.Bc3 Bf7#  
1.Qh7 Rh5 2.Qd3 Rxb5 3.Sc3 Rb4#

●白の B のみ動く解と R のみ動く解で対比。

●同地点着手が 2 回 (d3, c3) 入り、詰上り

も美しい model mates と、仕上がりは良いのではないのでしょうか。

小林：ピンライン上を動く 1 手目と、c3 への S/B のブロック。これだけで作品にしてしまうのは流石。

及川：双方の線駒繰り（特に白）が見事。ブロック駒の違いもいい。

●オリジナリティの問題は、H#3 で R/B の対比となると付き纏ってくるものではありません。

HG : Two white soloists perform on stage, including a move on the pin line. To some degree, the comments to H1423 are valid here as well.

TF : White moves only one piece in each solution(including Pelle move). Play on the same square twice and beautiful model mates. Very well constructed.

## H1427 (Jones)

a)1.Rxc3 Sxc3+ 2.Rc6 Se2 3.Bh2 Bxc6#  
b)1.Rxf6+ Sxf6+ 2.Rb7 Sg4 3.Bg1 Bxb7#

●答えを見る前に、まずは考えてみてほしい作品。

小林：a) で 1.Rxf6 Sxf6+ 2.Rb7 Sg4... と h2 の穴を押さえに行くと、黒のデンボがなくて詰まない。あえてふさがっている方を押さえに行くのが、なんともユーモラス。

● tempo move がないことによって、それぞれの解でわざわざ手間のかかる方を選択する。いかにもこの作者らしい、楽しいアイデアではありませんか。

及川：類比性に特化。巧いなあ。

●黒 R もやっていることはほとんど同じ。しかし着手位置だけは変えてあって、それが作品の印象を良くしています。

●それでも捉え方によっては、斜めのライン

を軸にシンメトリックだということも出来ませう。そして、そう見えてしまった人にとってこの作意は、それほど意味の感じられない足し算の表現に映ったことでしょう。

HG : The composer succeeded to present a problem which is austere on the one side, but jolly at the same time. The play on the diagonal (and leaving it) is coarse but effective. The antinomy of the twinning mechanisms and the third black moves is a striking feature.

TF : Interesting magic generated by the lack of tempo moves. This kind of humor is the author's specialty! However, it can also be considered symmetric about the a8-h1 axis.

#### H1428 (Abdurahmanović, Klasinc)

1...Ra4 2.Ke5 Bb4 3.Kd4 Bc5+ 4.Kd3 Rd4#

1...Ba3 2.Kf6 Rb4 3.Ke7 Rb7+ 4.Kd8 Be7#

● 白のRとBでバッテリーを組み (Grimshaw)、両王手で詰みというH#3は見飽きるほどに見ました。しかし本作はそこから一歩踏み込んでいます。

及川：バッテリー構築→解放→スイッチバックで詰み×2。「こうだったらいいな」という手順・構成が実現されていて、素晴らしい。小林：白B、Rがいる地点を經由して黒Kを通してやってからスイッチバック。2解の対称性も申し分なし。

●このスイッチバックが入っただけで、作品の印象は激変します。ここまでやった前例があるのかどうか。元のアイデアがよく見るものなので全く無いとも思えませんが、白が4手指せて余詰みやすくなった中、この配置で仕上げたのは見事です。

●これには Hans Gruber 氏も手放しに絶賛。作者名に相応しい秀作でした。

HG : Again a WR-WB helpmate, but what an achievement and what a substantial progress compared to the majority of those problems. The extension to 3.5 moves is splendidly use to tremendously increase the strategic depth and the innovativeness! In each solution, one of the pieces performs a critical move, then it is being interfered, then the line is opened again, and then a triumphant switchback crowns the solution – the triumph is based on the proof that the critical move serves a unique strategic purpose ( “zweckrein” in terms of the New-German logical school) rather than on the visual switchback effect. A perfect masterpiece without white pawns.

TF : How many H#3 have we seen, starting with white Grimshaw and ending with double checkmate? This work does not fall into that category, there is switchback after double check. Cooks are well prevented and made with very economical setting. An excellent composition!

#### H1429 (Fé Dahlin, Engström)

1.e2 Kd5 2.Rd3+ Kc5 3.Kc3 Sf6 4.Sb2 Se4#

1.Kc1 Sc5 2.Kd2 Sxb3+ 3.Kd3 Kd5 4.Sd2 Sc1#

●KとSでのメイト形を探す問題。

及川：地味だけれども、bKとbRの最終位置交換が洒落ている。

小林：1解で不要になるe3Pをテンポに使って、辻褄を合わせた。

● tempo move(1.e2) や 駒 取 り (2...Sxb3+) という印象に残る手がいずれも片方の解でのみ登場するため、全体のバランスはあまりうまく行っていないように感じました。

HG : An economical presentation without deep strategy.

TF : Two model mates, including tempo move in one of them. It is a pity that capturing black piece (2...Sxb3+).

### H1430 (Lois)

a)1.Re4 Sxf5 2.Qe5 Sd6 3.Ke6 Se8 4.Kf5 Sg7#

b)1.Re3 Sxf4+ 2.Ke5 Sxe6 3.Se4 Sf8 4.Kf4 Sg6#

c)1.Re2 Sxf3 2.Qe3 Sg1 3.Ke4 Sxh3 4.Kf3 Sg5#

● 作意を見ていただければ狙いは一目瞭然。トリプル・レントラウフです！

● トリプルのレントラウフという Abdurahmanovic が 3 つ子で R, B, S をそれぞれレントラウフする大傑作を作っていますが、本作は 1 つの駒の位置を変えてそれぞれレントラウフさせます。

及川 : wS の一回転×3。面白かった。

小林 : S のレントラウフ 3 通りをきれいに実現。1...Sxf4+ でチェックがかかる b) に工夫があるんですね。

● check がかかる関係で、b) のみ 2 手目に K が動いて 3 手目に self-block する、という順序になります。また、c) のみ白 K が働いていないという問題にも触れておきましょう。

● このように、3 つの解の間には微妙にズレが生じているわけですが、その中で破綻なく纏めた作者のテクニックを評価したいですね。

HG : The white constellation is similar to

the previous problem's one. There are many more black pieces, but also much more contents. An excellent twinning mechanism provokes a remarkable theme, three times Rundlauf of the WS (it has to be accepted that there are many captures) and nice and analogous BR moves.

TF : Triple rundlauf by one white Knight!

It is also an interesting point that the destination of black Rook in B1 changes in response to the position of white Knight. An ambitious and challenging work, although it is unfortunate that the white King does not function in c).

### H1431 (Danstrup)

1.Kb6 Kd6 2.Kb7 Kc5 3.Kc7 Kb4 4.Kd6 Ka5 5.Kc5 Se4#

1.Kb4 Kxd4 2.Kb3 Ke3 3.Kc3 Ke2 4.Kd4 Kd2 5.c5 Sf3#

及川 : 双方の王の位置関係が大事。wK が初形から a5 地点へワープした局面になる Kb6 の解がいいですね。

● 白 K の通すための黒 K の Rundlauf が見られる 1 解目が良いですが、2 解目も双方 tempo で悪くありません。

小林 : 双方テンポの解と、黒 K 一回転の解。あまり特長がない。

● 盤上 7 枚でこの 2 手順が実現されているというだけで充分でしょう。対照性を狙いとしていないので所謂ヘルプらしい作品ではありませんが、私はこういっても結構好きです。

● 2 解ともモデルメイトにできていれば作品価値はさらに高まったでしょう。

HG : A nice puzzle with coordinated royal marches.

TF : The dancing of both Kings is very attractive. The absence of similar moves

increases the value of this work. A nice discovery!

### H1432 (Mihajloski)

1.Kb2 Kg8 2.Rc2 Kf7 3.g1=S Ke6 4.Se2 Kd5 5.Sc3+ Kc4 6.Ka1 Kb3 7.Sb1 Be5+ 8.Rb2+ Bxb2#

●白はKとBのみという長編ヘルプの典型的な形。

及川：詰み形が予想しやすく、理詰めですらすら解ける易しい長編でした。

小林：これが完全限定とは驚き。理屈だけで解けるので、楽しかった。

●手数に怯えることはありません。お二人の短評の通り、長くても理屈で解けるものは易しいです。本作の場合、盤の隅の中で一番近いのはa1であり、その周りをself-blockする際に黒マスのBでは役に立たないので、Pの成りはSだと分かります。あとは白Kを最速で連れて来れるような黒の手順を考えれば良いわけです。

●まさに流れるような手順。このタイプの作品は数が多く、何を基準に良し悪しを判断すべきなのか私にも分かっていないのですが、本作は可愛くてお気に入りです。

HG：Such positions immediately tell the solver that there must be a diagonal royal march (as John Nunn wrote long ago in his book *Solving in Style*), and it is not surprising that the WK walks down from g8 to b3. With five men only this is a pleasant presentation.

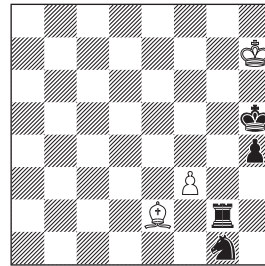
TF：It was well received by the solvers! The way black limits the order of moves is very technical. There are so many helpmates which white consists only of King and one Bishop, but this one is my favorite.

### Issue 100

●100号出題分の解答者は11名でした。これで解答募集形式は終了となります。今まで解答・コメントをしていただき本当にありがとうございました。

TF means the comment of Toshimasa Fujiwara.

### H1379 Mei Komai C+ (駒井めい)



H#2 2sols (3+4)

1.Rh2 f4+ 2.Sf3 Bxf3#  
1.Rg7+ Kxg7 2.Sh3 f4#

●ネットを中心に活動されている駒井めい氏の作品。

作者：黒駒2枚の利きの対処として捨てるか退かすかが2解で変わる。

●一見テーマが分かり辛いですが、確かに1解目の2.Sf3と2解目の1.Rg7+は捨駒になっていて、統一感があります。

則内：捨駒と無力化が2解で入れ替わる所が良い。

水野：Rが強すぎるのでなんとかするんですね。

原岡：Kをうごかせないと思ったらRを捨てる手がありました。

宮嶋：RをKに食わせてしまう手順は面白い。

黒川：最終手fxg4にもできそうな雰囲気。

太刀岡：配置が軽く、手順も対比感がある。

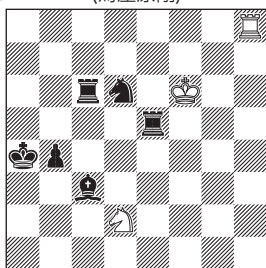
及川：バッテリーを開くタイミングの違い。  
bR の移動距離、bS 跳ねの対照がアクセント。

● 1.Sh3 Bd3 2.Sg5 Bg6# という解答が複数  
ありました。Sg5 の時点で check がかかって  
いるので不正解です。

● 作者はこれがプロパラ初投稿。次回作も楽し  
みです。

TF：A light work by the new Japanese  
composer!

**H1380** Go Umayabara  
C+ (馬屋原剛)



H#2 2sols (3+6)

- 1.Ba1 Rh1 2.Rb5+ Rxa1#
- 1.Ra6 Ra8 2.Sb5+ Rxa6#

水野：R, B が取られる場所へ行き、一呼吸お  
いて取るんですね。

黒川：手順限定のロジックが単純明快。

原岡：チェックをさせて取る趣向ですね。

太刀岡：移動距離が統一されているのが良い。

●バッテリーのリアピースが離れる初手に奇妙  
な味があります。

則内：3...Rxa4 として両方向から外堀を埋め  
る。

及川：corner-to-corner を絡めた wR の転回  
がよい感じ。

●R の 4 corner がおまけになっています。

宮嶋：ナイトで仕留めようとするとう失敗する。

齋藤：手慣れた印象。

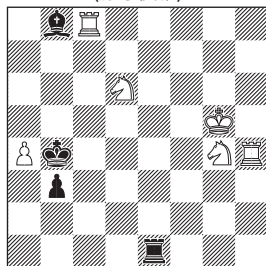
内田：申し分のない好作。

●馬屋原さんもプロパラ H コースには初投稿。

100 号記念ということでお願いして作って  
いただきました。

TF：It is interesting the rear pieces of the  
battery move to a-file in B1. A simple idea  
by the master of Japanese chess problem.

**H1381** Toshimasa Fujiwara  
C+ (藤原俊雅)



H#2 2sols (6+4)

- 1.Ra1 Sb7 2.Ra3 Se5#
- 1.Bc7 Sb5 2.Ba5 Se3#

●久しぶりに自作を。と言ってもホントに賑や  
かし程度です。

水野：B, R でセルフブロックし、もう一方を  
S で遮るんですね。

黒川：ギリギリの退路封鎖と守備駒の遮断。

内田：駒取りが無く好印象。

則内：この詰上りは見えにくいので深視力検査  
を。

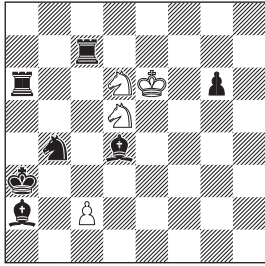
及川：利き塞ぎを兼ねた一石二鳥の開き王手が  
いいですね。

太刀岡：2 枚の S のベクトルが揃っていてきれ  
い。

●太刀岡さんの短評の通り、2 枚の S を同じ方  
向に跳ねるのが狙いでした。

TF：My composition. The idea is to move  
two Knights in the same direction.

H1382 Hiroaki Maeshima  
C+ (前嶋啓彰)



H#2 2sols (4+7)

- 1.Bb6 Sc4+ 2.Ka4 Sc3#  
1.Rc4 Sb6 2.Bb2 Sb5#

作者 : wSd6, wSd5 が最初の形でそれぞれ bR, bB にピンされています。どちらかの S でメイトするために、もう一方の S をピンラインに挟みます。(2 解で役割交換します)

そのために黒の 1 手目でピンを解除しないとならないので黒の手順が限定されるというのが全体構成です。

及川 : 六段目のアンピン・セルフピンの演出の違いが上手い。

則内 : 巧みなアンピンの連鎖にかなり惑わされた。

水野 : R, B の一方を黒で、もう一方を白でアンピンするんですね。

●初形で白Sが2枚ともpinされていますが、それを双方の初手でいずれも unpin。B1 で Bb1 や Ra8 のような手は成立しないようになっています。

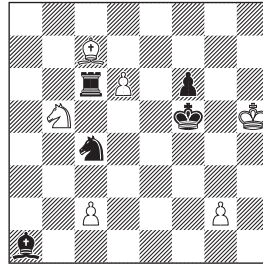
黒川 : Ka4 とすると広そうに見えるが意外と狭い。

齋藤 : Bb2 がちらついて、チェックをかける Sc4 が見えにくかった。

太刀岡 : どうしても片方だけ K を動かす必要があるところ、うまく手数を合わせている。

TF : Two unpinned Knights are placed vertically in different locations. Exchange of functions.

H1383 Jozef Ložek  
C+ (Slovakia, Czech)



H#2 2sols (6+5)

- 1.Sxd6 c3 2.Se4 Sd4#  
1.Rxd6 Sc3 2.Re6 g4#

●白Bのラインを通す必要があるため黒の初手で d6P を取るのは明らかですが、続く白の初手も同地点着手になっているのがちょっとした工夫です。

黒川 : c3 とじっと利きを止めるのが洒落ている。

太刀岡 : R も S も結果的に右に 2 マス進むのが面白い。

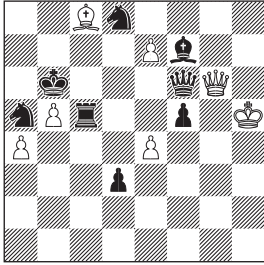
● 2 段目の 2 つの P が、それぞれ片方しか働かないのが残念。ツインにすれば解決できる問題ですが、2 解に拘りがあるのですね。

Sunouchi : I was about to recapture on d6 by white pieces.

Oikawa : The difference in the piece that captures d6 and the exchange of functions are well fused.

TF : Not only d6, but also c3 is unified with two solutions. It is unfortunate that one of the white Pawns does not work in either solution.

H1384 Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#2 2sols (7+8)

1.Rc7 exd8=Q 2.Qc6 Qd4#  
1.Re5 e8=S 2.Bd5 Qg1#

●大御所による前衛的な作品。まずは作者の言葉を。

Author : 2xGamage with old and promoted queen! Mutual interferences bQ-bR. Probably new and very difficult for realization but if problem is interesting is big question?

● Gamage theme とは、pin されている黒駒 A のラインをある黒駒 B で切り、黒駒 A を pin していた白駒が直接黒駒 A を unpin しながらメイトにする、というものです。

● 分かり辛いと思うので本局で説明しましょう。1 解目において、exd8=Q としたところで R は pin されています。この時点では 2.Qd4 に対して 2...Rc5 の受けが残っていますね (R が unpin されるため)。そこで、黒が R のラインを 2.Qc6! と遮断する必要があります。

● 2 解目では、初形で既に pin されている f6Q のラインを 1.Re5! と遮断した上で、2.Bd5(白 Q を unpin しつつ黒 R のラインを切る手) とすることによって、2...Qg1 を可能にしています。重要な鑑賞ポイントは 1.Rc3 ~ 2.Bc4 という紛れが存在していることで、これが無いと「黒には B で R のラ

インを切る筋が一つしか無いのでそれを選択した。Q のラインが切れて Gamage theme になったのは結果に過ぎない」と言われてしまう危険性があるわけです。つまり、手順成立のために不必要である d3P は、テーマを表現するために不可欠な配置ということがお分かりいただけるでしょう。

● Gamage theme を実現できる白の駒は Q しかありません。よってこれまでの作品では、1 つの白 Q を用いて 2 パターンの unpin を表現してきました (一例として参考図をご覧ください)。

● しかし作者は本作でその常識を打ち破りました。promotion を用いて盤上にもう一つの白 Q を生み出し、それぞれの白 Q での unpin を実現したのです。何というアイデア、そして作図力でしょうか! 出来ることはやり尽くされた感のある現代の H#2 において、まだまだ可能性があることを教えてくれる傑作です。

太刀岡 : 強力な守備駒が一気に弱体化するのが楽しい。

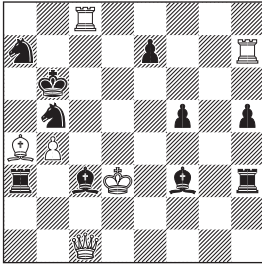
黒川 : 同じラインから詰ますのが意外。  
Oikawa : Smoothly blocking the line by pieces of the same color. Nice.

Sunouchi : How to lock-in the rook with mechanical moves.

TF : This composition has a very fresh and avant-garde idea(See the author's commentary). Pawn on d3 provides 1.Rc3 ~ 2.Bc4. You can see that it is an essential setting to express the theme. The balance between the two solutions is not perfect, but this challenging work inspire us. It shows us that H#2 is still a lot of potential!



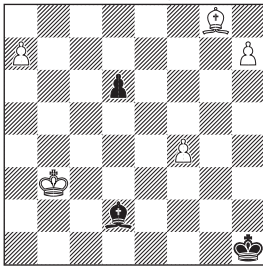
cf. Fadil Abdurahmanović  
 Probleemblads-60 JT, 1991 1st Pr



H#2 2 sols (6+10)

1.Sd4 Rb8+ 2.Kc7 Qf4#  
 1.e5 Rd8 2.Kc6 Qh6#

H1385 Reinhardt Fiebig  
 C+ (Germany)



H#2.5 2sols (5+3)

1...h8=B 2.Bxf4 Bd4 3.Bh2 Bd5#  
 1...a8=R 2.Be3 Ra2 3.Bg1 Bd5#

● Q に成ると check になってしまうので under-promotion というのは、Help で類出の筋です。

太刀岡：非常にシンプル。

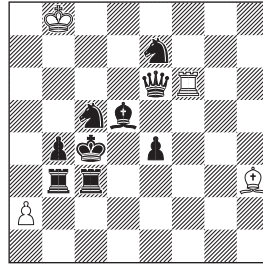
黒川：どちらもクイーンに成れないピットリの配置。●最終手のダブリは致命的かもしれません。

Sunouchi：Such a comical flavor is basic to our helpmates.

Oikawa：Promotion on the left and right, contrast of the types of pieces. It is also good that the final move is the same.

TF：Two patterns of self-blocking by black Bishop. I think different final moves are better.

H1386 Abdelaziz Onkoud  
 C+ (France)



H#2.5 (4+9)

b) -Rb3

a) 1...a4 2.Qxf6 Bd7 3.Qd4 Bb5#  
 b) 1...a3 2.Qxh3 Rb6 3.Qd3 Rxb4#

●白P突きの対比から入り、取られる駒と詰ませる駒が入れ替わる Zilahi. Help の作法通りにできています。

黒川：弱点をうまくついていく。

太刀岡：Qのルートが駒取りに限定されるのが気持ちいい。

●黒からすると取りたいわけでは無いのですが、目的地に辿り着くために駒を取るしかなく、結果的に Zilahi になるという仕組みが面白いです。

●ツイン設定は、model mate にするためには最良でしょう。

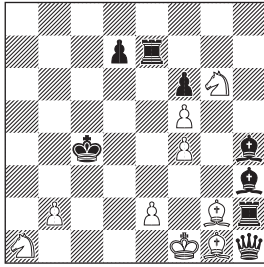
Oikawa：Easy to understand Zilahi.

Approximate checkmate is a nice touch.

Sunouchi：Her majestic steps are for Zilahi and blocks.

TF：Black Queen doesn't want to take white's piece, but there is a white piece on her route! It can be done in multi solution format, but it would be the best twin setting to make it model mates.

Kaj Engström  
**H1387** Christer Jonsson  
 C+ (Sweden)



H#2.5 (9+8)  
 b)Sa1→c8

- a)1.e3 2.Rxe3 Se5+ 3.Kd4 Sb3#  
 b)1.e4 2.Rxe4 b3+ 3.Kd5 Sge7#

太刀岡：初手の tempo が入るのがすごい。

●白が手待ちのために P 突き！これが面白いところで本作の生命線です。そこからは pin-mate で無難に纏めました。

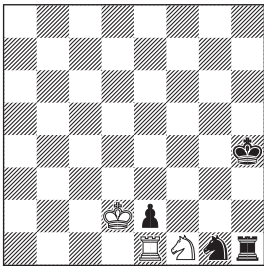
●ただし、このツイン設定の大きさは減点要素になります。

Sunouchi : Black K comes on landfills made in the river.

Oikawa : The pin-mate with different lines is vividly produced.

TF : White's first moves are unusual and interesting! I think it is an excellent H#2.5 if the twin setting is improved.

**H1388** Stanislav Hudák  
 C+ (Slovakia)



H#3 3sols (3+4)

- 1.Sh3 Se3 2.Kg3 Rg1+ 3.Kh2 Rg2#  
 1.Rh3 Se3 2.Rg3 Rxg1 3.Kh3 Rh1#  
 1.Kg4 Rxe2 2.Rh4 Rg2+ 3.Kh3 Rg3#

●作ったというより発見したという感じの 3 解。

●いくつか手のダブリがありますが、最終手が異なる地点への R 着手になっているのは良いですね。

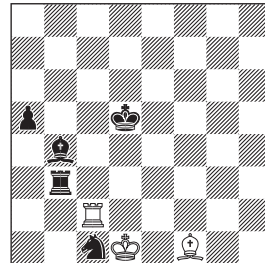
及川：かわいい小品。小粋に R と S を繰る。

Oikawa : Cute miniature. Smartly manipulate Rook and Knight.

Sunouchi : Slightly different solutions have funny taste.

TF : Three model mates from miniature. Enjoy the difference in W3.

Aleksandr Pankratiev  
**H1389** Kirichenko Anatoly  
 C+ (Russia)



H#3 (3+5)  
 b)Pa5→a4

- a)1.Ba3 Bc4+ 2.Kc5 Ba6+ 3.Kb4 Rc4#  
 b)1.Ra3 Re2 2.Kc4 Rc2+ 3.Kb3 Bc4#

●この作者の得意とする、R/Bの対比&最終手同地点。この作品の場合は B1 にも同地点着手のおまげが付いていて統一感があります。ただオリジナリティの面がどうか。

太刀岡：白はもちろん、黒も R と B を使い分けるのが良い。

黒川：a)の手順でもビショッブがもとの位

置に戻れると上手い印象。

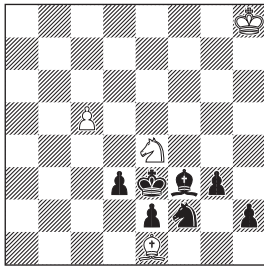
● b) が R の SwitchBack になっているため a) にもそれを期待してしまいますよね。と言っても、そのように作るのは結構難しそうです。

Sunouchi : Sensible self-interferences to make loyal roads.

Oikawa : The black and white swapping their final positions on the same square (black is cyclic) is brilliant.

TF : The contrast between R/B and mates on the same square are this author's specialty!

**H1390** Kaj Engström  
C+ (Sweden)



H#3 2sols (4+7)

- 1.h1=B Sd2 2.Be4 Sb3 3.Bhf3 Bd2#
- 1.h1=S Sf6 2.Se4 Bc3 3.Shf2 Sd5#

● 2手目に黒の駒が e4 に動き、空いたスペースに promotion で生まれた同種駒が移動する。

● アイデアをスケッチしただけという印象ですが悪くないでしょう。

太刀岡 : トドメの駒種と黒の成駒が対応。

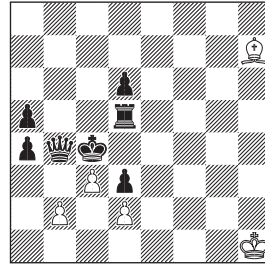
● 言われてみれば !

Oikawa : Black's 2nd and 3rd moves feels good.

Sunouchi : Parades of bishop or knight accord with the mates.

TF : A simple sketch of the blocking piece replacement.

**H1391** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



H#3 (5+7)  
b) +bPb3

- a) 1.Qb5 b4 2.Rc5 bxc5 3.dxc5 Bg8#
- b) 1.Rd4 cxd4 2.Qc3 Bxd3+ 3.Kb4 dxc3#

● Jones さんという作家の特徴についてはプロバラ 100 号に掲載された小林敏樹さんの Book Review に詳しいので、ぜひご一読ください。

● 本作は Jones さんの中でもシンプルな図で難解性には乏しいですが、彼独特の感覚を十分に味わうことが出来ます。a), b) ともに白の 3 手中 2 手が P の着手で、全体に味のある手順。詰将棋で例えるなら北原義治的と言えましょうか。

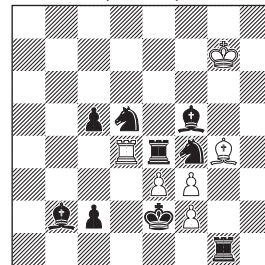
太刀岡 : 駒を取って形を整える。

Oikawa : I thought both would checkmate at Bishop.

Sunouchi : I feel fantastic even though captursings are expected.

TF : Such tasteful procedures are unique to this author. A neat helpmate.

**H1392** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



H#3 2sols (6+9)

1.Sg2 Bh5 2.Re5 Rg4 3.Kxf3 Rf4#  
 1.Sc3 Rd8 2.Bg6 Bd7 3.Kd3 Bb5#

●古典的なバッテリー形成→両王手。合計4回登場する unpin が面白く、十分新作になっていると思います。

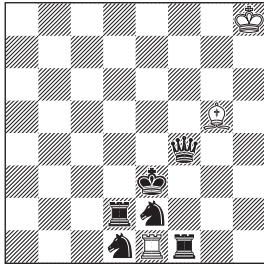
太刀岡：遮断と両王手が楽しい。

Sunouchi：It's hard to imagine double checkmates at first glance.

Oikawa：Open a line to create batteries. Great move.

TF：It's a classical construction, but unpin, which appears four times, is interesting and new enough.

Aleksandr Pankratiev  
**H1393** Aleksey Ivunin  
 C+ (Russia)



H#3.5 3sols (3+6)

1...Bh6 2.Rf2 Rg1 3.Rd4 Rg5 4.Qe4 Rg3#  
 1...Rxe2+ 2.Kf3 Re8 3.Kf2 Be7 4.Ke1 Bh4#  
 1...Rxd1 2.Rc2 Rxf1 3.Kd2 Rxf4 4.Kd1 Rf1#

●こちらもよく見るバッテリー構築なのですが、白の手が1手多い上に破調的な1...Rxd1の解もあってなかなか骨があります。

●破調的な解をどう評価するかについては意見が分かれるでしょう。それにしても、これだけの配置で3手順が限定されるのは驚き

があるのではないのでしょうか。

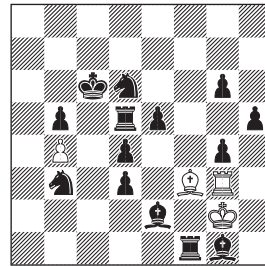
●この作者は以前も似たような作を本誌で発表していたような記憶があります。

Oikawa：Create battery by big moving the line piece (mainly Rook) . It was interesting.

Sunouchi：I found Rf1# much later than well-made double-checks.

TF：In addition to the two completed solutions, there is one broken-tone solution. I'd like to appreciate that it is established with H#3.5 not H#3!

**H1394** Mihaiu Cioflanca  
 C+ (Romania)



H#3.5 4sols (4+14)

1...Rxcg4 2.Sc5 Rxd4 3.Sd7 Rxd5 4.Bb6 Rc5#  
 1...Kh1 2.Se8 Bg2 3.Sc7 Rf3 4.Rd7 Rf6#  
 1...Bxcg4 2.Sc4 Bc8 3.Rd8 Rxcg6+ 4.Kd5 Bb7#  
 1...Bxd5+ 2.Kb6 Rxd3 3.Sc5 bxc5+ 4.Ka6 Ra3#

太刀岡：2種類の両王手が良い。

●前半の2解はいずれもB+Rのバッテリーを作って両王手の形を作ります。則内さんが短評で触れている通り、1...Kh1～2.Bg2というのはなかなか面白い解ですよね。

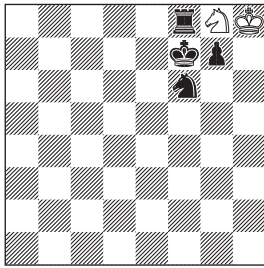
●後半の2解はBでのメイト/Rでのメイトをそれぞれ目指します。4解目に駒取りが多

いのが少し気になりますが、この2つも一応ワンペアと見做すことが出来て、全体は2+2構成風の4解となっていますね。力作。  
Sunouchi : Look around the whole board to find out all acrobatics.

Oikawa : Two watermark checkmates and two double checkmates. I like Kh1's solution.

TF : Create the battery and double checkmates in the first two solutions. The latter two solutions can also be seen as one pair. It doesn't just increase the number of solutions but gives the impression of HOTF for solvers.

**H1395** Sébastien Luce  
C+ (France)



H#4 2sols (2+4)

1.Sd5 Kh7 2.Rd8 Kh8 3.Ke8 Kxg7 4.Se7 Sf6#

1.Ke8 Kxg7 2.Rf7+ Kh8 3.Kf8 Se7 4.Se8 Sg6#

●簡素図長編を得意とする Luce さんの新作。作者コメントをどうぞ。

Author : Miniature "in triangle". Switchback by white King in both variations (h8-h7-h8 & h8-g7-h8) Self-blocks and echo chameleon.

●この初形なのでカメレオンエコーは想定内ですが、両方の解でスイッチバックが付いてくるのは一つの発見ではないでしょうか。お

見事。

太刀岡 : 簡素図からカメレオンエコー。

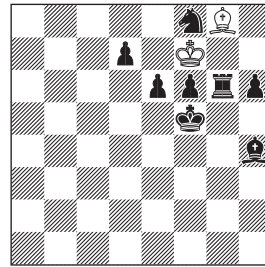
Oikawa : White King's switchback is the point.

Sunouchi : Delicately rearrange their positions in the small yard.

TF : Chameleon echo can be assumed since it is a simple initial position.

However, I was surprised to see the addition of King's switchback. A well-made miniature!

**H1396** Marian Frąk  
C+ (Poland)



H#4 (2+8)

1.Rg5 Kxf8 2.Kg6 Bxe6 3.Rf5 Kg8 4.Bg5 Bf7#

●珍しい単解の4手です。

●テーマは明快。初形と終形で、白のKとB、黒のKとRがそれぞれ入れ替わります。

太刀岡 : 詰上りの発見に時間がかかったが、手順は簡単。

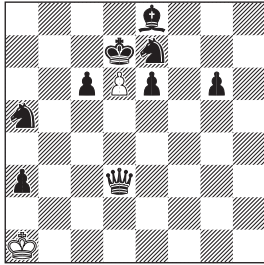
●これを2解にして計4パターンの駒位置変換という作例はあるのでしょうか？

Oikawa : A place exchange. The stylish problem.

Sunouchi : Both-side parallelly, kings changes seats with servants.

TF : Is there any composition that achieves this scheme with two solutions and a total of four exchange of places?

H1397 Mihaiu Cioflanca  
C+ (Romania)



H#5 3sols (2+9)

1.c5 Ka2 2.Kc6 d7 3.Kb5 d8=Q 4.Ka4 Qxd3 5.Bb5 Qxa3#

1.Qd5 Kb1 2.c5 Kc2 3.Kc6 d7 4.Kb5 dxe8=Q+ 5.Kc4 Qa4#

1.a2 dxe7 2.Kc7 Kb2 3.Qd8 Kc3 4.Kd6 Kd4 5.Bf7 exd8=Q#

● 5手の3解で、作者は対照性に拘らない Cioflanca さんという、解答者にとってはヘヴィー級作品。

● Pの動きに注目。d7 → d8, d7 → e8, e7 → d8 というように3解で変化します。太刀岡：同種成とPの動き3種。長い手数がよく限定できている。

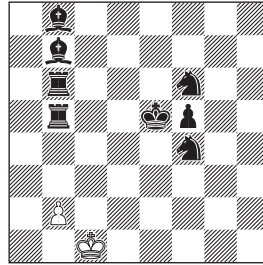
● 作意は全てQ成で、それぞれ異なる場所でメイトに。いかにも作者らしく、その中でも良く出来た部類の作品と言えます。

Sunouchi : Black queen gives her tiara to white new queen.

Oikawa : I was worried about what to do with black Queen. I had a hard time imagining the form of checkmate.

TF : I like the change of the moves of white Pawn in the three solutions, and they all promote to Queen. This is my favorite of the author's composition published in Problem Paradise!

H1398 Atsuo Hara  
C+ (原亜津夫)



H#5.5 (2+8)

1...b4 2.Ra5 b5 3.Re6 b6 4.Be4 b7 5.Bd6 b8=S 6.Rd5 Sc6#

● Pの行進。それを邪魔しないように線駒が道を開けるといふ、何ともユーモラスな手順。

及川：巣籠りもどき。面白かったです。

黒川：客寄せ級で解きやすい。

内田：Ra5が好手。

太刀岡：最初のRが一旦逆に避けるのがアクセント。

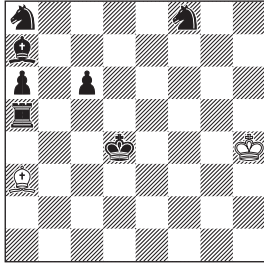
則内：厚かましきを見守るような奥ゆかしいテンポ。

中嶋：メイトの形は直ぐに見えるが、普通の手順では黒が一手多くなる。

● 2.Ra5に言及した短評が多かったです。テンポムーヴではありませんがそれに近い味で、この手がシンプルな手順を引き締めてくれていますね。

TF : Black line pieces run away so as not to disturb the march of the white Pawn. What a humorous work!

**H1399** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#6.5 (2+7)

1...Bd6 2.Bc5 Kg5 3.Kc4 Kf6 4.Kb5 Ke7  
5.Kb6 Kd8 6.Ka7 Kc8 7.Bb6 Bb8#

Author : Pseudo Rehm theme (black, bK-bB) ,Model mate.

● Rehm theme とは 2 つの線駒が同じライン上において、片方がもう一方の駒の周りを動き、そのあと 2 つの駒が同じ方向に動くというもの。これだけでは恐らく伝わりませんから、Helpmate Analyzer で検索して作例を調べてみてください。さて、本作は Rehm theme ではなく、Pseudo Rehm theme。これは先程の定義において、2 つの線駒のうち片方を King にしたものです。

● 初形において、(黒 B さえその場を離れば) 黒 K は 2 手で b6 に辿り着けるように見えます。しかし実際は黒 B が初手で c5 に行かざるを得ず、K は最短でないレートで B の裏に回り込む必要が生じ、b7 に着くまでに 1 手余分にかかります。最後に 6.Ka7 ~ 7.Bb6 と 2 つの駒が同じ方向に動き、これで Pseudo Rehm theme が完成。

太刀岡 : 双方 K と B しか動かさない。

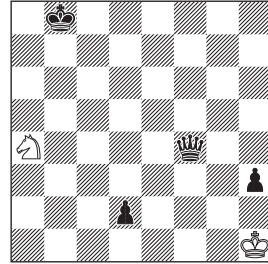
● 恐らくこのテーマは非効率的な駒の動きが狙いだと思うのですが、それがどれほど面白いのかはよく分かりませんでした。

Oikawa : The first move is the point. It was easy to imagine the form of checkmate.

Sunouchi : It' s not so easy to notice the terminal place.

TF : a7 is farther away than it looks! As Oikawa commented, the beginning is crucial.

**H1400**Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#7 (2+4)

1.Qh2+! Kxh2 2.d1=S Kg3 3.Sc3 Kf4  
4.Sb5 Ke5 5.Sa7 Kd6 6.Ka8 Kc7 7.h2  
Sb6#

● 黒 Q はどこに動いても白 K の動きの邪魔になるため、初手でガツンと捨ててしまいます。

太刀岡 : S の利きによって黒の手が限定されている。

● 黒には 1 手だけ余裕があるため、どこかのタイミングで h2 と指すのですが、例えば 3.h2? とすると、以下 3...Kf4 4.Sc3 Ke5 5.Kb5 と進んだ時に白 K が動けなくなってしまうのです。よって、いつでも可能そうに見える tempo move のタイミングは 7 手目に限定されます。巨匠による手ずさびの一局でした。

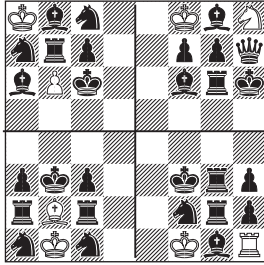
Oikawa : Queen throwing away, Knight moving 3 times in a line, both moves feel good.

Sunouchi : I feel happy to solve a merciful work clearly.

TF : The timing of tempo move is simply

defined. B1 also follows the theme. Nice long-helpmate!

**H1401** Sébastien Luce  
C+ (France)



**A** → **H#5.5(bK on b3),**

**B** → **H#3.5(bK on c6),**

**C** → **H#3.5(bK on h6),**

**D** → **H#4.5(bK on f3) 2 sols.**

A: 1...Bxa1 2.Rd2 Bxc3 3.Rab2+ Kxc1  
4.Ka2 Bxd2 5.Ka1 Bc3 6.a2 Bxb2#

B: 1...bxa7 2.Rb5 axb8=Q 3.Rc5 Qxc8  
4.Bb5 Qe6#

C: 1...Ke8 2.Kg5 Kf8 3.Qh5 Kxg8 4.Kh6  
Sxf7#

D: 1...Rxc1 2.Kg4 Rxc2 3.Kh4 Kxf2  
4.Rg5 Kf3 5.Rh5 Rg4#  
1...Rxc1 2.Rg5 Rxc3+ 3.Kg4 Rg3+  
4.Kh4 Kxc2 5.Sg4 Rh3#

● Dが2解であるというのを書き漏らして  
いました。すみません。

Author : Four problems in one. And four  
different white pieces in action. All these  
positions are legal.

●本作は4つのHelpを一つの図面に纏めた  
というもの。もちろんそれだけでは何の意味  
もありません。本作における主張は、初形が  
全て3×3の石垣図式になっていること、そ  
してそれぞれ異なる駒が主役になっていると  
いう2点でしょう。

●それを実現したというのが価値で、則内さ  
んご指摘のテーマが見えないというのは致し  
方ないところかと思えます。

Oikawa : 4 stone walls problem. C is  
good.

Sunouchi : It' s hard to solve for I don' t  
see thematic moves.

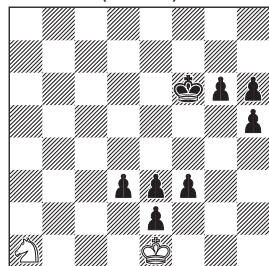
TF : I apologize for that I omitted to  
mention that D has two solutions. The  
two main points are that the initial  
positions are all 3x3 stone walls and that  
each different piece is the main actor. It  
is interesting just to see it realized!



## Addendum

### Issue 99

H1375 Sébastien Luce  
C+ (France)



H#5.5 2sols (2+8)

1...Sc2 2.Kg5 Sxe3 3.Kh4 Kf2 4.e1=R  
Kxf3 5.Rh1 Kf4 6.Rh3 Sg2#

1...Sb3 2.d2+ Sxd2 3.f2+ Kxe2 4.Kg5  
Kf3 5.f1=R+ Kg3 6.Rf5 Se4#

●この作者の好きな、初形 T の曲詰 (?). S の軌跡の変化、異なる P による黒 R 成りと、長編の複数解としてやることはやっている感じがあります。

●2 解で、初手の分岐の仕方はこれしかないので、解答者に優しい作品ですね。

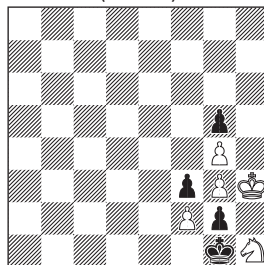
須川 : 逆王手からの手順が流れるようです

Oikawa : Pawn's exchange of functions is good.

Sunouchi : Well controlled solutions especially Sxd2 route.

TF : The changes in the routes of Knight and King are enjoyable. Nicely constructed, as is characteristic of this author.

H1376 Sébastien Luce  
C+ (France)



H#6 (5+4)

1.Kf1 Kh2 2.g1=B+ Kh3 3.Bxf2 Kh2  
4.Bxg3+ Kh3 5.Be1 Kh2 6.f2 Sg3#

●狭い範囲から繰り出される長手数もこの作者の特徴です。

太刀岡 : 隅で詰みそうなので意外だった。

須川 : 手が限られているはずなのに最終形がなかなか見えませんでした。

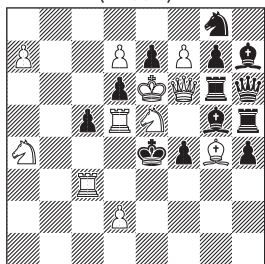
●他に指す手が無くて上下移動を繰り返す白 K は、なんとも可愛らしいですね。前例の有無は分かりませんが、綺麗に纏まった小品だと思います。

Oikawa : White King's round trip is interesting.

Sunouchi : Restrictive moves are favorable for us to solve.

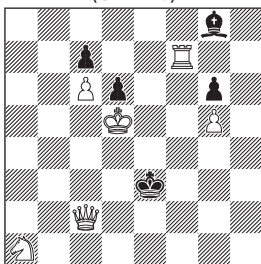
TF : White King, repeatedly moving up and down, is very humorous.

**S301** Aleksandr Pankratiev  
Yurii Gorbatenko  
C+ (Russia)



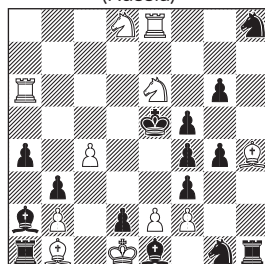
S#3\* (11+13)

**S302** Gennady Kozyura  
Valery Kopyl  
C+ (Ukraine)



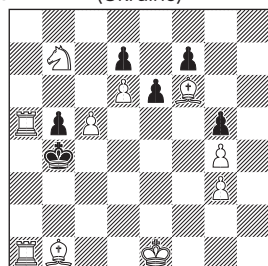
S#6 (6+5)

**S303** Aleksandr Pankratiev  
Yurii Gorbatenko  
(Russia)



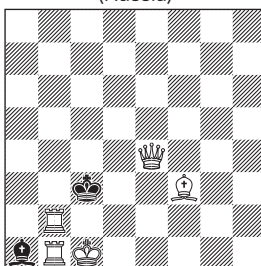
S#6 (11+15)

**S304** Viktor Yuzyuk  
C+ (Ukraine)



S#9 (10+6)

**S305** Anatoly Stepochnik  
(Russia)



S#14 (5+2)

## Selfmate

Editor

Hiroaki Maeshima (前嶋啓彰)

Judge 2021-2023

Kohey Yamada (山田康平)

☆今号は5題の出題です。

### S301 (Pankratiev, Gorbatenko)

1...dxe5 2.Qxg6+ Bxg6 3.Bf5+ Bxf5#  
1.Sf3! (2.Qxg6+ Bxg6 3.Bf5+ Bxf5#)  
1...Bxf6 2.Rc4+ bxc4 3.Sc3+ Bxc3#  
1...exf6 2.Sxc5+ dxc5 3.Re5+ fxe5#  
1...gxf6 2.Sxc5+ dxc5 3.Re5+ fxe5#  
1...Sxf6 2.Re5+ dxe5 3.a8=Q(B)+ Sd5#

☆ Qf6 を用いてバッテリーを開いたメイトを作りますが、黒が Qf6 を取るとそれが新たなバッテリーになるという仕組みです。

☆ In the threat, White create the Black

battery with Qf6. If Black takes Qf6, the new battery is created.

### S302 (Kozyura, Kopyl)

1.Sb3! Bh7 2.Sc1 Bg8 3.Qg2 Bh7  
4.Re7+ Kf4 5.Re4+ Kf5 6.Rd4 Bg8#

☆ツークツワンクの連続。白の手順は見事に限定されています。

☆ Consecutive zugzwang. Surprisingly, the sequences of White moves are unique.

### S303 (Pankratiev, Gorbatenko)

1.Rc6! (2.Sc5 Kd4 3.Sxb3+ axb3 4.Se6+ Ke5 5.Sc5+ Kd4 6.Sxb3+ Bxb3#)

1...Bxf2 2.Sg5+ Kd4 3.Sxf3+ gxf3  
4.Se6+ Ke3 5.Sg5+ Kd4 6.Sxf3+ Sxf3#  
4...Ke5 5.Sg5+ Kd4 6.Sxf3+ Sxf3#  
1...Bxb1 2.Sg7+ Kd4 3.Sxf5+ gxf5  
4.Se6+ Ke5 5.Sg7+ Kd4 6.Sxf5+ Bxf5#  
4...Ke4 5.Sg7+ Kd4 6.Sxf5+ Bxf5#

☆黒の駒が2つ効いている場所に駒を2回捨てるという狙い。その際にナイトのバッテリーが2回作られます (Popandopoulo Mechanism と呼ばれます)。

この狙い自体は近年の FIDE Album 掲載作でも見られていますが、既存作とは少し異なる作りになっており、変化で黒のバッテリーが作られるようになっています。

☆ Popandopoulo mechanism. The black batteries fire in the variations.

### S304 (Yuzyuk)

1.Ba2 e5 2.Bxe5 f5 (2...f6 3.Bd4 f5  
4.gxf5 g4 5.c6 dxc6) 3.gxf5 g4 4.c6

dx6 5.Bd4 c5 6.Bxc5+ Kc3 7. O-O-O b4  
8.Ra4 b3 9.Bb1 b2#

Author: Long castling, 13 out of 16 pieces move, including all 5 black pawns. One check and one move of the black king, first and last move of the white bishop b1 - switchback (1.Bb1-a2, 9.Ba2-b1), castling.

☆キャスリングを可能にするために白 B がスイッチバックします。白 B の移動先が 1.Ba2 出ないとうまくいかないのが面白いところ。

☆ It's interesting that the arrival square of Bishop in W1 is restricted to a2.

### S305 (Stepochkin)

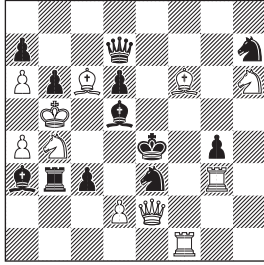
1.Qe3+ Kc4 2.Rc2+ Bc3 3.Qb6 Kd3  
4.Rb3 Kc4 5.Ra3 Kd3 6.Rd2+ Kc4 7.Ra4+ Bb4 8.Bd1 Kc3 9.Qc6+ Bc5 10.Re2 Kd3  
11.Qb5+ Kc3 12.Qb2+ Kd3 13.Qb1+ Kc3  
14.Re3+ Bxe3#

☆メイト形が見えにくい難解作。白は自分の Q と B を移動させてメイトになる形に持っています。

☆ The problem is very difficult to solve - White must move Q and B to self-blocking positions.

Issue 100

Aleksandr Pankratiev  
 S295 Yurii Gorbatenko  
 C+ (Russia)



S#3 (11+12)

- 1.Sf7 (2.Sxd6+ Qxd6 3.Bxd5+ Qxd5#)  
 1... Sxf6 2.Rxe3+ Kd4 3.Qc4+ Bxc4#  
 1... Bxb4 2.Rxg4 Qxg4 3.Sxd6+ Bxd6#  
 1... Qe8(Qc8) 2.Qc4+ Sxc4 3.Sxd6+ Sxd6#

及川：c4とd6が要衝。解きやすかったです。  
 The c4 and d6 squares are key points. It was easy to solve.

黒川：うまく割り切れている。Qe8とQc8があるのが惜しい。

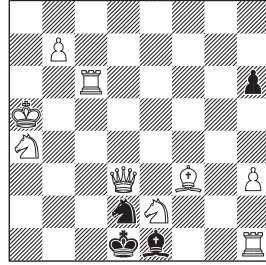
太刀岡：最後の駒がそれぞれ違うのが良い。

中嶋：初手からのスレットが気づきにくい。

☆ f5が二重にガードされていることに気づくと初手 1.Sf7! は見つけやすいかもしれません。

☆ The key might be easy to find when you find that f5 is guarded twice.

Alexander Fica  
 S296 Jiri Jelinek  
 C+ (Czech)



S#4 (9+4)

b) Ka5→g2

- a) 1.b8=S h5 2.Sa6 h4 3.Sec3+ Kc1  
 4.Sb5+ Sc4#  
 b) 1.Kh2 h5 2.Bg2 h4 3.Sg3 hxg3+ 4.Kg1  
 Bf2#

及川：a) はシンプルな手順、b) は手の込んだ手順。

a) is a simple solution, b) is an elaborate solution.

黒川：ツインらしさはあまりないが、手順自体はよくできている。bの詰め上がり位置の特定が難しい。

太刀岡：それぞれの解は面白いが分裂している。

中嶋：b) のほうが難しかった。

☆ 両作者は他誌でもセルフメイト + ツインの可能性を探究しています。

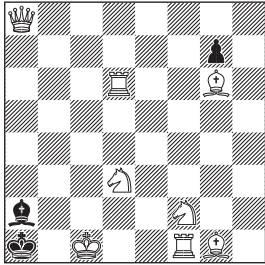
☆ The authors have posted the nice selfmate with twins also in another magazines.

S297

Milomir Babic

C+

(Serbia)



S#12

(8+3)

b) Sd3→e1

a) 1.Rf6 gxf6 2.Se4 f5 3.Rf4 fxe4 4.Be3  
exd3 5.Bc5 d2+ 6.Kd1 Kb2 7.Qh8+ Kb3  
8.Rb4+ Ka3 9.Re4+ Kb3 10.Qb8+ Kc3  
11.Qb4+ Kd3 12.Qb3+ Bxb3#

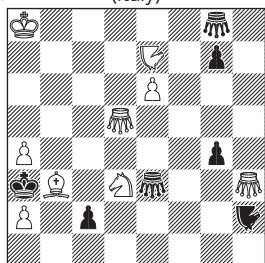
b) 1.Kd2 Kb2 2.Sed3+ Kb3 3.Rb6+ Kc4  
4.Rc1+ Kd4 5.Qd8+ Bd5 6.Rf6 gxf6  
7.Qd6 f5 8.Se1 f4 9.Bd3 f3 10.Kd1 Ke3  
11.Qe5+ Be4 12.Be2 fxe2#

太刀岡：Bc5～Qh8+が難しかった。黒B  
の位置をコントロールするのも面白い。

☆出題時にTwin設定の記載が抜けておりました。大変申し訳ありません。本作品は全員  
正解扱いとしました。

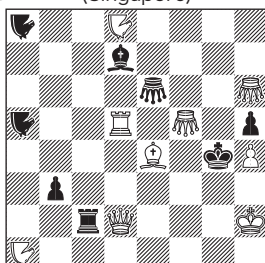
☆ I sincerely apologize that the twin  
stipulation was not written on Problem  
Paradise 100.

**F1405** Alberto Armeni  
C+ (Italy)



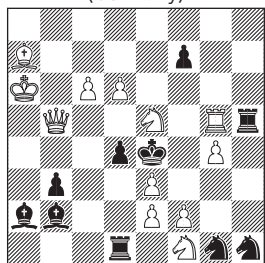
#2 (9+7)  
(2+2) Grasshoppers  
(1+1) Nightriders

**F1406** James Quah  
C+ (Singapore)



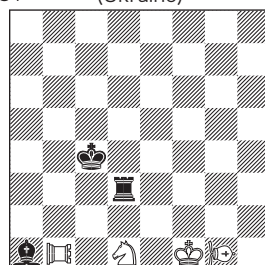
#2v (9+8)  
(2+1) Grasshoppers  
(2+2) Nightriders

**F1407** Hubert Gockel  
C+ (Germany)



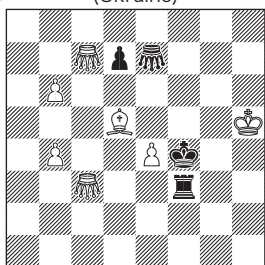
#2vvv (12+10)  
Breton adverse

**F1408** Mykola Vasyuchko  
C+ (Ukraine)



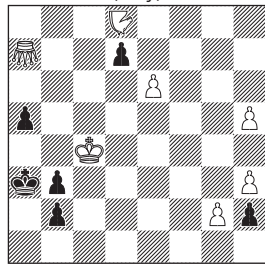
H#2 (4+3)  
b) wKf7  
Pao b1, Vao g1

**F1409** Mykola Vasyuchko  
C+ (Ukraine)



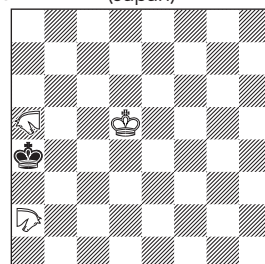
H#2 (7+4)  
b) wPb6→d2  
(2+1) Grasshoppers

**F1410** Alberto Armeni  
C+ (Italy)



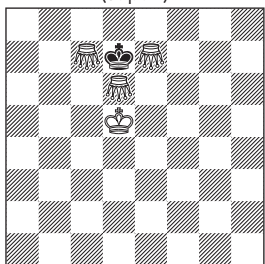
H#2 2 Sols (7+6)  
Grasshopper a7  
Nightrider d8  
Andernach

**F1411** Kankuh Kobayashi  
C+ (Japan)



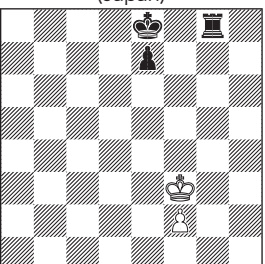
H#2.5 2 Sols (3+1)  
Camelrider a2  
Giraffe a5

**F1412** Kankuh Kobayashi  
C+ (Japan)



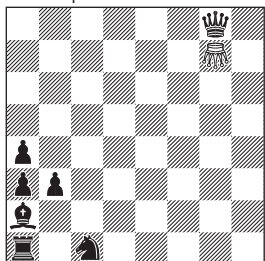
H#5.5 (4+1)  
(3+0) Grasshopper

**F1413** Tadashi Wakashima  
C+ (Japan)



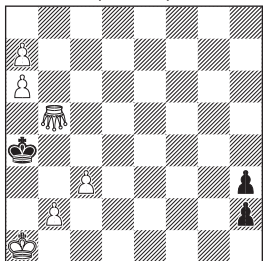
H#14 (2+3)  
UltraSchachZwang  
Circe Assassin

**F1414C+** Sébastien Luce  
(France)  
"The square of the officers"



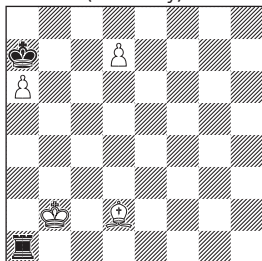
H=7 (1+7)  
Grasshopper g7  
PWC

**F1415** Sébastien Luce  
(France)



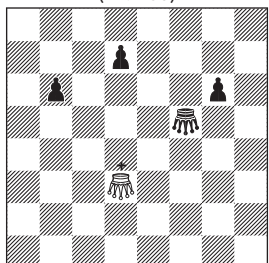
H==8 (6+3)  
Grasshopper b5

**F1416** Torsten Linß  
C+ (Germany)



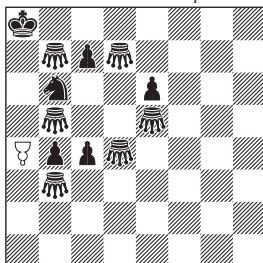
HS#7 (4+2)

**F1417** Sébastien Luce  
C+ (France)



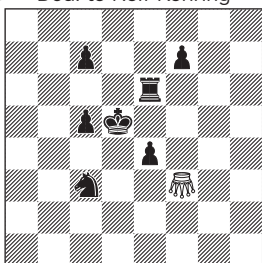
HS#8 2 Sols (1+4)  
Royal Grasshopper d3  
Grasshopper f5

**F1418** Sébastien Luce  
C+ (France)  
Ded. to the Pope



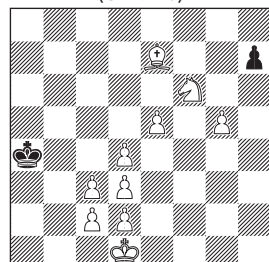
ser=14 2 Sols (1+12)  
Pawn+Grasshopper a4  
(0+6) Grasshoppers  
Take&Make

**F1419** Sébastien Luce  
C+ (France)  
Ded. to Rolf Kohring



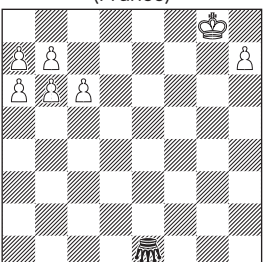
ser#26 (1+7)  
Shooter Grasshopper/Rook f3  
Equipollent Circe

**F1420** Mykola Vasyuchko  
C+ (Ukraine)  
Mykhailo Galma



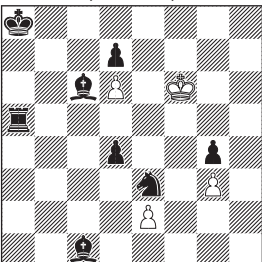
SH#15 (10+2)

**F1421** Sébastien Luce  
C+ (France)



SS#17 (7+1)  
Grasshopper e1  
Alphabetic Chess

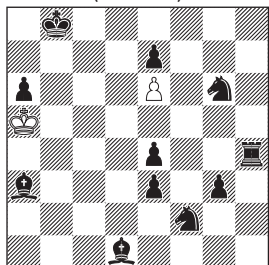
**F1422** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SS=30 (4+8)  
Checkless Chess

Sébastien Luce

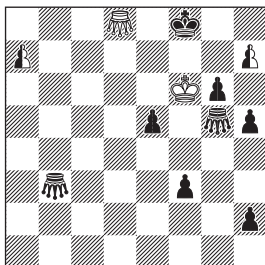
**F1423** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SS=34

(2+11)

**F1424C+** Sébastien Luce  
Dedicated to V. Kotesovec (France)

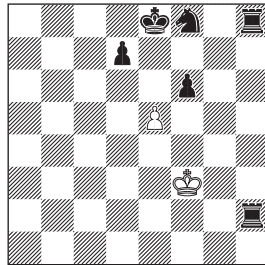


7→SS#2

(2+8+2)

Neutral Pawns a7 h7

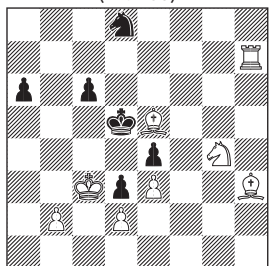
**F1425** Igor Kochulov  
C+ (Russia)



PSH=7

(2+6)

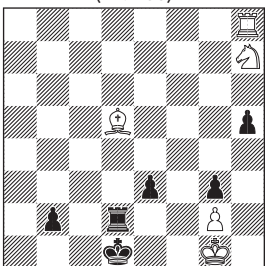
**F1426** Pascale Piet  
C+ (France)



PSS#8

(8+6)

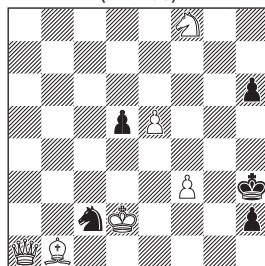
**F1427** Pascale Piet  
C+ (France)



PSS#9

(5+6)

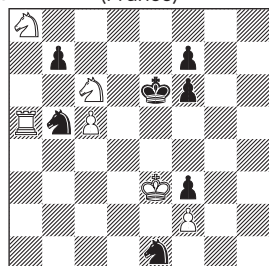
**F1428** Jean Carf  
C+ (France)



PSS#9

(6+5)

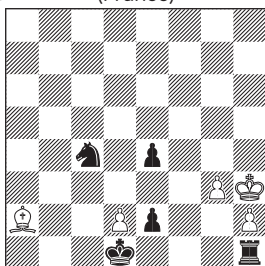
**F1429** Pascale Piet  
C+ (France)



PSS#9

(6+7)

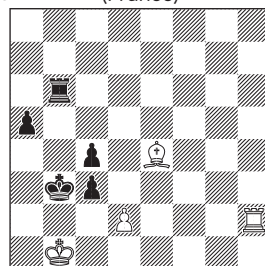
**F1430** Jean Carf  
C+ (France)



PSS#13

(5+5)

**F1431** Jean Carf  
C+ (France)



PSS=12

(4+5)



# Fairies

## Editor

**Vlaicu Crisan (Romania)**

## Judge 2023

**Thomas Maeder (Switzerland)**

Welcome to new composers Igor Kochulov, Mykola Vasyuchko and Mykhailo Galma in our fairy paradise world!

We have 27 original compositions this issue, which cover quite a long range of tastes. I would like to start quoting the opinion of the eminent composer Torsten Linß: "It's a pity there is no solving and commenting in PP anymore." I fully agree with this statement: the main audience of any chess composition must be the solver. The solvers' perspective is more important than any reward from a judge, because the solvers will always be the main audience of our beloved art.

We have three direct twomovers. Alberto convincingly exploits the properties of Grasshoppers and Nightriders in his traditional style **F1405**. James submitted his original composed for Dawson 120 Memorial Tournament, with the mention "[This] is the only N&G problem I've ever composed". You will be able to read more details about **F1406** in the comments. Hubert's **F1407** shows another known theme done in orthodox, but using a genuine fairy mechanism.

Out of the six helpmates, I am happy to mention we have three contributions from the Japanese composers, including

the Wenigsteiner **F1411**. Our general editor's **F1413** raised an interesting reaction from Eric Huber – please have a look in the comments to see the emerging discussion and conclusion.

You will find seven entries from Sébastien Luce, perhaps the most prolific French composer nowadays. His constant enthusiasm for chess composition and variety of fairy effects are simply amazing. **F1419** uses Shooter  $x,y$  – which moves without capture like  $x$ , and captures like  $y$ . Among the helpselfmates, please don't miss to admire the flawless **F1416**.

Again half of the originals from this selection are series and parry-series. **F1418** has two solutions and an appropriate dedication for a figurative problem. The ideal mate supporters will cheer when seeing the mate in **F1420**, the promotions aficionados will enjoy **F1421** and **F1424**, Valladao lovers will be happy to solve **F1425** and the zugzwang mates fans (do we have such a club yet?!) will smile seeing **F1426**, **F1427** and **F1430**.

Composers, please continue to submit your originals. Solvers, please carefully read the challenges raised in the comments and don't hesitate to raise the gauntlet. Thank you very much for your continuous support!

### F1405 (Armeni)

1.Kb7! [2.Ga8#]  
1...Nb5 2.Ga5#  
1...Gxe7 2.Gc3#  
1...Gxd5 2.Ng6#

Crisan: All defenses and mates are played by the fairy pieces. A neat demonstration of the Grasshopper and Nightrider properties.

### F1406 (Quah)

1.Gf~? [2.Rg5#]  
1...G~ 2.Qe2#  
1...Ge3!  
1.Gd3! [2.Rg5#]  
1...G~ 2.Qe2#  
1...Gc4 2.Qg2#  
1...Ge3 2.Bf3#

Author: White correction. Tertiary black correction.

A random move by Gf5 threatens 2.Rg5# but is defeated by 1...Ge3!

Post-key

1...G~ opens Na8-g5 but also Nd8-f4.

1...Gc4 corrects the primary error by guarding e2, but closes Na5-g2 for 2.Qg2.

1...Ge3 corrects the secondary error by unpinning Rc2, but opens the guard on f3

Crisan: I must confess I have never seen before the theme Ianovcic (1...Gc4 2.Qg2#) realized as part of black correction play! Was this splendid composition specially created for the cancelled Dawson MT-120?

James Quah: Yes, it was composed for TRD-120, and is the only N&G problem I've ever composed. I hardly use grasshoppers.

This is my first attempt at tertiary correction, and it's not bad, though of course people have done it in orthodox. It's value is that it shows some nice line-pin mates. The correction causes white to correct his line-pinned mate. I didn't think of it as Ianovcic, since I thought the other features of the theme were more important.

### F1407 (Gockel)

1.S5~? [2.Qd5# A, Qe5# B, Qf5# C]  
but 1...R:g5!

Note that no arrival field of Se5 establishes a 2nd or 3rd threat, e.g. 1.Sd7? (does not threaten 2.Sf6,Sc5, because of 2...Rxf1[-Sf6 or -Sc5]!)

1.Sf3?! [2.Qd5# A, Qe5# B, Qf5# C]

1...R:xg5 2.Sxg5[-Rd1]#

1...Sxf3[-Sf1]! (2.Qe5+ Sxe5!, 2.Qd5+,Qf5+ Kxe3[-f2]!)

1.Sxf7[-b3]?! [2.Qe5# B, Qf5# C]

1...Bd5 2.Qxd5[-Bb2]# A

1...R:xg5 2.Sxg5[-Rd1]#

1...Bc4!

1.Sxf7[-d4]! [2.Qf5# C]

1...Rd5 2.Qxd5[-Rh5]# A

1...Be5 2.Qxe5[-Ba2]# B

1...R:xg5 2.Sxg5[-Rd1]#

1...Rxd6[-c6]+ 2.Sxd6[-Rh5]#

1...Sg3 2.Sxg3[-Sg1]#

Author: Threat reduction and return (as variant mates). White correction with involuntary 2nd bP removals procuring

black line openings. Additional specific (checking) defense in the solution.

Basically wPf2 is not necessary, because it does not guard e3. But it closes the line f1-f5, so 1...Rxf1[-Sf7]! does not refute the solution.

Crisan: The last comment is interesting, because it shows finesse: is adding the wPf2 a violation of the economy principle? In this particular case, the author's choice is fully justified, because it eliminates a defense leading to a dualistic mate (2.Qd3# is also possible). Is the presentation of a known orthodox theme justified? Again, the answer is positive, because the mechanism is entirely new and based solely on Breton adverse effects.

#### **F1408 (Vasyuchko & Galma)**

- a) 1.Rb3 Ke2 2.Bc3 Se3#
- b) 1.Bd4 Ke6 2.Rc3 Sb2#

Authors: Grimshaw

Crisan: B1 has a double purpose: passes over the critical square c3 and provides a hurdle for one Chinese piece, while W2 provides a hurdle for the other Chinese piece. The final ideal mates will surely please the amateurs.

#### **F1409 ( Vasyuchko & Galma)**

- a) 1.Ke5 Gf4 2.Kd6 Gd4#
- b) 1.Ge3 Gc2 2.Ge5 Gc4#

Crisan: A guard & blocking affair ending in model mates.

#### **F1410 (Armeni)**

- 1.h1=G h4 2.Gxh5=wG Gh3#
- 1.h1=N e7 2.Nxe7=wN Nb1#

Crisan: One may wonder why the wK was placed on c4 putting an unnecessary extra guard on b4. The answer is that it is ideally placed to avoid two kind of cooks: one with the promoted Q/R on a4 and the other with the promoted N on g6.

#### **F1411 (Kobayashi)**

- 1...Kc4 2.Ka3 GIe4+ 3.Ka4 CRd3#
- 1...CRg4 2.Kb5 GIe6 3.Ka6 Kc6#

Crisan: Two echo mates, the second one delivered by a royal battery. An exquisite Wenigsteiner!

#### **F1412 (Kobayashi)**

- 1...Gd8 2.Kc8 Kd6 3.Kb8 Gd5 4.Ka8 Kd7
- 5.Ka7 Kc8 6.Ka8 Gb7#

Crisan: I liked the symmetry-asymmetry – an old theme in a new presentation!

#### **F1413 (Wakashima)**

- 1.Rg3+ fxg3[+bRh8] 2.Rf8+ Kg2 3.Rf3+
- g4 4.Rf4+ g5 5.Rf5+ g6 6.Rf6+ g7
- 7.Rg6+ Kf3 8.Rg3+ Ke4 9.Re3+ Kd5
- 10.e6+ Kd4 11.Rd3+ Ke4 12.Rd4+ Kf3
- 13.Rd3+ Kg2 14.Rd7+ g8=Q#

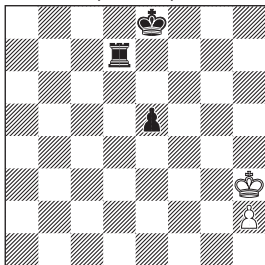
Eric Huber: This is an excellent problem and I especially enjoyed a paradoxical

aspect of the solution: bPe7 blocks flight e7, but has to move to open the 7th rank for the black Rook. Is it possible to add captures / Circe rebirths?

Crisan: Please have a look at the following version:

### F1413v

(version)



H#14 (2+3)

UltraSchachZwang  
Circe Assassin

1.Rd3+ Kg2 2.Rg3+ hxg3[+bRh8]  
3.Rh3+ g4 4.Rh4+ g5 5.Rh5+  
g6 6.Rh6+ g7 7.Rh2+ Kf3 8.e4+  
Kxe4[+bPe7] 9.Re2+ Kd5 10.e6+ Kd4  
11.Rd2+ Ke4 12.Rd4+ Kf3 13.Rd3+ Kg2  
14.Rd7+ g8=Q#

The bRd7 Rundlauf and wKg2 Rundlauf are nice features.

Author: Of course, I was looking for some embellishments (adding R promotion or R Rundlauf or more Circe rebirths). R Rundlauf is easy to realize. For example, bRd7/wKf1 instead of Rg8/Kf3, but then 1.Rd1+ is forced. And finally, I decided to present this simple idea as simply as possible. I have mixed feelings about your suggestion (I prefer bPe7 in its initial position), but on the other hand, I liked the way how

11...Kd3? doesn't work.

### F1414 (Luce)

1.Qxg7(Gg8) Gxa2(Bg8) 2.Rb1 Gxa4(a2)  
3.Qa1 Gc2 4.Rb2 Gxa2(c2) 5.Bc4 Gxc4  
(Ba2) 6.Bb1 Ga2 7.Qxa2(Ga1)  
Gxc1(Sa1)=

Author: At the beginning, the white Grasshopper seems stalemated. Black Queen captures it a first time to allow its Rundlauf during which black Bishop will be "extracted" from the bottom left angle of the board, to be incarcerated again by a triangle maneuver. The Queen captures the Grasshopper on move seven, a second time, to be placed on a2 in the company of the three other black officers, the four forming a square. Tested C+ Fairybadix-Helpbadix (20h) by V.Kotesovec. Thank you Vaclav!

Crisan: The white Grasshopper gathers all the officers in a prison cell and throws away the key. A spiritual idea, typical for Séb!

### F1415 (Luce)

1.h1=B a8=G 2.Bf3 Gg2 3.Bb7 axb7  
4.hxg2 b8=G 5.g1=B Gb4 6.Bc5 Gb1  
7.Bb4 b3+ 8.Ka3 cxb4==

Author: Double Phoenix and Ceriani-Frolkin of orthodox piece and fairy piece: A Pawn is promoted to Bishop, then sacrificed, then promoted to Bishop again! The same sequence happens with a promotion to Grasshopper. Note that the second Bishop of promotion is also

sacrificed!

Tested correct with only the promotions to Bishop & Grasshopper by V. Kotesovec with Helpbadix-Fairybadix. Thank you Vaclav.

Crisan: Sheer imagination: a fairy tale with an unexpected ending!

#### **F1416 (Linß)**

1.d8=R Kb6 2.a7 Kb5 3.a8=Q Ra7 4.Qc8 Ka4 5.Ka1 Kb3+ 6.Qa6 Kc2 7.Qa4+ Rxa4#

Author: Rehm theme (Q-r), completed with introductory Bristol(P-r)

Crisan: ...and also a King's Indian. Full packed strategic content actively using all pieces – trademark for Torsten's compositions.

#### **F1417 (Luce)**

1.rGxg6 b5 2.rGe4 d5+ 3.rGg6 d4 4.rGe4 b4 5.rGc4 d3 6.rGa4 d2 7.rGc4 d1=G 8.rGa4 b3#  
1.rGd8 d5 2.rGd4 Gc5 3.rGxb6 d4 4.rGh6 Ge3 5.rGf6 d3 6.rGh6 d2 7.rGf6 d1=G 8.rGh6 g5#

Author: Zilahi with chameleon echo (2,7) and black Excelsior of d-pawn to

Grasshopper, the correct promotion to allow mate in the first variation or to be immobile in the second. Mate by black zugzwang.

Crisan: Finding a mating trick is ingenuity, doubling the same mate is virtuosity!

#### **F1418 (Luce)**

1.PGxc4(PGc3) 2.PGxe5(PGc3) 3.PGxd4(PGa4) 4.PGc2 5.PGxb3(PGf7) 6.PGxc7(PGc5) 7.PGxb6(PGc8) 8.PGxe6(PGe5) 9.PGe6 10.PGxd7(PGa4) 11.PGa5 12.PGc3 13.PGxb4(PGb3) 14.PGb6=  
1.PGxb5(PGd3) 2.PGb5 3.PGxb3(PGb5) 4.PGe8 5.PGxe5(PGc3) 6.PGxb4(PGb3) 7.PGxc4(PGc3) 8.PGxd4(PGa7) 9.PGxc7(PGc5) 10.PGxb6(PGc8) 11.PGxe6(PGe5) 12.PGe6 13.PGe7 14.PGc7=

Author: Figurative problem. Elimination of the black pieces, except two, white Pawn + Grasshopper finishing its way between the two remaining Grasshoppers. Echo.

Crisan: An impressive achievement: both components of the white piece are exploited in both solutions! Kind of miracle.

#### **F1419 (Luce)**

1.GRxc3 2.GRc6 3.GRc4 4.GRxe4(g4) 5.GRxe6(Re8) 6.GRg8 7.GRxe8(Rc8) 8.GRb8 9.GRxc8(Rd8) 10.GRxc7(c6) 11.GRg7 12.GRxf7(e7) 13.GRc4 14.GRe6 15.GRe8 16.GRc8 17.GRxc6(c4) 18.GRe4 19.GRe8 20.GRxe7(e6) 21.GRxe6(e5) 22.GRe4 23.GRh4 24.GRxc4(f4) 25.GRxf4(e4) 26.GRd6#

Author: Clearly, White has to "push" some black pieces to c4 and e5 then to mate in d6 with the Shooter. But black

Knight c3 could not be pushed on c4 as it would control d6 at the end.

On the contrary it is sacrificed on the first move and it will be c7 pawn which will go to c4! After a long Rundlauf, the Shooter reaches d6, and is impossible to be captured by Rook d8 as it would rebirth in d4 always with check.

Crisan: An astonishing sequence of moves, with the captures cleverly engineered to push all Black captured pieces on the right squares. Can anyone double this idea?

#### **F1420 (Vasyuchko & Galma)**

1.h6 2.hxg5 3.g4 4.g3 5.g2 6.g1=B  
7.Bxd4 8.Bxe5 9.Bxf6 10.Bxc3 11.Bxd2  
12.Bb4 13.Ka3 14.Kb2 15.Kc3 Bf6#

Authors: Ideal mate

Crisan: Great precision in the order of captures.

#### **F1421 (Luce)**

1.a8=G 2.a7 3.Gh8 4.a8=Q 5.Qa1 6.Qg7  
7.b8=B 8.b7 9.Ba7 10.Bc5 11.b8=R  
12.Rb7 13.Rf7 14.Bf8 15.c7 16.c8=S  
17.Se7 Ge8#

Author: Super-AUW. Promotion to Grasshopper has to be the first one to self-block square h8. All the other orthodox promotions follow in good order to self-block the other flight squares of white King and to create a final hurdle in e7 for black Grasshopper.

Crisan: ABC doesn't serve only as an effective fairy condition to avoid duals, but also requires attention for an accurate

order of moves. This is exactly the type of problem I like a lot: a natural position, a good theme with surprising moves and a final position where all pieces participate in the mate.

#### **F1422 (Kekely)**

1.Ke7 2.Kd8 and down 3.Kc7 4.Kb6  
5.Kxa5 6.Kb4 7.Kb3 8.Ka2 9.Kb1 10.Kxc1  
and up 11.Kd2 12.Kd3 13.Kxd4 14.Kxe3  
15.Kf2 16.e4 17.e5 18.e6 19.e7 20.e8=B  
21.Bxd7 22.Bc8 23.d7 24.d8=R 25.Rd7  
26.Rb7 27.Bd7 28.Bxc6 29.Bh1 30.Kg2  
Kxb7=

Crisan: Is anyone able to guess from the first glance the square where the white King is stalemated? A typical solver's puzzle, which produces enjoyment once you eventually discover the idea.

#### **F1423 (Kekely)**

1.Kb6 2.Kc6 3.Kd5 4.Kd4 5.Kxe3 6.Kd2  
7.Ke1 8.Kf1 9.Kg2 10.Kxg3 11.Kxf2  
12.Ke1 13.Kxd1 14.Kc2 15.Kb3 16.Kxa3  
17.Kb4 18.Kc5 19.Kc6 20.Kd7 21.Ke8  
22.Kf7 23.Kxg6 24.Kf7 25.Kxe7 26.Kd8  
27.e7 28.e8=Q 29.Qxe4 30.Kd7 31.Kc6  
32.Kb6 33.Ka5 switchback 34.Qb7+  
Kxb7=

Author: Minimal. Very long walk of white king with return to the diagram square. Clearing of the 5th rank. Ideal stalemate.

Crisan: Another long and appealing sequence of wK moves surprisingly ending on its original square. Another long serial mover created for solvers' pleasure.

**F1424 (Luce)**

1.h1=G 2.Ge4 3.f2 4.f1=G 5.Gf7 6.Gg8  
7.Gf5 & 1.a8=nG 2.h8=nG+ nGh4#

Author: Two promotions to black Grasshopper are necessary to slip one in g8, as a future hurdle, and put the two others in e4 and f5 to allow complete control of flight squares for white King. In the white series, first promotion is in a8 to neutral Grasshopper, controlling e8 then the ultimate promotion to neutral Grasshopper in h8 forces the "escape" of the Grasshopper to h4 with mate to white King! Indeed black Grasshopper g8 cannot move to e8 because of the white Grasshopper d8. In the final picture, neutral Grasshopper h4 also cannot move to h6 or d4 because of self-check. This pattern of a neutral piece checking one King then forced to mate the other to avert the threat, seems new without fairy condition.

Crisan: AllUmGrasshoppers! Can anyone show this highly original idea using other fairy pieces?

**F1425 (Kochulov)**

1.Rf2+ Ke4 2.d5+ exd6 ep. 3.Rf4+ Kxf4  
4.Sg6+ Kf5 5.0-0 6.Se7+ dxe7 7.Kh7  
exf8=Q=

Author: Valladao theme

Crisan: The two black tempo sacrifices help the white Pawn get closer to its promotion square. The economy is superb.

**F1426 (Piet)**

1.Rb7 2.Bc7 3.Se5 4.Sxc6 5.Sxd8  
6.Rb5+ axb5 7.Be6+ Kc5 8.Bb3 b4#

Crisan: Surprising quiet finish after placing the black pieces on ideal positions.

**F1427 (Piet)**

1.Sf6 2.Rxh5 3.Re5 4.Rxe3 5.Be4 6.Sd5  
7.Sc3+ Kc1 8.Re1+ Rd1 9.Sb1 Rxe1#

Crisan: Another attractive position ending in an unexpected zugzwang.

**F1428 (Carf)**

1.Se6 2.Sd4 3.Sxc2 4.Ke3 5.Kf4 6.Se3  
7.Bf5+ Kh4 8.Qg1 9.Qg5+ hxg5#

Crisan: Which black piece is least expected to deliver the mate? Oh, yes, that distant pawn actually gives the mate! Funny.

**F1429 (Piet)**

1.Se7 2.c6 3.cxb7 4.b8=Q 5.Qc7  
6.Ra6+ Sd6 7.Sb6 8.Qd7+ Ke5 9.Sc4+  
Sxc4#

Crisan: A neat sequence of moves forcing the black King to approach the white King.

### F1430 (Carf)

1.d3 2.dxe4 3.e5 4.e6 5.e7 6.e8=Q  
7.Qe3 8.Bb3+ Ke1 9.Bxc4 10.Bxe2  
11.Bg4+  
Kf1 12.Qe2+ Kg1 13.Qf3 Rxh2#

Crisan: The black King must be lured along the first rank. The promoted Queen and the white Bishop create a remarkable tandem!

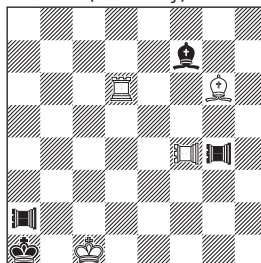
### F1431 (Carf)

1.d3 2.dxc4 3.c5 4.c6 5.c7 6.c8=Q  
7.Qc5 8.Bc6 9.Rb2+ cxb2 10.Ba4+ Kxa4  
11.Qxb6 12.Qb3+ Kxb3=

Crisan: After a slow Excelsior, White sacrifices all his forces to reach a stalemate.

### Issue 100

### F1341 Stephan Dietrich C+ (Germany)



#4 (4+4)  
Breton  
Rook-Locust 1+2

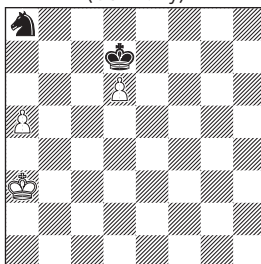
1.Be4! ~ 2.Rb6 Bb3 3.Rxb3[-wBe4]  
[4.Rb1#] RLxf4-e4[-bRLa2] 4.Ra3#

Tachioka: Black can choose which RL to disappear.

Sunouchi: Black Bishop should be eliminated before Rook-Locusts.

Crisan: Typical Breton strategy: Black captures to unblock a flight and White exploits the line opening in the mate.

### F1342 Andreas Thoma C+ (Germany)



#5 (3+2)  
MinDister a3 d7

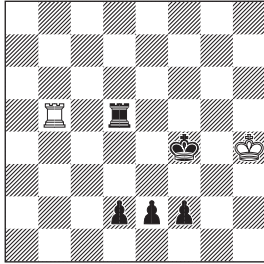
1.Kb3! Kc6 2.d7 Kb5 3.d8=Q Sc7 4.Qxc7  
Ka6 5.Qb6#



Sunouchi: The knight waits for a while, and moves to be captured.

Crisan: This composition reminds me of Icarus (the black King) who flies too close to the sun (the white King) until the wax in his wings melted.

**F1343** Ralf Krättschmer  
C+ (Germany)



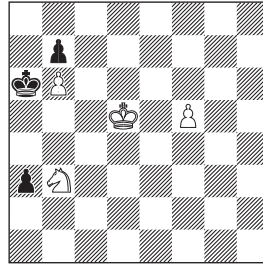
S#6 (2+5)  
b) bPd2→e7  
Min Dister b5 d5

- a) 1.Rb1! Rd3 2.Rg1 Rg3 3.Rf1 Rg1  
4.Rc1 Rd1 5.Rc5 Rc1 6.Rh5 Rh1#  
b) 1.Rb6! Rb5 2.Rf6+ Rf5 3.Rf8 Rf7  
4.Ra8 Rf8 5.Ra3 Ra8 6.Rh3 Rh8#

Tachioka: Good contrast.

Crisan: Congratulations, Hajime, for being the only one who solved it! The white Rook wants to escape the perpetual pursuit of the black Rook, while keeping an ideal distance. Very subtle composition.

**F1344** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



S+3 (4+3)  
Maximumber

- 1.Kc5! a2 2.f6 with four variations:  
2...a1=Q 3.Kd6 Qxf6+  
2...a1=R 3.Sc1 Ra5+  
2...a1=B 3.Sd4 Bxd4+  
2...a1=S 3.Kd4 Sc2/Sxb3+

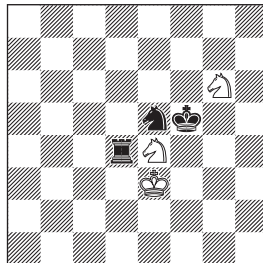
Oikawa: AUW. It was easy and interesting.

Tachioka: Good AUW.

Sunouchi: It is an efficient method to perform AUW as variations.

Crisan: The key is crude, but the variations are nice. Can anyone show this idea ending with mate instead of check?

**F1345** Kostas Prentos  
C+ (USA)



H#2 2 Sols (3+3)  
Take&Make AntiTake&Make

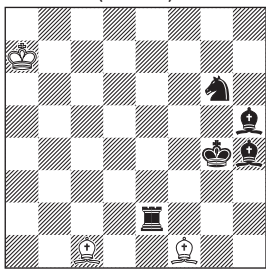
- 1.Sxg6-e5[+wSf4] Kxd4-d8[+bRc4]
- 2.Kxe4-d6[+wSd2] Sxc4-e4[+bRc6]#
- 1.Rxe4-d6[+wSf6] Sxe5-g6[+bSf7]
- 2.Kxf6-e8[+wSe4] Sxd6-f6[+bRd8]#

Author: Two similar model mates. Reciprocal captures with switchback as part of the Make move, between the wSg6 and bSe5.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Very hard, indeed. The Bulgarian pool leads to pieces shuffled in all directions, with almost no control on them!

**F1346** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H#2 2 sols (3+5)

- b) bKd1  
Circe

- a) 1.Bg3 Bh3+ 2.Kh4 Bg5# & 1.Se5 Bf4 2.Sf3 Bh3#
- b) 1.Rc2 Bd2 2.Be2 Bxe2[+bBc8]# & 1.Rf2 Be2+ 2.Ke1 Bd2#

Oikawa: Self-block by Rook, Bishop and Knight. Symmetrical of checkmate in b) is nice.

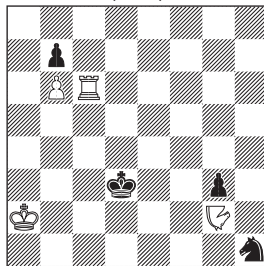
Tachioka: B cannot be captured.

Sunouchi: White Bishops enclose black King to sermonize him.

Crisan: The checking pieces are self-

protected after rebirth. These special effects are typical for Circe.

**F1347** Kevin Begley  
C+ (USA)



H#2 (4+4)

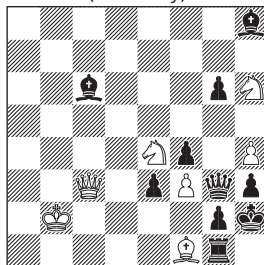
- b/c) wRc6→B/S  
Psycho-Knight g2

- a) 1.Kd4 pSf1(=pB) 2.Kd5 pBf3(=pR)#
- b) 1.Ke3 pSf1(=pB)+ 2.Ke2 Bb5#
- c) 1.Kc4 Sb4 2.Kc3 pSe4(=pB)#

Author: Model mates. Forsberg twinning. Tachioka: Psycho is an interesting piece. Sunouchi: Nice psychic triplets only with replacements on c6.

Crisan: Psycho pieces deserve a wider popularity – they allow quite some strange and unexpected effects.

**F1348** Hubert Gockel  
C+ (Germany)



H#2 (7+10)

- b) -bRg1  
Breton adverse

- a) 1.Qxf3[-wPh4] Qxh8[-bBc6] 2.Qxe4[-wSh6] Qxh3[-bPg2]#  
 b) 1.Qxh4[-wPf3] Qxc6[-bBh8] 2.Qxh6[-wSe4] Qxg2[-bPh3]#

Author: Between the solutions: reversal of active capturing and collateral disappearance of four pairs of pieces – allocated to every half move! Admittedly the slaughterhouse destiny of the two white knights is regrettable – perhaps their attractive distance to the black king will lead some solvers astray ...

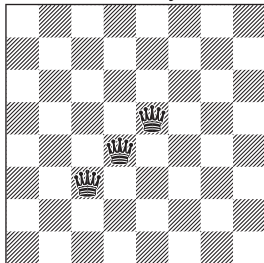
Oikawa: Exchange of pieces that are captured and pieces that disappear. It was interesting.

Tachioka: Every move with capture is good.

Sunouchi: Sweepers make symmetric solutions easily and speedy.

Crisan: Let's also remark that in both solutions the wQ self unpins.

**F1349** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



H#3 (0+3)  
 b) bQ→bB H#4  
 WandelSchach

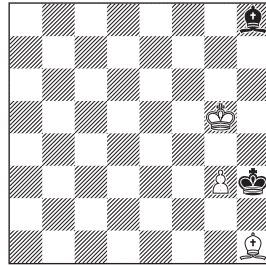
- a) 1.Qd1=wQ Qd6 2.Qa1=wR Rd1=wQ  
 3.Qe8=bK Qh5#  
 b) 1.Ba1=wR Rd1=wQ 2.Ba1=wR Qd6  
 3.Bh8=bR Rd1=wQ 4.Re8=bK Qh5#

Tachioka: (a) is good tip for (b).

Sunouchi: I fear clones of king would be bred in WandelSchach.

Crisan: The irony of fate: the King appears in Black's last move just to get mated!

**F1350** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H#3 (3+2)  
 b) H=3

- a) 1.Bd4 Kf4 2.Bg1 Kf3 3.Bh2 Bg2#  
 b) 1.Be5 g4 2.Bf4+ Kxf4 3.Kh4 Bg2=

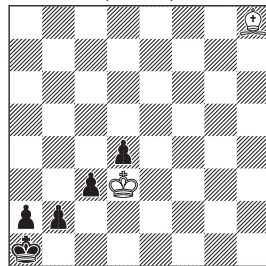
Oikawa: Differences in the way black Bishop move.

Tachioka: Simple and good echo.

Sunouchi: Distances from Bg2 decide for Black to lose or draw.

Crisan: Same last White move, yet different outcomes.

**F1351** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=2 (2+5)

(\*) 1...Bxd4 2.c2 Kxc2=  
 1.c2 Kd2 2.b1=B Kc1=

Mizuno: Pinning one of the 3 BPs.

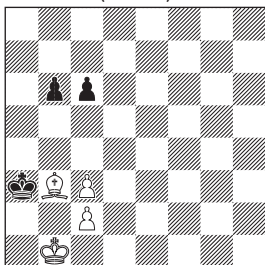
Oikawa: Focus on pawn in b2. It was simple and easy.

Tachioka: Long and short pin.

Sunouchi: One of pawns on the diagonal stays to be pinned.

Crisan: One of the most solver-friendly compositions: 6 correct answers!

**F1352** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (4+3)

1.b5 c4 2.b4 c5=  
 1.c5 Ba4 2.c4 Bb5=

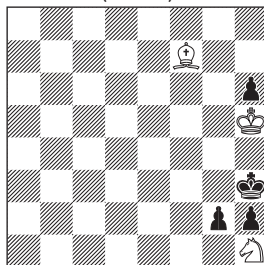
Oikawa: Deployment changes depending on which pawn moves.

Tachioka: The same move of P and B.

Sunouchi: Primitive solutions are useful for our training.

Crisan: Very simple, indeed. Now ask yourselves: can you show this idea with three (or more) black pawns?

**F1353** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (3+4)

1.g1=S Bd5 2.Sf3 Bxf3=  
 1.g1=R Bc4 2.Rg2 Bf1=

Mizuno: Pin or capture.

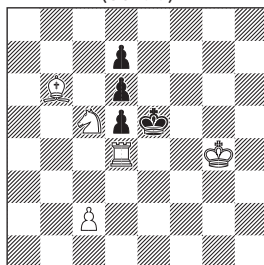
Oikawa: I prefer the g1=R solution.

Tachioka: Two promotions.

Sunouchi: Pin or capture in accordance with under-promotion.

Crisan: Who is the first to show this promotion idea with two pins of the promoted pieces?

**F1354** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



(\*) H=2 (5+4)

(\*) 1...Se6 2.dxe6 Kg5=  
 1.Kxd4 Sb3+ 2.Ke4 Bd4=

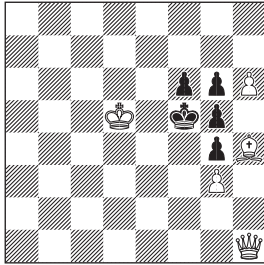
Oikawa: The exchange of functions is well done.

Tachioka: Contrast by R and B.

Sunouchi: Different sacrifices and finishes are enjoyable.

Crisan: Who can show a cycle of three white pieces: one captured, one moving at W1 and the last moving at W2?

**F1355** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=2 (5+5)

(\*) 1...Bxg5 2.fxg5 Qa1=  
1.gxh4 Qxh4 2.g5 Qh5=

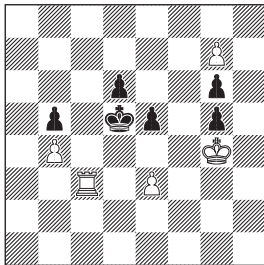
Oikawa: The captured pieces (bPg5, wBh4) are exchanged. It is simply composed.

Tachioka: Q' s big move.

Sunouchi: She decides her ways after morns the Bishop.

Crisan: Who can show two pairs of pieces mutually capturing each other?

**F1356** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=2 (5+6)

b) After the key

a) (\*) 1...g8=R 2.e4 Re8= and  
1.Ke4 g8=Q 2.d5 Qa8=

b) (\*) 1...g8=Q 2.d5 Qa8= and  
1.Kd5 g8=R 2.e4 Re8=

Author: Perpetuum mobile.

Mizuno: All solutions are the same, after all.

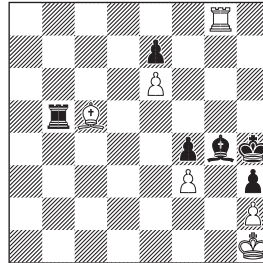
Oikawa: Set plays and solutions make a cycle. It was very interesting.

Tachioka: (b) is the same as Setplay.

Sunouchi: I love Qa8= then, set of b, c) After the key of b.

Crisan: The perpetuum mobile still exerts some fascination.

**F1357** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=2 Duplex (6+6)

BTM: 1.Bh5 Bxe7+ 2.Rg5 Rh8=

WTM: 1.Bg1 Bxf3+ 2.Rg2 Rb1=

Uchida: Nice exchange.

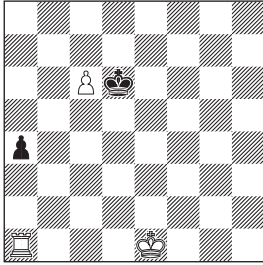
Oikawa: Double-pin in same configuration. Good.

Tachioka: Very good contrast.

Sunouchi: Elaborated duplex for quick formation of pins.

Crisan: Two double pin stalemates in Meredith – very nice!

**F1358** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H=3 2 Sols (3+2)

1.Kc5 0-0-0 2.Kb4 Rd2 3.Ka3 Rb2=  
1.Kc7 Rxa4 2.Kb8 Rb4+3.Ka8 Rb7=

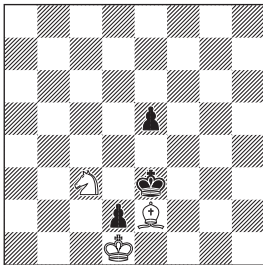
Oikawa: I recognized it as castling at first sight.

Tachioka: Simple stalemate.

Sunouchi: It's smart like as echo-mate, and to use castling.

Crisan: Solver's entertainment at its best.

**F1359** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3 (3+3)

b) wBe2→e4

a) 1.e4 Bf3 2.Kd3 Se2 3.e3 Bd5=  
b) 1.Kf2 Sd5 2.Kg1 Sf4 3.Kf1 Sh3=

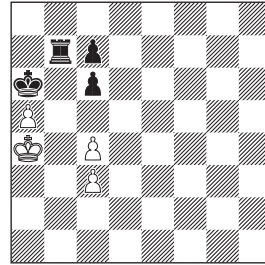
Oikawa: B's turning and S's continuous movement. I like the solution for a).

Tachioka: (b) was difficult.

Sunouchi: I took time to solve both solutions in my blind-spot.

Crisan: The need for a tempo 2.Kg1! explains why 1...Se2? doesn't work in b).

**F1360** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3 Duplex (4+4)

BTM: 1.Rb6 axb6 2.c5 b7 3.c6 b8=Q=  
WTM: 1.c5 Ka7 2.a6 Rb4+ 3.Ka5 Rc4=

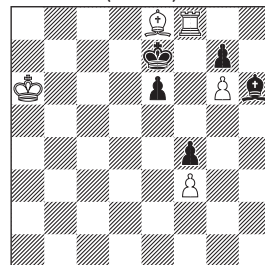
Oikawa: Both pawns move to c5. I like the feel of the Rc4.

Tachioka: P's moves are interesting.

Sunouchi: Pretty duplex has a taste to contrast rolls of Rook.

Crisan: The wP goes on the square initially occupied by the bR, while in duplex the bR goes on the square initially occupied by the wP.

**F1361** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3 (5+5)

b) bKg5

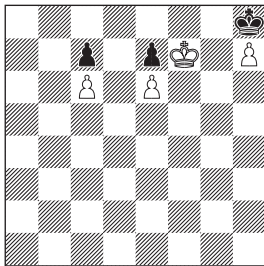
- a) 1.Bg5 Kb7 2.Bf6 Rxf6 3.Kd8 Rxe6=  
 b) 1.Kh5 Rf5+ 2.Bg5 Rxg5+ 3.Kh6 Re5=

Oikawa: Covertly shed light on bPe6.

Sunouchi: The rook captures black bishop and rounds out.

Crisan: This can be solved by finding the final position, then thinking how it can be achieved.

**F1362** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



(\*) H=4 (4+3)

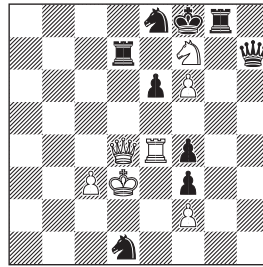
- (\*) 1...Kg6=  
 1.Kxh7 Kxe7 2.Kg8 Kf6 3.Kf8 e7+ 4.Ke8 Ke6=

Nakajima: Helpstalemate was a starting point for me to solve fairy problems. Thank you Slobodan! Thank you Eligiusz!  
 Oikawa: wPh7 is promoted in set play, and captured in solution.

Sunouchi: Unexpectedly moves are limited exactly in 4.

Crisan: Indeed, a very suitable composition for attracting newcomers.

**F1363** Abdelaziz Onkoud  
 C+ (Morocco)



HS#3 (7+9)  
 b) wPc3→c4

- a) 1.Se5 Rf7 2.Qe3 Sxe3 3.Sd7+ Rxd7#  
 b) 1.Sg5 Qf7 2.Re3 fxe3 3.Sh7+ Qxh7#

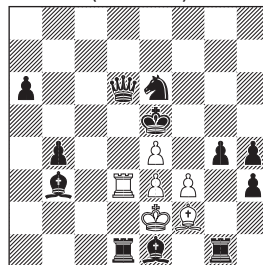
Oikawa: A brilliant procedure to checkmate with switchback.

Tachioka: Good contrast and pin mates.

Sunouchi: Self-blocks on f7 as Umnov are essential scenes.

Crisan: There are two busy squares in both solutions: f7 and e3. Three pairs of pieces exchange their functions.

**F1364** Abdelaziz Onkoud  
 C+ (Morocco)



HS#3.5 (6+12)  
 b) -bSe6

- a) 1...Ba4 2.Rxd6 Rd3 3.Bxh4 Bb5 4.Rd5+ Rxd5#  
 b) 1...Rh1 2.Bxh4 Bf2 3.Rxd6 Rh2 4.Bg3+ Bxg3#

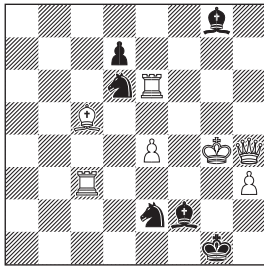
Oikawa: Exchange of the unit that build the battery, it's nice.

Tachioka: Perfect contrast!

Sunouchi: Like F1363, black replaces white on critical squares.

Crisan: The exchange of W2 and W3 leads to the creation of different batteries.

**F1365** Žarko Pešikan (†)  
C+ (Serbia)



SH=10 (7+6)

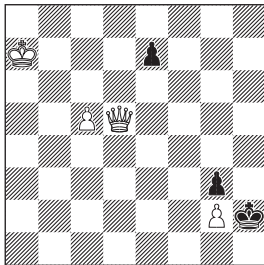
1. Bh7 2. Bxe4 3. Bd3 4. Se4 5. d5 6. d4  
7. Bg3 8. Kf2 9. Ke3 10. Be1 Qxe1=

Tachioka: Many pins are good.

Sunouchi: I was surprised by the ultimate goal of multi-pins.

Crisan: Very nice 4-pin stalemate in an economical setting.

**F1366** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=12 (4+3)

ChecklessChess

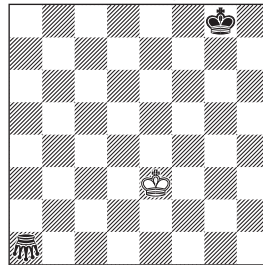
5.e1=R 7.Rxc5 9.Rxg2 10.Rf2 12.g1=B  
Qf3=

Author: Miniature. Excelsior. Minor promotions.

Sunouchi: I admire the inventiveness as antithesis of F1344.

Crisan: Congratulations, Seiichiro, for being the only solver! In the final position Black has no legal move, because all moves are checks.

**F1367** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



SR#4 2 Sols (1+2)

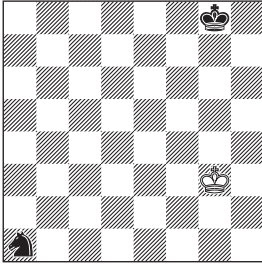
Grasshoper a1  
Sentinelles Make&Take

1. Kd2 [+wPe3] 2. Kc2 [+wPd2] 3.  
Kb2 [+wPc2] 4. Kc1 [+wPb2] Gc3#  
1. Ke4 [+wPe3] 2. Ke5 [+wPe4]  
3. Kd6 [+wPe5] 4. Kd5 [+wPd6] Gf6#

Crisan: Understanding why the final positions are mates can be difficult. In the first solution wG threatens to capture bK via c4. The bK can't go on b1 and d1, because the wG will still capture it via b3(b4) or d3(d4). In the second solution, the white sentinel left on d5 must be also taken into consideration when analyzing the wK flights.



**F1368** Andreas Thoma  
C+ (Germany)

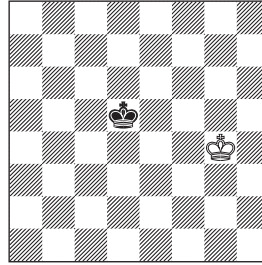


SR#8 (1+2)  
b) bKh7  
Sentinelles Alphabetic  
Make&Take

- a) 1.Kg4[+wPg3] 2.Kf5[+wPg4]3.  
Ke5[+wPf5] 4.Kd6[+wPe5]  
5.Kc7[+wPd6] 6.Kd8[+wPc7] 7.c8=B  
8.Be6+ Sxe6#  
b) 1.Kf3[+wPg3] 2.Ke4[+wPf3]  
3.Kf4[+wPe4] 7.e8=B 8.Bh5+ Sxh5#

Editor: Hajime Tachioka gave this solution: 1.Kf3[+g3] 2.Ke4[+f3] 3.Kd5[+e4] 4.Kc3[+d5] 5.Kd6[+c6] 6.c7 7.c8=B 8.Bf5+ Sxf5#. But this does not work because 8...Sxf5 is not check. Seiichiro Sunouchi's solution 1.Kf4(+wPg3) 2.Ke5(+wPf4) 3.Kd5(+wPe5) 4.Kd6(+wPd5) 5.Kc7(+wPd6)6.Kd8(+wPc7) 7.c8=B 8.Be6+ Sxe6# is refuted by 9.gxe6! Crisan: Make&Take is a very tricky condition for solvers. And, of course, for composers, too!

**F1369** Andreas Thoma  
C+ (Germany)

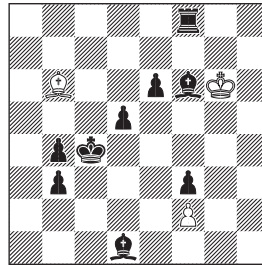


SR=7 (1+1)  
b) wKa1  
Sentinelles Make&Take

- a) 1.Kg5[+wPg4]2.Kg6[+wPg5]  
3.Kh7[+wPg6] 4.Kg7[+wPh7]  
5.h8=R 6.Kh7[+wPg7] 7.Kg8[+wPh7]  
Kd6[+bPd5]=  
b) 1.Ka2 2.Ka3[+wPa2] 3.Ka4[+wPa3]  
4.Ka5[+wPa4] 5.Ka6[+wPa5]  
6.Ka7[+wPa6] 7.Ka8[+wPa7]  
Kd6[+bPd5]=

Tachioka: P' s wall is funny.  
Sunouchi: He is a carpenter to build fences that surround him.  
Crisan: This one is easier, because the wK must keep the distance to the bK.

**F1370** Jean François Carf  
C+ (France)



PSS#18 (3+9)

- 1.Kh5 2.Kg4 3.Kf4 4.Ke3 5.Kd2 6.Kxd1

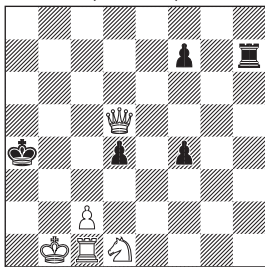
7.Kd2 8.Ke3 9.Kxf3 10.Ke3 11.f4 12.f5  
 13.fxe6 14.e7 15.e8=Q 16.Qh5  
 17.Qe2+ Kc3 18.Bd4+ Bxd4#

Tachioka: Q' s big move.

Sunouchi: Nice a happy solution as natural trips of royal family.

Crisan: First the wK arrives to the destination, followed by the wQ and then the bK.

**F1371** Ľuboš Kekely  
 C+ (Slovakia)



PS#10 (5+5)

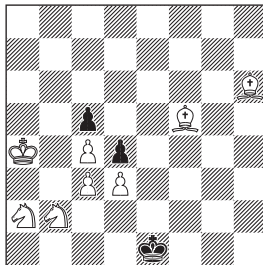
1.Ka2 2.Rb1 3.Sc3+ dxc3 4.Qxf7  
 5.Qxf4+ Ka5 6.Qb4+ Ka6 7.Qb5+ Ka7  
 8.Qb6+  
 Ka8 9.Qa6+ Ra7 10.Ka1 Rxa6#

Author: Meredith. Clearing of the line.  
 Systematic movement. Six parry checks.  
 Model mate.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: The final zugzwang is surprising after the checks' galore.

**F1372** Ľuboš Kekely  
 C+ (Slovakia)



SHS=20 (8+3)

1.Kf2 2.Kg3 3.Kh4 4.Kh5 5.Kxh6 6.Kg5  
 7.Kxf5 8.Kf4 9.Ke3 10.Kd2 11.Kc2  
 12.Kxb2 13.Kc2 14.Kxd3 15.Kc2 16.d3  
 17.d2 18.d1=R 19.Ra1 20.Kb1 & 1.Kb3  
 Rxa2=

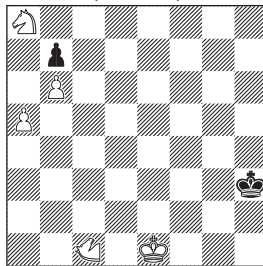
Author: Meredith. Walk of black King.  
 Minor promotion. Zugzwang.

Tachioka: Remaining Ps.

Sunouchi: I missed need of rook when I captured Sa2 on the way.

Crisan: Indeed, the wS must be left for the last capture.

**F1373** Ľuboš Kekely  
 C+ (Slovakia)



PSH#22 (5+2)

Zebra c1  
 Transmuted Kings

1.Kg4 2.Kf5 3.Ke6 4.Kd7 5.Kc8 6.Kb8  
 7.Kxa8 8.Kb8 9.Kc8 10.Kd7 11.Kc6

12.Kb5 13.Kxa5 14.Kxb6 15.Kc7 16.b5  
 17.b4 18.b3 19.b2 20.b1=Q 21.Qb4+  
 Ke5 22.Qa4 Ze4#

Author: Miniature. Walk of black King.  
 Excelsior.

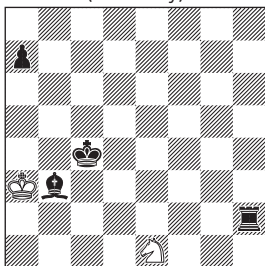
Tachioka: Efficient mate position.

Sunouchi: First of all I marked up  
 squares Zebra could go and go.

Crisan: The final position is spectacular:  
 the black King can't go to a4 or f5 and  
 the capture of the Zebra is illegal due to  
 selfcheck.

tournament. Two solvers managed to  
 finish with the same score and deserve  
 standing ovations: Seiichiro and Hajime!  
 Hironori displayed solid and consistent  
 solving skills and secured the last spot  
 of the podium. I am also happy to  
 see very good solving performance  
 from Masakazu, Akira and Katsuhisa:  
 well done! As you all know, for most  
 composers solving is just the first step  
 to unleash the creativity. I hope you will  
 continue your chess solving activities  
 in the future and maybe try also chess  
 composition.

**F1374** Torsten Linß  
 C+ (Germany)



HS#11 (2+4)

1.Sg2 a5 2.Kb2 a4 3.Kc1 a3 4. Kd2 a2  
 5.Ke3 Kc3 6.Se1 Kb2 7.Kd4 a1=R 8.Kc5  
 Rb1 9.Kb4 Ka1 10.Ka3 Rh3 11.Sc2+  
 Bxc2#

Tachioka: K' s big round trip is very  
 good. I like this.

Sunouchi: I believed white King should  
 be destined for Rundlauf.

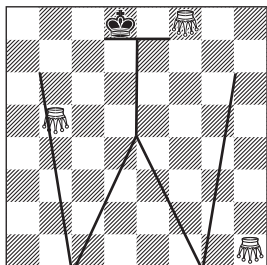
Crisan: One of the most spectacular King  
 Rundlaufs I have ever seen in my life! It  
 is absolutely amazing this could be done  
 in such an economical setting.

This was the last issue for our solving

## Addendum

Issue 99

**F1320** Sébastien Luce  
(France)  
C+ Ded. to T. Wakashima



H#9 (3+1)

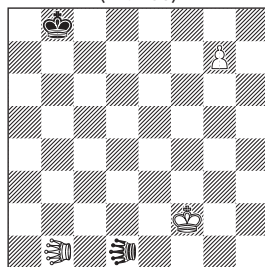
b) wGb5→c1  
Special Grid  
Grasshoppers

a) 1.Kd7 Ge8 2.Ke6 Ge5 3.Kd5 Gc5  
4.Ke4 Gb4 5.Ke3 Ga3 6.Kf4 Gg4 7.Kg3  
Gg2 8.Kg4 Gf3 9.Kh3 Gg3#

b) 1.Ke7 Gb1 2.Kd6 Gc5 3.Ke5 Ga1  
4.Kd4 Ge3 5.Kd3 Ge4 6.Kc4 Gb4 7.Kb3  
Gb2 8.Kb4 Gc3 9.Ka3 Gb3#

Author: The black King, by two different ways, goes down from the top of the T to be mated on the right of the W in a), on the left in b), mated by an anti-battery of Grasshoppers. Let us precise that at the end of b) the only legal square is b4. Squares b2 and b3 are not legal as the line of the grid is on the right of the middle of these squares. But b4 is controlled by Grasshopper b2. Chameleon echo (0,7) vertical mirror.

**F1324** Sébastien Luce  
C+ (France)



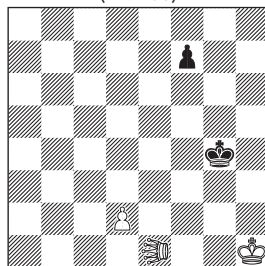
HS==7 (3+2)

Locust b1 d1  
Circe

1.g8=R+ Kc7 2.Rd8 Kc6 3.Rd2  
Lxd2-d3[+wRa1] 4.Ra4 Kd5 5.Re4  
Kxe4[+wRh1] 6.Kg1 Kf3 7.Lxd3-  
e4[+bLd1]+ Kg3==

Author: No excelsior here, but a more hidden solution with two rebirths of the Rook of promotion, the first one in a1, the second in h1 where it will be pinned at the end.

**F1325** Sébastien Luce  
C+ (France)



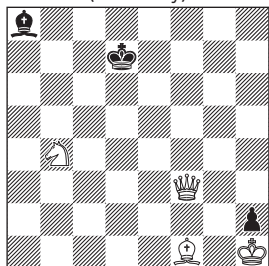
HS==8 (3+2)

Locust e1  
FileCirce

1.d4 f5 2.d5 f4 3.d6 f3 4.d7 f2 5.d8=Q  
f1=LO 6.LOxf1-g1(LOf1)+ Kh3 7.Qd3+  
LOxd3-c4(Qd1) 8.Qg4+ LOxg4-h4==

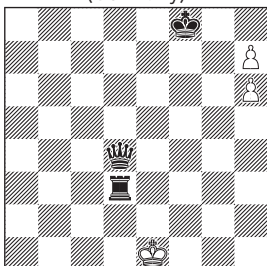
Author: Following the comment of the solution of F1222, here is a new hs==n with double Excelsior, this time with a fairy condition added. Two captures and rebirth allow a double stalemate by "incarceration" of white King on the corner.

**R350** Andreas Thoma  
(Germany)



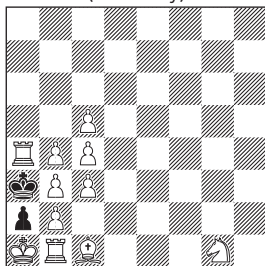
-2 & S#1 (4+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R351** Andreas Thoma  
(Germany)



-3 & S#1 (3+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

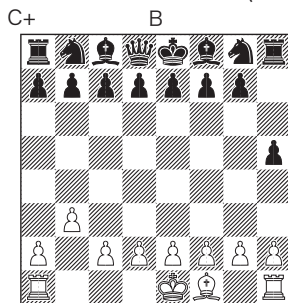
**R352** Andreas Thoma  
(Germany)



-4 & S#1 (11+2)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

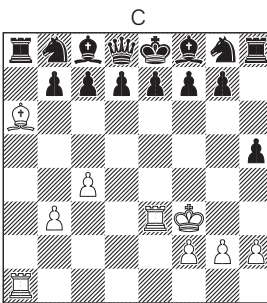
Kevin Begley

**R353-a** Kostas Prentos (USA)



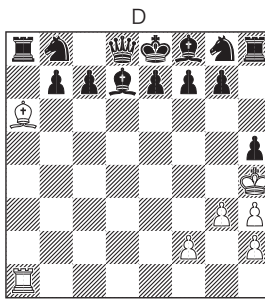
C+ B (12+16)  
Proof Game 7.0  
AntiCirce Antipodes

**R353-b**



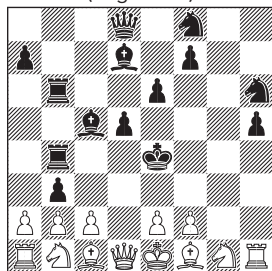
C (9+15)  
Proof Game 7.0  
AntiCirce Antipodes

**R353-c**



D (7+14)  
Proof Game 7.0  
AntiCirce Antipodes

**R354** Jorge Lois  
C+ (Argentina)



Proof Game 19.0 (13+14)

# Retro

## Editor

Naoki Matsuzaki (松崎直樹)

## Judge 2023-2024

Andrew Buchanan (Singapore)

☆今回は Retractor が3作とPGが2作です。R350は、単にbBにチェックさせるのではwSがbBの利きに入ったりwKがbPを取って逃げたりできるので、別の方法を考える必要があります。まずは黒の応手を限定できる初手を探してください。R351は、wPがありbKが右に逃げられないので、最後にwKe8でチェックし、黒の応手で詰む形を目指します。R352は、黒が手詰まりにならないように初手で黒駒を逆算します。黒駒に自由に動かせないように動きを制限します。白は最後にその駒を取って黒の合法手が一つしかない形にし、その手で白が詰むようにします。R353は、初期配置 (Initial Game Array) から始めて、7.0手ごとの手順を求めよという問題です。AntiCirce Antipodesでは、取った駒(Kを含む)は、4行4列離れたマスに再生します。再生位置が空いていなければ駒を取れません。wPが8段目の駒を取ったら成ってから再生します。wPは1段目にも再生可能ですが、動けなくなります。bPも同様です。なお、Antipodeは日本語で対蹠点(たいせきてん、たいしよてん)で、ある地点からみた地球の反対側の地点のことです。本作は共通のテーマを別の駒で表現するという趣向なので、テーマに気付けば手順に見当がつくかもしれません。bが解きやすく、aは難しいと思います。R354はオーソドックスなPGです。まずは黒の手数を計算して黒駒の経路を特定し、wPがどのように取られたかつきとめてください。

## R350 (Thoma)

-1. Qf6-f3 Kc8-d7+ -2. Bd5xQe4(Bf1)  
& 1. Qd8+ Kxd8(Ke8)#

初手は黒にbKc8を強制してbBによるチェックを戻すようwQを動かす。戻る場所はf6が正解で、他はbKc6と応じられてしまう。次に白を詰ます黒駒を用意する。再度c8を空けさせてbBでチェックさせても、wSがあるため詰まない。たとえbBを二つ並べても、白駒がc8に行けば詰まないし、wKがbPh2を取ってe1に逃げられる。そこでbQe4を逆算しe1に利かす。bKb7と逃げられないようにwBを左上に戻すが、wBb7は非合法局面となり、c6はe8に利いてしまうのでd5が正解となる。

## R351 (Thoma)

-1. Ke1xRd1(Ke1) Rd2-d1+  
-2. Ke1xRd1(Ke1) Qh8-d4+  
-3. Kd7xSc6(Ke1) & 1. Ke8+ Re1#

wPが右側を押さえているので、wKe8としてチェックすると黒はe1に駒を動かして対応するしかない。現状ではe1に利く黒駒が無いので黒が詰んでしまう。そこでbRを連続して逆算する。最後はwKがd8に逃げられないようにする必要がある。Qは再生位置d8の駒を取れず、RとBは黒マスの駒を取れないため、bSc6を逆算する。

## R352 (Thoma)

-1. Bc7xBa5(Bc1) Bb6-a5  
-2. g7xBh8=S(Sg1) Ba5/a7-b6  
-3. Rh1-b1 Bb8-a7/Bb6-a5  
-4. Re1xBb1(Rh1)  
& 1. Bc7xB(Bc1) Bxg7(Bf8)#

初手は黒が手詰まりにならないように駒取りを逆算する。再生位置の白駒三つのどれを使っても、白がチェックされた局面にはできない。黒に自由に動かれると困るが、bPを戻したとしても上手い手順がない。wBc7がbPa5を取った手を戻して黒が逆算できる手を制限する。g1を空けwRをh1に戻してからwKの隣にbRを逆算し、最後にbBを取ると、bKとbRは駒を取れないため唯一動ける黒駒はbBh8となり、bRの再生位置が空いて詰み。なお -1. Bc7xBb6(Bc1)? は、-3.5手目にa7に戻されてしまい失敗。

### R353 (Begley & Prentos)

a) 1. b3 Sc6 2. Bb2 Sa5 3. Bf6 Sxf6(bSb2) 4. Sh3 Sxd1(bSh5) 5. Sf4 Sxf4(bSb8) 6. Sa3 h5 7. Sc4 Sxc4(bSg8)  
b) 1. e4 Rh6 2. Ke2 Ra6 3. Kf3 Rxa2(bRe6) 4. Rxa7(wRe3) Ra2 5. Ba6 Rxe4(bRa8) 6. c4 Rxd2(bRh6) 7. Ra1 Rh8  
c) 1. c5 f5 2. c6 f4 3. cxd7(wPh3) Qd6 4. Kg3 c5+ 5. Kh4 c4 6. Rg3 fxd3(bPc7) 7. g3 cxb3(bPf7)

a) は白駒が四つ取られているが、黒の局面にほとんど変化がないように見える。wQが外に出るには手数が足りないので1段目で取られたと考えられる。一見bPを進めた後bRh8で白駒を取った局面だが、駒を取ると離れた位置に再生されるので、一つの駒で近くの駒を取り続けるということができない。白駒が取られる位置に動くには手数が足りない。作意は二つのbSで白駒を取った後入れ替わる手順となる。b) はwPが三つとbPが一つ取られる。白は盤上の駒に6手必要なので、wPe2はe4で取られ他のPは動かさず取られたと考えられる。bPa7はwRa1に取られ、wRh1がa1に来る。bRa8, h8が入れ替わる。c) はwP, wR, bPが一つずつ

取られている。wPh3はwPc6xd7の後再生されたと考え、盤上の白駒に計6手必要で、取られた白駒の手数は計1手と考えられる。黒は白駒を3段目で取った後7段目に再生されたことになり、bPc7, f7が入れ替わる手順となる。4. Kg3でbPf4の斜め前に行くが、bPの再生位置のc7が空いていないため合法である。

Authors: Sibling Knights for black (Sb8 ↔ Sg8) in (a); Sibling Rooks for black (Ra8 ↔ Rh8) and Sibling Rook for white (Rh1 → a1) in (b); Sibling (Impostor) pawns for black (Pc7 ↔ Pf7) in (c).

### R354 (Lois)

1. d4 b5 2. d5 b4 3. d6 b3 4. dxc7 d5 5. h4 Sd7 6. h5 Rb8 7. h6 Rb4 8. hxg7 h5 9. g4 Rh6 10. g5 Rhb6 11. g6 Sh6 12. g8=S e6 13. g7 Bc5 14. Se7 Sf8 15. g8=S Bd7 16. Sf6+ Kxe7 17. c8=S+ Kxf6 18. Sd6 Ke5 19. Se4 Kxe4

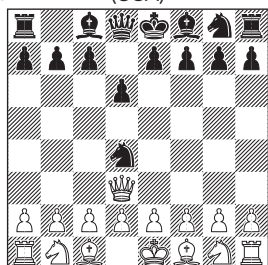
黒の手数を計算すると丁度19手なので、bPc7, g7は動かさず取られたことが分かる。bRa8がb4に移った後bRh8がb6に移動している。黒駒の配置から、wPがPのまま取られたはずはなく、全て成ってから取られたことが分かる。成った場所はc8が一つとg8が二つで、黒駒の経路とは重ならないので、動いてから取られている。成ってからの手数と黒駒の動きから、成駒の種類と取られた場所を求めると、三つともSに成ってKに取られたことになる。

Author: Triple wSSS captured by sK. Triple Prentos (wSSS-->sK).

☆ Pが成った後P以外の駒に取られるテーマはPrentosと呼ばれます(Pに取られるCeriani-Frolkinとは区別します)。本作はFPGの記法でKP(S, S, S)となります。

Issue 100

R336 Kevin Begley  
C+ (USA)



Circe ContraParrain (16+16)

a) Proof Game 3.0

(1 solution)

b) Proof Game in exactly 4.0

(2 solutions)

a) 1. d3 Sc6 2. d4 Sxd4 3. Qd3(+wPd2)  
d6

b) 1. e4 d5 2. Qe2 dxe4 3. Qxe4(+wPe2)  
Sc6(+bPd6) 4. Qd3 Sd4

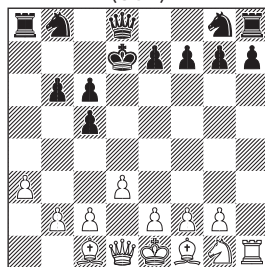
1. d4 Sh6 2. Bxh6 Sc6(+bSg8) 3. Bc1  
Sxd4 4. Qd3(+wPd2) d6

取られた駒は、直後の手の逆ベクトルを加えたマスに再生するというルール。wQが外に出るためにはwPを進めて取らせてから再生する必要がある。a)はwPd4が取られた後wQd1-d3で再生したとすれば計算が合う。テンポを合わせるにはwPをシングルステップさせればよい。b)も白はwPを進めて取らせた後、wQを縦に動かしてwPを再生する。黒はテンポが合うように、黒駒を動かして取らせた後に再生する必要がある。盤上の駒のどれかがbSの動きで再生されたものだとして、Sの手を加算した場所で取られたことになる。正解はbPe4->d6と、bSh6->g8の二つで、前者はbPd7-d5xe4と2手かけて動かす。後者はwBc1がbSh6を取ってスイッチバックする手順で、最終手はa)と同じになる。

Sunouchi: Suppose a piece moves backward especially contra-S.

太刀岡: Bが動くのが最も面白いが、他の解もルールを活かして良い。

R337 Kevin Begley  
C+ (USA)



Proof Game 10.0 (13+13)  
Einstein Chess

1. a4 c5 2. a5 Qxa5 3. Ra4=B b6 4.  
Bxd7=R Sc6=P 5. Rxa7=Q Bg4=S 6.  
Qb8=R+ Kd7 7. Rxf8=Q Sxh2=B 8.  
Qd8=R+ Rxd8=Q 9. Sa3=P Qaa8=R 10.  
d3 Bb8=S

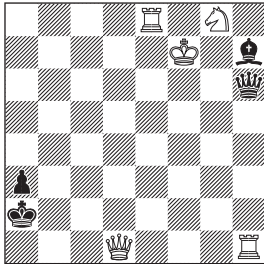
K以外の駒は動いた後に昇格・降格するルール。bPc6, c5のいずれかがSが降格したものである。bSb8-c6=Pとし、bSb8はbBc8がwPh2を取って戻ってきたとすると計算が合う。これにKとPの手数を合わせると7手で、残りは3手。bBf8は動かずに取られたはずで、どう取られたのかが問題となる。wRa1-a2=B-e6-Sxf8=B? という手順がありそうだが、黒が白駒を取る手数が足りない。取った後白駒が動ければよいので、wRで横から取りQに昇格し、d8で取られる。bQa5はbPb6が邪魔でd8に戻れないため、代わりにbRa8で取ってQに昇格する。Qはa8に行きRに降格する。位置と種類が入れ替わったことになる。

太刀岡: BがSになって帰るのは比較の見えやすいが、QとRが入れ替わるのが不思議



議な手順。

R338 Andreas Thoma  
(Germany)

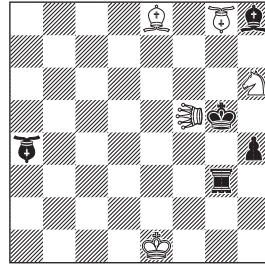


-3 & S#1 (5+4)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

- 1. Qf5xBe6(Qd1) Bd7-e6+  
(Bc8-e6+? -2. Re1-e8 & 1. Qb1+  
Kxb1(Ke8)#)
- 2. Re1xBe6(Rh1) Bc8-d7+
- 3.e7-e8=R & 1. Qb1+ Kxb1(Ke8)#

e1を塞いでe8を空け、Qb1でチェックしてbKに取らせて詰む形にする。KでなくbBg7に取られると詰まないの、bBを連続して逆算し、再生位置のc8に戻させる。h1が空いた後にwRe8をRのまま動かすとe8に利いてしまうが、Pに戻せば問題ない。太刀岡：c8を埋めるためにBを2枚出すのが面白い。

R339 Andreas Thoma  
(Germany)



-2 & S#1 (5+5)  
Klan Retractor  
AntiCirce Calvet  
Locust f5  
BishopHopper g8, a4  
RookHopper g3

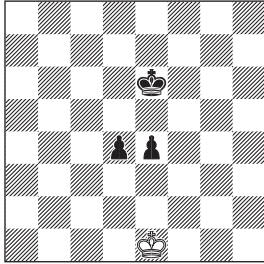
- 1. Kb2xLOb1(Ke1) LOf8xPb4-a3(LOb1)+
- 2. b3-b4 & 1. BHa2+ LOf8xf5(LOf1)#

wBe8がbKの駒取りを防ぐと同時にh5に逃げられなくしている。g8が空けばwLOf5でチェックとなるが、現状ではwBHg8が跳び越える駒がないため動けない。a2-g8の線上に黒駒を逆算しても上手く続かないので、まず再生位置のbLOを逆算して白駒を入手できるようにする。黒がダブルチェックに戻すには、bBh8の再生位置のf8に戻すしかない。f8からb4の白駒を取って再生したことになる。駒の種類決定権は白にあるので、b3に戻れる駒のうち、後でbBの対角線上に入れないようにPを選ぶ。最後にチェックすると黒はwLOf5を取るしかなく、再度f8が空いて白が詰む。

Sunouchi: Hoppers play their rolls with the same springboard.

太刀岡：2手なのに大変難しく、ずっと考えていた。盤面を広く使うのが良い。

R340 Andreas Thoma  
(Germany)

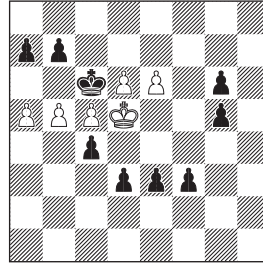


-10 & S#1 (1+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

- 1. Ke1xPd2(Ke1) d3-d2+
- 2. Ke1xRd1(Ke1) Rd2-d1+
- 3. Kf2xRg3(Ke1) Rd1-d2+
- 4. Ke2-f2 Ke7-e6
- 5. Ke1-e2 Rd2-d1+
- 6. Kg1xQg2(Ke1) Kd8-e7+
- 7. Kf2-g1 Rd1-d2+
- 8. Ke1-f2 Rd2-d1+
- 9. Ke1xRe2(Ke1) Rf2-e2+
- 10. Kf7xQe6(Ke1)
- & 1. Ke8+ Kc~#

まず bP を逆算する。2 段目の bP が駒を取ったら成駒として再生されるので、チェックを戻すには P を後退させるしかない。bR を逆算すると、wK が e1 に戻って駒取りを繰り返し逆算できるようになる。代わりに黒マスの bB 二つでも同じ役割を果たせそうだが、bB を動かす代わりに bK が f8 に戻る手が生じてしまう。-4.5 手目は、bP が動かずに再生位置を空けてチェックした形なので、e7 に bK を戻すことになる。続いて bQ によるチェックを戻させ、d8 に戻る。bRf2 を戻して wK が右に逃げられないようにしてから Ke8 でチェックし、bK に bQ の再生位置を空けさせて読み。

R341 Bojan Bašić  
(Serbia)



-9 & S#1 (6+9)  
Proca Retractor  
SAT  
Haunted Chess

- 1. Ke5xQd5 g7-g6+
- 2. d5-d6(+bQd5) g6-g5+
- 3. c4-c5(+bPc4) g4xf3 e.p.
- 4. f2-f4 g5-g4+
- 5. a4-a5 f4xe3 e.p.
- 6. e2-e4 f5-f4+
- 7. a3-a4 e4xd3 e.p.
- 8. d2-d4 Kc5xQc6+
- 9. a4xBb5
- & 1. Qc6-b6+ Kc5xb6#

-1. Ke5xQd5

Since wK could move to f6, White is in check, and thus Black is forced to nullify this check in his retraction (which is possible only by retracting the pawn to g7). We also note that bK seemingly can move to b5 and c5 after this retraction, which (seemingly) puts Black in check; but since it is impossible that Black is in check after White's retraction, the only possibility is that there is wQ buried under bK. (Note that we cannot apply the same logic for wK and argue that Black may not be obliged to protect e6 on the ground that there could be a

black piece buried under wK, because we know that there is no piece under wK since the field e5 was empty before the retraction.)

-1... g7-g6+ -2. d5-d6(+bQd5)!!!

The absolute highlight of the problem. A retraction that seems nowhere close to being legal, since wK gets access to d4, e4 and f5, and there is no retraction available to Black after which he would attack all these fields. However, there is a (very sneaky) way to explain the legality of this retraction. Namely, wK cannot step on d4 nor e4 because there are ghosts of wPs captured en passant on d4 and e4 (recall that, in Haunted Chess, a piece cannot step to a square where a ghost of a pawn captured en passant stands)! Therefore, Black only needs to attack f5 after his retraction. However, Black can achieve this only by retracting the pawn to g6, but then the pawn loses control of the field f4. This means that there is a ghost of a wP captured en passant also on f4. Three ghosts revealed by a humble pawn move!

-2... g6-g5+ -3. c4-c5(+bPc4) g4xf3 e.p.

This is the best Black can do. Obviously, bPg6 and the pawns on the 7th row cannot be retracted. The retraction Kb6xQc6 is illegal (it puts White in check, because of the field d6), the retractions Kd7xQc6 and Kc5xQc6 are also illegal (after them there would not exist a possible retraction for White that would nullify check), and so is the retraction Kd6xQc6 (then White would be forced to retract Kf6-e5, after which Black would have no last move). The

retraction Kc7xQc6 leads to -4.Qe8-c6+! & 1.Qe8-b8+ Kxb8#. Therefore, Black has to retract one of the three pawns on the third row (there are no other possible bK retractions, since bK must keep control of the field d6). Recall that all of them captured e.p. None of them can be retracted to d4, e4, f4 (because of ghosts standing on these squares). Also, it is impossible to retract c4xPd3(+wPc4) e.p. (since a bP is buried under wPc4, and only one piece can be buried on one field). Therefore, only the move from the main line remains.

-4. f2-f4 g5-g4+ -5. a4-a5 f4xe3 e.p.

The analysis is similar as in the previous paragraph, but with an interesting "plot twist" : now the retraction Kc7xQc6 is illegal (White would have no last move after that), and the retraction Kc5xQc6 leads to a shorter solution -6.a3-a4 & 1.Qc6-b6+ Kc5xb6#. Exactly the opposite roles for these two retractions!

-6. e2-e4 f5-f4+ -7. a3-a4 e4xd3 e.p.

-8. d2-d4 Kc5xQc6+

The final touch. White already has s#1 prepared: 1. Qc6-b6+ Kc5xb6#. However, retracting a random move (such as -9. Qc7-c6 or -9. b4-b5) leads to an illegal position because of no possible Black's last move! Retracting -9. b3(d3)xPc4 fails due to 1. Qc6-b6+ Kc5(x)d4(d5)! (works because c4 is now blocked, and thus is not bK's flight anymore). Uncapturing by wQ is illegal because that retraction puts Black in check (because bK could move to c4). Uncapturing by wPe6 does not work because it puts White in check,

and thus 1. Qc6-b6+ is not possible because White remains in check (also note that -9. f5xRe6(+bPf5) is the only legal retraction here, but does not work anyway). Uncapturing -9. e4xQd5(+bPe4) fails due to 1. Qc6-b6+ Kc5xb6 2. Ke5xd5!. Pieces that can be uncaptured by wPb5 are bS, bB and bR (bQ is impossible because one bQ is already under wPd5, and there cannot be a promoted piece on the board because of 8 bPs; bP is also impossible). Retracting -9. a4xSb5 fails since after 1. Qc6-b6+ Kc5xb6 White is not mated (not even checked). Retracting -9. a4xRb5 fails due to 1. Qc6-b6+ Kc5xb6+ 2. d5-d6(+bQd5)!. Therefore, only the move from the main line works.  
-9. a4xBb5 & 1. Qc6-b6+ Kc5xb6#

SAT ルールでは、K に flight square があるとチェックとなる。自分の K がチェックされるような手が禁手である点や、チェックが解消できなければ詰みとなる点は通常と同様である。自分の K の周囲に自分の駒がないマスがある場合は、そこに逃げたときに相手の駒が利くようにしなければならない。Haunted Chess のルールでは盤上の駒が利いているとは限らず、K が動くとき相手の駒の幽霊が再生されて利くという場合もある。なお、K の移動前のマスには相手の駒が利いていてもいなくてもよい。

初手、wK が空きマスの e5 から bQ を取った手を戻すと、e5 に幽霊はいなかったことになるので、黒は g6 の逃げ道に bP を利かしてチェックを戻す。-2 手目で wP が bQ の幽霊を再生した手を戻すと、K の周囲の d4, e4, f4, f5 に黒駒が利いていない局面になる。このチェックは一見逆算不可能に思えるが、アンパッサンで取られた P の幽霊が 4

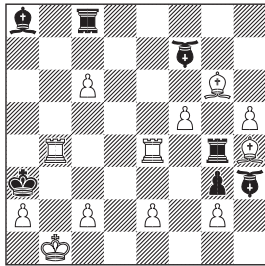
段目に残っているとすると、bP を f5 に利かしてチェックを戻すことができる。アンパッサンで取った P が動くまでの間、取られた P の再生位置に他の駒が留まる手は禁手となるので、K はこれらのマスに動くことができない。アンパッサンを戻すのと並行して wP を a3 に戻し、b4 の逃げ道をなくして bK が wQ 取りを逆算できるようにする。合法局面となるよう、黒に直前の手が存在するようにしたいので、黒駒を取った手を戻す。逆算中に動かしたことのある駒は、幽霊の有無から駒駒りの有無も確定する。wPa4 が bBb5 を取った場合のみ詰む。bK が c4 に逃げられるようにしてチェックすると、wQ を取って受けるしかなく、wK が d4 に逃げられるようになって詰み。

Author: Three e.p. captures by black forced by zugzwang in a proca retractor! at first glance, it seems that the retraction -1. Kd5xRc5 works as well (with the same solution as the given one). However, it is impossible that a bR is buried under wK, since then White would be in check in the initial position (because he could play to b4). Since we know that there is no piece buried under bPg6 in the final diagram (because it was previously retracted from g5 to the empty square g6), it could seem that the pawn structure Pg7, Pg6 in the final diagram is illegal (Pg6 could arrive there only by capture). But this is legal: h7xg6, then White captures Pg6, and then White moves the piece from g6 (causing Pg6 to resurrect, but without any piece buried under it, as per the rules of Haunted Chess).

☆ SAT ( 考案者 Ladislav Salai sr. の名から Salai' s Mat とも ) については、Juraj Lörinc, New ideas in fairy chess 2 - SAT

( [http://www.jurajlorinc.com/chess/niifc\\_02.htm](http://www.jurajlorinc.com/chess/niifc_02.htm) ) をご参照ください。

**R342** Klaus Wenda  
(Austria)



-10 & S#1 (12+7)

Proca Retractor  
AntiCirce Calvet  
RookHopper c8  
BishopHopper f7,h3

-1. f4xg5(Pg2) Bb7-a8 -2. b5xRHa6(Pa2) Ba8-b7 -3. Ka1-b1 Bb7-b8 -4. Bh7-g6 Ba8-b7 -5. Bg8-h7 Bb7-a8 -6. Bh7-g8 Ba8-b7 -7. Bg8-h7 Bb7-a8 -8. Bh7-g8 Pg7-g5 -9. d5xe6.e.p.(Pe2) e7-e5 -10. Re1-e4 & 1. Bxe7(Bc1)+ Ka2#

Basic plan:

-1. d5xe6 e.p.(Pe2)? e7-e5 -2. b5a6e.p.(Pa2) a7-a5 -3. Re1-e4 & 1. Bxe7(Bc1)+ Ka2+ 2. Re8#! [bK is mate]

Preparation plan:

-1. f4xg5(Pg2)! [Antizielelement as the line h4-e7 has been closed] Bb7-a8 -2. b5xRHa6(Pa2) Ba8-b7 -3. Ka1-b1! Bb7-b8 -4. Bh7-g6 [position wKa1,wBh7,bBb7, Black to play 1st time, zugzwang] Ba8-b7 [-4...g6,g7-g5? opening the line h4-e7 would make the basic plan effective...-5. d5xe6 e.p.(Pe2) e7-e5 -6. Re1-e4 & 1. Bxe7(Bc1)+ Ka2#! now with double check K+RH.

Thus White continues with a draw pendulum to force the move g7-g5] -5. Bg8-h7! Bb7-a8 -6. Bh7-g8 Ba8-b7 -7. Bg8-h7 Bb7-a8 -8. Bh7-g8 [this position wKa1, wBh7, bBb7, Black to play occuring 3rd time is not identical with that after W4 since White has the additional option to capture Pf5,h5xPg6 e.p.(Pg2), Black is forced to legalize this option by moving his g-pawn] Pg7-g5! and W has reached his goal -9. Pd5xPe6 e.p.(Pe2) Pe7-e5 -10. Re1-e4 & 1. Bxe7(Bc1)+ Ka2#

Thematical try:

-1. f4xRg5(Pg2)? Bb7-a8 -2. b5xRHa6(Pa2)...-8.Bh7-g8? this position with wBh7, bBb7 is - in contrast to the solution - illegal since White has no ep-option [there is no pawn on g5!] Therefore W must break off the pendulum after B7.

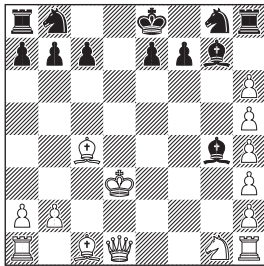
白は最後にe1を塞いでwBでチェックし、bKが動くと白が詰むようにしたい。bK単独の場合、e8に白駒が利いていなければbKに逃げられてしまう一方で、白駒がe8に動けると詰まない。そこでwKa1とし、bKとRHのダブルチェックで詰む形にする。初手wPf4とbPg5を逆算すると、黒はbBa8を戻すしかなくなる。さらにRHa6を逆算すると、bBがa8-b7を往復することになる。wKa1の後wBを動かし、同一局面を繰り返す。-8.5手目の局面は-4.5手目の局面と駒の配置が同じなので、白の手が同形三復ルールに抵触しているようだが、実際にはアンパッサンの権利の有無が異なるため同一局面ではない。ダブルステップ直後の局面であることが確定するので、黒はbPg5を戻さなければならなくなる。白は

Bh4xPe7(Bc1) を目的としているにも関わらず、初手で h4-e7 のラインを bPg5 で閉じるという逆効果な手を指すのが狙い。ドイツ語で Antizielelement と呼ぶ。anti は反対や否定の意の接頭辞、Ziel は目標や目的で、Element は要素や因子である。

Author: This ep-idea allowing W to continue a draw pendulum is in principle not new. There exist examples by Dittmann, Weeth, Crisan, Thoma. I've also presented it for myself before (see KW, PP 84/2018, no.R251). However a problem presenting the combination in a logical structure in the New German style connected with a thematical try might bring a novelty.

Thoma: The ep idea allowing white to continue a draw pendulum is extremely seldom shown in proca. The trick with the rookhopper to allow double check at the end is excellent. To bring an 'Antizielelement' at the beginning is the top of the i.

**R343** Henryk Grudziński (Poland)



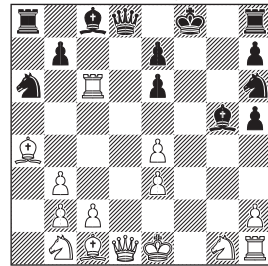
Proof Game 13.0 (14+12)  
Circe Equipollents

1. Sc3 d5 2. Sxd5 Qxd5 3. d3 Qxd3
4. e4 Qxe4(+wPf5)+ 5.Kd2 Qa4 6. c4 Qxc4(+wPe4) 7. f4 Qxe4(+wPg4) 8.

- Bc4 h5 9. gxh5 Qxf4(+wPg4)+ 10. Kd3 Qxg4(+wPh4) 11. f6 Qh3+ 12. gxh3 Bg4 13. fxg7 Bxg7(+wPh6)

取られた駒は、駒取りの手のベクトルを加算した位置に再生されるルール。他の駒があるか盤外なら再生されない。wPh6 は fxg7 の後 bB に取られたことが読みとれる。wP 五つを縦に並べるため、黒は bQ で左から wP を取る手を繰り返すことになる。bQ は h3 へ行って wP に取られる。白は 7 手目に wPf2 を進めておかないと、wK へのチェックとの関係で手詰まりになってしまう。

**R344** Silvio Baier (Germany)



Proof Game 24.0 (14+13)

1. d4 f5 2. Bh6 gxh6 3. g4 h5 4. g5 Bh6
5. g6 Bg5 6. g7 Sh6 7. g8=B Kf8 8. Be6 dxe6 9. e4 Qd5 10. Bb5 Qb3 11. axb3 f4
12. Ra6 f3 13. Rc6 a5 14. d5 a4 15. d6 a3 16. d7 a2 17. d8=B a1=Q 18. Bxc7 Qa7 19. Bf4 Sa6 20. Bc1 Qe3 21. fxe3 f2+ 22. Kd2 f1=Q 23. Ba4 Qd3+ 24. Ke1 Qd8

残っている駒の数と P の位置から、白黒二つずつ P が成ったことが分かる。黒の手数を計算すると bPc7 は動かずに取られたことになる。wPd2 は c8 か d8 のどちらかで成ったはずだが、bBc8 が動くと手数合わないで、d8 で成っている。成駒の種類は、

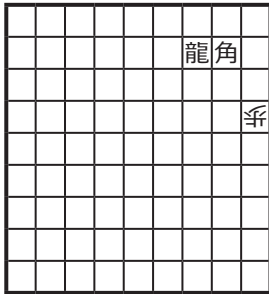
bK をチェックしないことと、bPc7 を取れることから  $d8=B$  と決まる。d8 を空けるため元の bQd8 は b3 で取られる。白黒ともまず元の駒が P に取られた後、同種の成駒が P に取られ、もう一つの成駒が初形位置に戻るといふ流れとなる。白黒両方で Ceriani-Frolkin と Pronkin を行うという趣向。

太刀岡：一見かなり非効率な Bc1 が動くのが面白い。

☆このテーマについては、作者自身による記事 Silvio Baier, *Orthodoxe Beweispartien mit je zwei Ceriani-Frolkin und Pronkins*, 2022-23 が *Die Schwalbe* の 2022 年 12 月号から 23 年 4 月号 (Heft 318-2, 319, 320) に掲載されています。また、他の PG のテーマを広く扱った記事 Silvio Baier, Nicolas Dupont and Roberto Osorio, *Future Proof Games - A challenging new concept Part one: Classical FPGs*, 2011 ( [https://www.dieschwalbe.de/hefte/schwalbe\\_250A\\_August\\_2011.pdf](https://www.dieschwalbe.de/hefte/schwalbe_250A_August_2011.pdf) ) もあります。本作は FPG の記法で CF(B, q) & PR(B, q) となります。

## U324 SUDO Daisuke

須藤大輔



▲ なし

詰将棋

透明駒 0+1

## Shogi

Editor

AIBA Takehiro (会場健大)

Judge 2021-2023

TACHIOKA Hajime (太刀岡甫)

### U324 (須藤)

99 角生、13 玉、22 龍まで 3 手。

☆透明駒で玉方の玉を透明にする表現にはいろいろあるが、普通詰将棋と組み合わせるパターンは少ない。その場合、攻め方の着手をいよいよ解釈して突拍子もないところに玉を出現させて逃れようとしてくることに注意が必要だ。

☆たとえば、へたに 41 龍などとしてしまえば喜んで Ix41 としてしまう。これで玉は 41 龍を取れるところにいたのだ、と主張してしまえばもう詰みはない。基本的に、盤上の駒を動かす手はどれも同様に取られて詰まない。それならと開き王手のつもりで 88 角成などとしてみても、開き王手だと思っているのはこちらだけで、かまわず Ix88 とされてしまう。玉は左下にいたのだという主張だ。

☆そこで、どうあっても開き王手でしかない

という手を探さなければならない。それが 99 角生の最遠移動だ。これは攻方の駒がもともと効いていた地点と比べて新たに利きのある地点を増やさない着手だから、絶対に直接王手ではない。うっかり成っていると、98 や 89 に利きを増やしてしまうから、そこにいた玉への直接王手だと解釈されて Ix99 で逃れる。

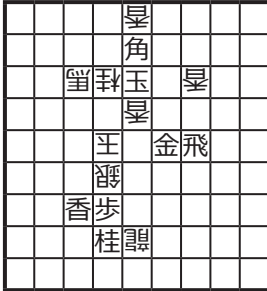
☆ 99 角生に対しては後手玉が 12 に可視化されるため、2 手目は位置と駒種を明言しての着手となる。普通詰将棋特有の透明玉の性質を利用してシンプルな形から最遠不成を実現した一作だった。



Issue 100

U321 FUJIWARA Toshimasa

藤原俊雅



▲ 銀

詰将棋 (バリエーションあり)

55 金、

同香 / 同馬 / 同龍 / 同銀 / 同桂、

54 銀 / 74 銀 / 56 銀 / 66 銀 / 76 銀まで 3 手

☆本作、“Beyond The Star” の命名がありました。出題時忘れており失礼いたしました。

☆初手に対して玉方の応手が 5 通りあり、それぞれに対して異なった場所への銀打ちまでで詰め上がるという 3 手詰だ。

作者：以前、金を Plus の形に 4 箇所打つ作品（詰将棋メーカー 2021 年 10 月発表）を作った時に、銀で Star の形に打つ version も考えてはいたのだが、単純過ぎるのでお蔵入りとしていた。それを発展させ、銀を玉の周り 5 箇所に打つという task を実現したのが本作である。では、金 6 箇所は可能か？原岡：こういう趣向ですか。

中嶋：プロバならではの出題ですね。

及川：取る駒の違いにより、銀を打つ場所が変化。なるほど、上手い。

吉田：銀の利き 5 方向コンプリート。

水野：初手の金を取る手によって 5 通りの変化になるんですね。ただ初手の紛れは少なくなりましたね。

齋藤：テーマらしきものは伝わってくるし、うまく出来ているとも思えるのですが、面白いか、と問われると小首をかしげてしまいます。

太刀岡：銀の 5 種の利きを使う豊かな発想。金ではどうかと妄想が捗る。

黒川：持駒金で 6 通りのバリエーションは可能なのだろうか。

☆作者はもちろん次の task として考えていることだろう。

U322 HASHIMOTO Satoshi

橋本 哲



▲ 歩 8 ▼なし

ブルーフゲーム 44 手

16 歩、42 銀、15 歩、31 金、

14 歩、41 玉、13 歩成、51 金、

12 歩、同香、23 と、25 歩、

26 歩、同歩、33 と、35 歩、

36 歩、同歩、43 と、45 歩、

46 歩、同歩、53 と、55 歩、

56 歩、同歩、63 と、65 歩、

66 歩、同歩、73 と、75 歩、

76 歩、同歩、83 と、85 歩、

86 歩、同歩、93 と、95 歩、

96 歩、同歩、94 と、16 歩迄 44 手。

☆後手の指した手は 22 手。金銀玉香は短縮できない移動しかしていないので、5 手かかっているとみて間違いない。残りは 17 手、すべて歩の手である。歩は突いていても間に合わないのは明らかだから、一度先手に取らせてその筋に打っている。ということは、後手は盤上にある歩の数だけ取る手と打つ手が必要になるから、9×2 で 18 手必要そうに見える。それでは足りないので、先の省略できないとした 5 手のうちどれかが歩を取る手でもある、ということがわかる。少し考えると、その手は 12 香でしかあり得ない。そこで先手の指し手もある程度決まってくる。初手から 1 筋を突いていくのだ。

☆ 12 歩、同番で後手に歩を渡しておいて 23 とがうまい手順。これで 25 歩と打たせれば、先手が 26 歩とお手伝いして歩を渡し、続いて 33 とと二歩禁を外すことでまた歩を打たせ……というサイクルに入ることができる。これを 9 筋までやっていく。なんと、ブルーゲームの趣向手順化が実現したのである。将棋ブルーゲーム史においてこのようにサイクル的な趣向手順を実現した作品はないといってよいと思う。エポックメイキングな作品である。

太刀岡：将棋盤に眠る趣向手順。一見非効率に見える先手の歩突きが論理的に保護されているさまは、ブルーゲームとはこういうものだと教えてくれる。傑作。

内田：歩が速い。26 歩が解図のポイント。

齋藤：実に楽しい作品。はじめの一歩、と思った歩並べの 16 歩が一番最後というのもどんでん返しみたいで面白かったです。

☆このあたり、ちゃんと意外性の要素が謎解きを盛り上げていることも見逃せない。

無解:あと一歩というところまではいきますが、上手く短縮できる方法が浮かばず……。降参です。

# Problem Paradise

## Informal Tourney Award

### Endgame 2022

Judge: Mario G. Garcia

I have looked through the magazines over the year of 2022, which contained many studies from the participants.

In addition, after the closing of the contest, I received studies in word and PGN format, which I used to carry out the analysis and evaluation.

I would like to highlight the valuable collaboration with the Director of the tournament, Hiroshi Manabe. We have had important interactions during the year 2022.

I also want to thank the composers who offered brilliant works for the publication.

Participants: Michal Hlinka (Slovakia); Pavel Arestov (Russia); Lubos Kekely (Slovakia); Peter S. Krug (Austria); Andrzej Jasik (Poland); Michael Pasman (Israel); Jarl Henning Ulrichsen (Norway); Valery Kalashnikov (Russia); Jan Timman (Netherlands); Sergey Osintsev (Russia) ; Jan Rusinek (Poland); Leonid Topko (Ukraine); Alexey Gasparyan (Armenia); Rainer Staudte (Germany); David Gugenidze (Georgia); Michael Schlosser (Germany)

There are 28 studies by 16 composers from 11 countries.

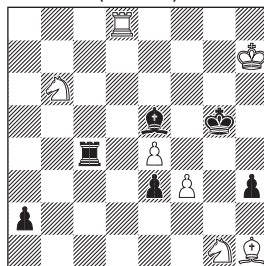
Here is the presentation of my

evaluation.

### SECTION A WIN STUDIES

#### 1st Prize

**E216** Peter Krug  
(Austria)



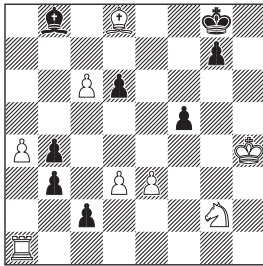
Win (7+6)

**1.f4+! Bxf4!** [main B: 1...Kxf4 2.Rf8+!  
a) 2.Nxc4? a1Q 3.Rg8 Qa7+ 4.Kg6 Qc5!  
5.Ne2+ Kg4 6.Kh6+ (6.Nxe5+ Qxe5  
7.Kh7+ Kh4 8.Bf3 h2 9.Rg4+ Kh3=)  
6...Kh4 =; b) 2.Nd5+? Kg3 3.Rg8+  
Kf2 4.Nxh3+ Ke1; 2...Kg3 3.Rg8+ Kh2  
(3...Kf2 4.Nxh3+ Ke2 5.Rg2+-) 4.Nf3+  
Kxh1 5.Rg1# mate] **2.Rg8+!** [2.Nd5?  
Rc7+! 3.Nxc7 a1Q 4.Rg8+ Kf6! =]  
**2...Kf6 3.Nd5+ Ke5** [3...Kf7 4.Rg7+!  
(4.Ra8? Rc1 5.Ra7+ Bc7 6.Rxa2 Rxc1=)  
4...Ke8 5.Ra7 Rc1 6.Rxa2 Bb8 7.Nf3  
+-] **4.Re8+!** [4.Ra8? Rc1 5.Re8+  
Kd6=] **4...Kd6 5.Rd8+ Ke5 6.Nf3+  
Kxe4 7.Kg6 Rc6+ [7...a1Q 8.Nc3+!  
Qxc3 9.Ng5+ Ke5 10.Rd5#] 8.Nf6+!  
Rxf6+ 9.Kxf6 a1Q+ 10.Rd4+ Qxd4+  
11.Ne5# mate**

Culmination in mate in two lines!  
With variations and trials, a study of significant and pleasant artistic level.

## 2nd Prize

**E203** Jan Timman  
(Netherlands)



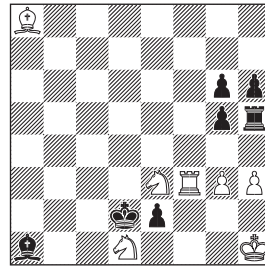
Win (8+8)

**1.Ne1! Bc7!** [1...b2 2.Nxc2 b3 3.Bf6 bxa1Q 4.Nxa1 gxf6 5.Nxb3+-] **2.Bg5!** [2.Bf6? gxf6 3.d4 b2 4.Nxc2 bxa1Q 5.Nxa1 d5! (5...Kf7? 6.d5+-) 6.Nb3 Kf7 7.a5 Ke7 8.a6 Bb6=] **2...b2 3.Nxc2 b3 4.Bf6! Bd8!** [4...bxa1Q 5.Nxa1 gxf6 6.Nxb3+-; 4...bxc2 5.Bxb2+-] **5.c7!** [5.Kh3? Bxf6 6.c7 bxc2 7.c8Q+ Kf7 8.Qd7+ Kf8=] **5...Bxf6+ 6.Kg3! bxc2** [6...Be5+ 7.Kg2! (7.Kf2? bxc2 8.c8Q+ Kf7 9.Qd7+ (9.Rg1 b1Q 10.d4 Bf6=) 9...Kf6 10.Rg1 b1Q 11.Qxg7+ Ke6 12.Rg6+ Kd5 13.Qg8+ Kc5 14.Qc4+ (14.d4+ Kb4=) 14...Kb6 15.a5+ Kb7 16.a6+ Kb6=) 7...bxc2 (7...bxa1Q 8.Nxa1 b2 9.c8Q+ Kh7 10.Qxf5+-) 8.c8Q+-] **7.c8Q+ Kf7 8.Rh1!** [8.Qd7+? Kg6 9.Rh1 (9.Rf1 c1Q 10.Qxf5+ Kf7=) 9...Be5+!=] **8...b1Q 9.Qd7+ Be7** [9...Kf8 10.Rh8#] **10.Qxf5+ Bf6 11.Qd7+ Be7** [11...Kg6 12.Qe8+ Kg5 13.Qh5# /Rh5+#] **12.Qc6!+-**

The variety of "unexpected" and surprising movements, both in White's try and in Black's counterplay, is striking. The sequence of the moves makes culmination, which in some cases with mate.

## 3rd Prize

**E202** Andrzej Jasik  
(Poland)



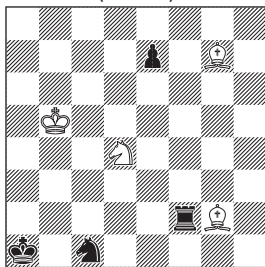
Win (7+7)

**1.Rf2! Kd3** [1...g4 2.Kg2 Kd3 3.hxg4 Re5 (3...Rh2+ 4.Kxh2 e1Q 5.Rf4 Qd2+ 6.Kg1 Qe1+ 7.Kg2 Qd2+ 8.Nf2+ Kxe3 9.Re4#) 4.Bb7 Re6 5.Bd5 Rxe3 6.Bc4+ Kxc4 7.Nxe3+ Kd3 8.Nc2 ± ] **2.Be4+! Kxe4 3.Rxe2 Kf3 4.Rf2+** [4.Rh2? Kxg3 5.Nf1+ Kf4= 6.Nde3 Ke5 7.Ra2 Bd4 8.Ng4+ Ke6 9.Kg2 Rh4 10.Ra6+ Kf7 11.Ng3 h5 12.Nh6+ Kg7 13.Nhf5+ gxf5 14.Nxf5+ Kf7 15.Nxh4 gxh4 16.Kf3 Be5=] **4...Kxg3 5.Nf1+ Kxh3 6.Ra2!** [6.Rg2? Bd4 ZZ draw; 6.Re2? Kh4 7.Nf2 g4!]=] **6...Bd4** [6...Be5 7.Nf2+ Kh4 8.Ra4+ Bf4 9.Kg2 g4 10.Rxf4 ± ] **7.Rg2! ZZ 7...Rh4** [7...g4 8.Rh2#] **8.Rg3#**

With subtle moves White reaches a favorable Zugzwang position and culminates in two mates according to Black's responses. In addition, a trial with an interesting sequence.

## Special Prize

E195 Jan Rusinek  
(Poland)



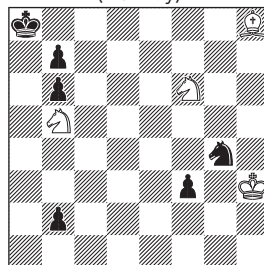
Win (4+4)

**1.Ne2+ e5** [1...Kb1 2.Be4+ Ka2 3.Nxc1+-; 1...Ka2 2.Bd5+ Nb3 3.Nd4+-] **2.Bxe5+ Ka2 3.Bd5+** [3.Nc3+? Kb3 4.Bd5+ Kc2=] **3...Ka3** [3...Kb1 4.Be4+ Ka2 5.Nxc1+-] **4.Nc3 Rb2+ 5.Ka5!** [5.Ka6? Kb4! (5...Rc2? 6.Bd6+ Kb2 7.Nd1+ Ka1 8.Be5+ Kb1 9.Nc3+-) 6.Ne4 Rc2/a2=] **5...Nb3+ 6.Kb6 Rc2** [6...Nd4+ 7.Ka6 Rc2 8.Bxd4+-; 6...Nc1+ 7.Nb5+ Rxb5+ 8.Kxb5+-] **7.Bd6+ Kb2 8.Na4+ Ka2 9.Nc5 Rc3 10.Kb5 Rh3 11.Kb4 Rh4+ 12.Kc3+-**

A nice domination by the combination of BBN against Rook and BB against N, with variants and trials that enrich the study.

## Special Prize

E210 Jarl Henning Ulrichsen  
(Norway)



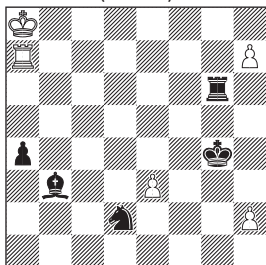
Win (4+6)

**1.Na3!** [1.Nc3? loses after 1...f2 2.Kg2 Ne3+ 3.Kxf2 Nd1+ 4.Nxd1 b1Q-+] **1...f2** Black's defence leads to a draw-like endgame with king, bishop and knight versus king and knight, but the position of the pawns proves to be unfavourable for Black. **2.Kg2 Ne3+ 3.Kxf2 Nd1+ 4.Ke2! Nc3+ 5.Kd3! Nxb1 7.Nd5!** Here the white knight controls both b6 and c7. **7...Na3 8.Bb2!** A surprise! The white bishop seems to chase the Black knight back to a safe harbour. **8...Nb5 9.Be5!** The point! **9...Ka7** forced [as 9...Na7 is met by 10.Nxb6#] **10.Kc4! Ka6** [The knight is lost after 10...Na3+ 11.Kb3 Nb1 (or 11...Nb5 12.Kb4 Ka6 13.Bb8+- mating next move) 12.Bf4+-] **11.Kb4! Na7 12.Nc7#**

An ingenious configuration, with minor pieces, with the 'domination' theme and the culmination in mate.

## Honorable mention

E213 Pavel Arestov  
(Russia)



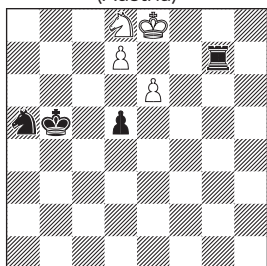
Win (5+5)

**1.h8Q Bd5+!** [1...Rg8+ 2.Qxg8+ Bxg8 3.Rg7+ Kh3 4.Rxg8 Kxh2 5.Kb8+-] **2.Kb8 Rg8+ 3.Qxg8+ Bxg8 4.Rg7+ Kh3 5.Rg3+!!** [5.Rxg8? Kxh2 6.Kc7 a3 7.Rg4 Nf1 8.Ra4 Nxe3=] **5...Kxh2 6.Rxg8 Nc4** [6...Kh3 7.Kc7+-] **7.e4 a3 8.Kc7 a2 9.Ra8 Kg3 10.Rxa2 Kf4 11.Ra4!** [11.Re2? Ke5=] **11...Nd2 12.Kd6!** [12.Kc6 Ke5=] **12...Nxe4+ 13.Kd5+-**

A pertinent introduction and an instructive final moves.

## Special Commendation

E207 Peter Krug  
(Austria)



Win (4+4)

**1.Kf8! Rxd7 2.exd7 d4 3.Nf7!** [try:

3.Ne6? Nc6 4.Nxd4+ Nxd4 5.d8Q Ne6+ =] **3...Nc6 4.Ne5 Nd8 5.Ke7 Nb7 6.Nf7 Na5! 7.Nd6+ Kc5 8.Ne4+ Kb5 9.Kd6 d3** [main B: 9...Nb7+ 10.Kc7 Ka6 11.Kc6! Nd8+ 12.Kd6 Kb5! 13.Kc7 Ne6+ 14.Kc8 d3 15.Ng5! d2 16.Ne4! 16...d1N 17.Ng5!+- Second mainline with Black underpromotion] **10.Kc7!** [10.Nf2? Nb7+ 11.Kc7 Nc5 12.d8Q Ne6+ =] **10...Nc6 11.Nf2 d2 12.Ne4 d1N 13.Nd6+ Kc5 14.Nb7+ Kb5 15.Na5! Nd4 16.Kd6!+-**

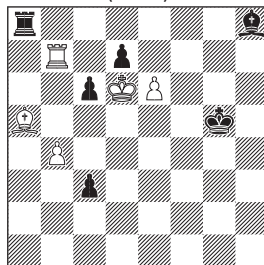
Black's counterplay with knights promotion is not enough! A nice ending of minor pieces.

## SECTION B

### DRAW STUDIES

#### 1st/2nd Prize

E199 Michael Pasman  
(Israel)



Draw (5+6)

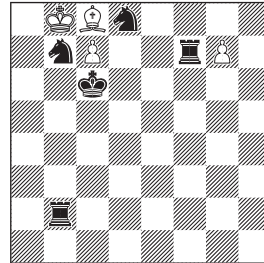
**1.Ra7!!** [1.e7? Bf6 2.Bb6 (2.b5 Bxe7+ 3.Kxe7 Rxa5 4.bxc6 dxc6+-) 2...Kf4+-; 1.Bb6? dxe6 2.Rc7 Kf5 3.Rxc6 Ke4 4.Kxe6 Kd3+-; 1.b5? Rxa5 2.exd7 (2.e7 Ra8 3.bxc6 (3.Ra7 Re8+-) 3...dxc6+-) 2...Bf6 3.Rc7 Rxb5 4.Rxc6 Rb8 5.Rc8 Rb6+ 6.Kd5 Rb1! 7.Ke6

(7.d8Q Rd1+-) 7...Re1+!-+; 1.exd7? c2-+ ] **1...Be5+!** [1...Rxa7 2.e7 c2 (2...Ra8 3.Bd8=; 2...Be5+ 3.Kxe5 d6+ 4.Kxd6 Rxe7 5.b5 Re2 see line B)] 3.e8Q c1Q 4.Bd8+! Bf6 (4...Kf4 5.Qf7+ Ke4 6.Qg6+ Kd4 7.Bb6+ Kc4 8.Qf7+ Kxb4 9.Bxa7 Qd1+ 10.Kc7 Be5+ 11.Kd8 Kc3 12.Qxd7=) 5.Qe5+ Kg4 6.Qe2+! Kf5 7.Qd3+! Kf4 (7...Kg4 8.Qe2+=) 8.Bxf6=; White's idea is seen after 1...Rg8? 2.exd7 With advantage for white; ; 1...dxe6 2.Rxa8 c2 3.Rg8+ Also with advantage for white,] **2.Kxe5 d6+** [2...Rxa7 3.e7 d6+ 4.Kxd6 Rxe7 as main] **3.Kxd6 Rxa7 4.e7!** [4.b5? Rxa5-+] **4...Rxe7!** **5.b5!!** [5.Kxe7? c2-+] **5...Re3** [Main B: 5...Re2 6.Bxc3 cxb5 7.Kc5 Rc2 8.Kb4 Kf5 9.Be1! (9.Bg7? Rc7 10.Bh6 Rb7-) 9...Rc1 10.Bd2 Rd1 11.Bc3 Rd5 (11...Rb1+ 12.Ka5! Ke4 13.Bb4=) 12.Be1! (12.Ka5? Ke4-) 12...Ke5 13.Ka5! Kd6 (13...Kd4 14.Kb4 Ke3 15.Bg3!)=) 14.Kb6!|=; or 5...c2 6.Bd2+ Kf6 7.b6! (= 7.bxc6? Re1! 8.c7 Rd1! 9.c8Q Rxd2+-; 7.Kxc6? Re2-) ] **6.Bxc3!** [6.bxc6? Rd3+! (6...c2? 7.Bd2 Kf4 8.c7-) 7.Ke5 c2-+] **6...Rd3+!** [6...Rxc3 7.bxc6!]=] **7.Bd4!** [7.Kc7 cxb5!-+; Thematic try: 7.Kxc6? Rxc3+ 8.Kd6 Rb3! 9.Kc6 Kf6 10.b6 Ke7 11.b7 Kd8-+] **7...Rxd4+ 8.Kc5! Rd1 9.bxc6 Kf6** with a well-known finish : **10.c7 Ke7 11.c8N+!|=**

With a pertinent introduction we arrive at an original Bishop vs. Rook ending. The two lines are of remarkable precision and, in one of them, with the timely final promotion of Knight.

## 1st/2nd Prize

**E214** Sergey Osintsev  
(Russia)



Draw (4+5)

**1.Bd7+** [1.g8Q? Nd6+ 2.Bb7+ Rxb7+ 3.Ka8 Rbxc7!-+] **1...Kxd7 2.c8Q+ Kd6 3.g8Q Nc6+** [Additional line 3...Nc5+ 4.Ka8 Ra2+ 5.Kb8 Nd7+ 6.Qxd7+ Kxd7 (6...Rxd7 7.Qf8+= (7.Qg3+=; not 7.Qxa2? Nc6+ 8.Ka8 Rd8+ 9.Kb7 Rb8+ 10.Ka6 Ra8+ 11.Kb6 Rxa2-) ) 7.Qxd8+! Kxd8= mirror stalemate] **4.Qxc6+** [4.Ka8? Ra2#] **4...Kxc6 5.Qe8+!!** Preliminary check! [The Queen cannot immediately play 5.Qxf7? Position A1 (with Kc6) 5...Nd6+! 6.Ka8 Nxf7-+; 5.Qc8+? Kd6-+; 5.Qg6+? Nd6+-+] **5...Rd7!** [Additional line 5...Kd6 6.Qxf7 Position A2 (with Kd6) 6...Nd8+ 7.Kc8! Nxf7= ideal mirror stalemate!] **6.Qc8+! Kd6 7.Qf8+ Ke6** [7...Re7 8.Qf6+=] **8.Qh6+!** [Try 8.Qe8+? Re7! 9.Qg6+ Kd7! 10.Qg4+ Kc6! 11.Qf3+ Kb5! 12.Qd3+ Kb4 13.Qd4+ Ka3 14.Qa7+ Na5+-+] **8...Kd5 9.Qh1+!!** [Logical try No.1: 9.Qg5+? Kc4! 10.Kc8 Rf7! Position B1(with Qg5). There is no check on e4! Only move 11.Qc1+ Kb3 12.Qe3+ Ka4! (12...Ka2? 13.Qe6+ Ka1 14.Qe1+ Ka2 15.Qe6+ Rb3 16.Qe2+ Ka3 17.Qa6+ Kb4 18.Qb6+ Kc4

19.Qe6+ Kc3 20.Qe3+ Kb4 21.Qb6+ Ka4 22.Qa6+ Na5 23.Qc6+ Rb5 24.Qc2+ Rb3 25.Qc6+ Nxc6= mirror stalemate) 13.Qd4+ Rb4 14.Qd1+ Ka5! 15.Qd5+ Rb5! Position C1. Both black Rooks are indirectly protected by Knight forks 16.Qa2+ (or 16.Qxf7? Nd6+-) 16...Kb4 17.Qb2+ Kc4 18.Qe2+ Kd4!! 19.Qxb5 Nd6+-; Logical try No.2: 9.Kc8? Rf7! The Rook goes under the protection of the Knight fork (9...Re7? 10.Qh1+ Kc4 11.Qh4+=) 10.Qh1+ (10.Qh5+ Kc6! 11.Qxf7 Nd6+-) 10...Ke5! Position B2(with Ke5). Only move 11.Qh5+ Rf5 12.Qh8+ Rf6-+; 9.Qh5+? Kc6 10.Qf3+ Kb5!-+]

**9...Kd6 10.Qh6+** [10.Qd1+? Ke7! 11.Qe1+ Kf8 12.Qf1+ Rf7-+] **10...Kd5 11.Qh1+ Kc4 12.Kc8!** [12.Qc1+? Kb3!-+] **12...Rf7!** Position B3 (with Qh1 and Kc4)[Additional line 12...Rdd2 13.Qe4+ (13.Qc6+? Nc5! 14.Qa6+!? (or 14.Qe6+!? Rd5-+ (14...Nxe6?= mirror stalemate) ) 14...Kc3-+ (14...Nxa6?= mirror stalemate) ) 13...Rd4 14.Qe6+ Kc5 15.Qe5+ Kc6! 16.Qc7+! (16.Qxd4? Nd6+ 17.Kd8 Rb8+ 18.Ke7 Nf5+-; 16.Qe8+? Kb6!-+) 16...Kd5 17.Qf7+ (17.Qd7+? Nd6+-) 17...Kc5 18.Qc7+= Positional draw 18...Kb4 19.Qxb7+ (not 19.Kxb7? Rc4! (19...Ka3+? 20.Kc8=) 20.Qg3 Rb3! 21.Qd6+ (or 21.Qe5 Ka3+-) 21...Kc3+ 22.Ka6 Ra4#) ; 12...Nc5 13.Qc1+= (not 13.Qf1+? Rd3!-+ (13...Kb4? 14.Qc4+! Kxc4= stalemate) ) ; 12...Re7 13.Qh4+=] **13.Qe4+!** [13.Qc1+? Kb3 14.Qe3+ Ka4-+] **13...Kb5 14.Qe5+!** [14.Qd3+? Kb4!-+] **14...Kc6 15.Qe4+!** [Similar with logical try No.1

15.Qe8+? Kb6! 16.Qe6+ Ka5! 17.Qe5+ Rb5-+ Position C2] **15...Kb5** [or 15...Kb6 16.Qd4+=] **16.Qe5+=** Position C3. In contrast to the logical try No. 1, the Black Rook can not move to b5 under the protection of the Knight fork.

**Positional draw.**

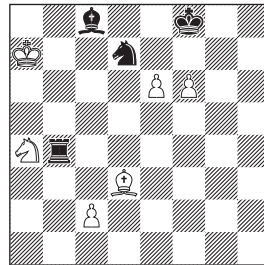
White must avoid the domination of RRN vs Q. Both in the main line and in the complementary ones, we surprisingly encounter similar positions, stalemates and logical movements that do not achieve their objectives.

### 3rd Prize

E209

Andrzej Jasik

(Poland)



Draw

(6+4)

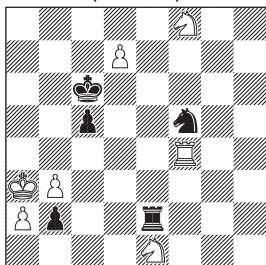
**1.Nb6!** [1.e7+? Kf7 2.Bg6+ Kxf6! 3.e8Q Rxa4#] **1...Rxb6** [1...Nxb6 2.e7+ Kf7 3.Bg6+ Kxf6 4.e8Q ±] **2.exd7** [2.e7+? Kf7 3.Bg6+ (3.Bc4+ Ke8-+) 3...Kxf6 4.e8Q Ra6#] **2...Rb7+ 3.Ka8! Rxd7 4.Kb8! Bb7** [4...Rd8 5.Kc7 Re8 6.Bg6! Draw] **5.Bb5! Rf7 6.Bc4 Rh7 7.Bd3 Rd7 8.Bb5 Rd5 9.c4= Draw**

An entertaining game of domination in an original setting.



## 4th Prize

Michal Hlinka  
E192 Lubos Kekely  
(Slovakia)



Draw (7+5)

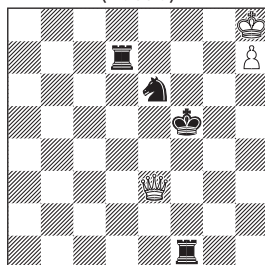
**1.Nc2!** a sacrifice for opening the 1st rank. [1.d8Q? b1N+! 2.Ka4 Rxa2#]  
**1...Rxc2** [1...b1Q 2.d8Q Qc1+ 3.Ka4 Qxf4+ 4.b4! Nd6 5.Qa8+! Kc7 6.Qa5+! Kb7 7.Nd7 Rxc2 8.Nxc5+ Rxc5 9.Qxc5=]  
**2.Rf1** [2.d8N+? Kb6 3.Rf1 Rc1 4.Kxb2 Rxf1 5.Nf7 Rf2+ 6.Kc3 Rxa2 7.Ne5 Re2-+] **2...Nd6** [2...Nd4 3.d8N+! Kd6 4.Nb7+ Kd5 5.Nd7 Nb5+ 6.Ka4 Rc1 7.Nb6+ Kd4 8.Rxc1 bxc1Q 9.Kxb5 Qc2 10.Nc4 Qxa2 11.Nxc5=] **3.d8N+** phoenix [3.Rb1? Nb5+ 4.Ka4 Nc3+ 5.Ka5 Kc7-+; 3.d8Q? b1N+! 4.Rxb1 Nb5+ 5.Ka4 Rxa2#] **3...Kd5 4.Nd7 Nb5+ 5.Ka4 Nc3+** [5...Rc1 6.Nb6+ Ke4 7.Nc4 Nc3+ 8.Ka5 as main] **6.Ka5 Rc1** [6...b1Q 7.Rxb1 Nxb1 8.Kb6=] **7.Nb6+! Ke4** [7...Kd4 8.Ne6+ Ke5 9.Nxc5 Rxf1 10.Nd3+ Kd4 11.Nxb2 Rf5+ 12.Ka6 Nxa2 13.N6c4] **8.Nc4 Rxf1 9.Nxb2 Kd5 10.Nc4!** switchback [10.Na4? Nxa4 11.Kxa4 Rf2 12.a3 Rf8 13.Nb7 Rb8 14.Na5 Rb6 15.Nc4 Rb7-+] **10...Rf8** [10...Nxa2 11.Ne3+=; 10...Rf6 11.a4] **11.Nb6+!** switchback [11.Nb7? Kc6 12.Nbd6 Ra8#] **11...Kd6 12.Nb7+**

**Kc6 13.Nxc5** [13.Ka6? Kc7 14.Nxc5 Rf6 15.Ncd7 Rf5! 16.a3 Nd5-+] **13...Kxc5** [13...Nxa2 14.b4=] **14.Nd7+ Kc6 15.Nxf8=**

Certain complexity (due to the complementary variants) and a remarkable combination with two lines in which the promotions to Knights are necessary.

## 5th Prize

E194 Valery Kalashnikov  
(Russia)



Draw (3+4)

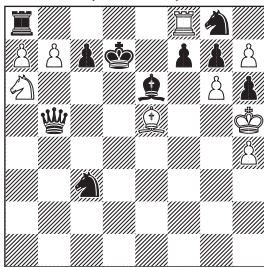
**1.Kg8** [Premature is 1.Qh3+? Ke5 2.Qc3+ because (2.Qe3+ Kf6 3.Qc3+ Kf7 4.Qc8 Ke7 5.Kg8 Rg1+ 6.Kh8 Rgd1-+) 2...Rd4 3.Qe3+ Kf6 4.Qxd4+ Nxd4 5.Kg8 Rg1+ 6.Kf8 Ne6-++] **1...Rg7+** [1...Rd8+ 2.Kf7 Ng5+ 3.Ke7=] **2.Kh8 Rc7! 3.Kg8** [after 3.Qh3+? Ke5 Poorly White could not play 4.Qc3+??-+] **3...Rc8+ 4.Kf7 Ng5+ 5.Kg7** [5.Ke7? Rf4! 6.Kd7 Rh8 7.Qc5+ Kg6-+] **5...Rc7+ 6.Kg8 Rc8+ 7.Kg7 Ne6+ 8.Kf7 Rc7+** [8...Nf4 9.Qe7 Nh5 10.Qe2 Rc7+ 11.Kf8=] **9.Kg8 Rg7+** [9...Rc8+ 10.Kf7 Perpetual check for White] **10.Kh8 Rf7 11.Qh3+!** [11.Qd3+? Kg5! 12.Qg3+ Kf6 13.Qc3+ Kg6 14.Qc2+ R1f5 15.Qg2+ Ng5

16.Qc6+ R7f6-+] **11...Ke5 12.Qc3+** and Rd4 is impossible [12.Qe3+? Kf6 13.Qc3+ Kg6 14.Qg3+ Ng5 15.Qd6+ R1f6-+; 12.Qg3+? R1f4 13.Qc3+ Kf5 14.Qh3+ Kf6 15.Qh6+ Ke7-+] **12...Kf5 13.Qh3+! Perpetual check**

In this award I consider it appropriate to include another game where domination is avoided, but presented in miniature. This study has artistic value from a technical point of view as well.

### Special Prize

**E215** Alexey Gasparyan (Armenia)



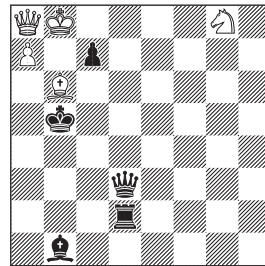
Draw (9+10)

**1.Nb8+!** [1.Nc5+?! Qxc5 2.b8N+ Ke7 3.Re8+ Kxe8 4.hxg8Q+ Qf8-+] **1...Rxb8 2.axb8N+** phoenix **2...Ke7 3.Nc6+ Kxf8** [Line B: 3...Qxc6 4.hxg8N+ Kxf8 5.b8Q+ Qe8 6.Qxe8+ (6.Bxg7+? Kxg8 7.Qxe8+ Kxg7 8.gxf7 Bxf7+ 9.Qxf7+ Kxf7-)] 6...Kxe8 7.Bxc3=] **4.b8Q+ Qxb8 5.Nxb8 Nd5!** [5...fxg6+ 6.Kxg6 Bf7+ 7.Kf5 Ne7+ 8.Kg4=] **6.Nd7+** [6.Bxg7+? Kxg7 7.hxg8Q+ Kxg8-+] **6...Bxd7 7.Bxg7+ Kxg7 8.h8B+** phoenix **8...Kf8** [8...Kxh8 9.g7+ Kxg7= stalemate] **9.g7+ Ke7= stalemate**

Of significant artistic value with minor promotions and stalemates.

### 1st Honorable Mention

**E212** Leonid Topko (Ukraine)



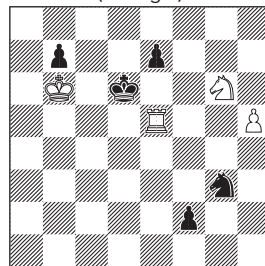
Draw (5+5)

**1.Ne7!** [1.Qh1? cxb6 2.Qh5+ Kb4 3.Qg4+ Qe4-+; 1.Bd4? Qxd4 2.Qb7+ Qb6-+] **1...Qd8+ 2.Nc8 Qxc8+** [2...Bf5 3.Qb7! (3.Qc6+? Kxc6 4.a8Q+ Kd7 5.Qa4+ Ke6 6.Qc6+ Kf7 7.Qxc7+ Qxc7+ 8.Bxc7 Rb2-+-) 3...Bxc8 4.Qxc8=] **3.Kxc8 Bf5+ 4.Kxc7 Rd7+ 5.Kb8** [5.Kc8? Rh7+ 6.Kb8 Rh8-+-] **5...Kxb6 6.Qc6+! Kxc6 7.a8Q+ Kb6 8.Qa7+ Rxa7= stalemate**

An entertaining game that leads to stalemate, with interesting variants of precise moves.

### 2nd Honorable Mention

**E197** David Gurgenzidze (Georgia)



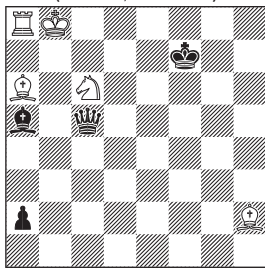
Draw (4+5)

**1.Nf4 e6** [1...Kxe5 2.Nd3+ Kd4 3.Nxf2=; 1...Kd7 2.Rd5+ Ke8 3.Rd1=] **2.Rxe6+ Kd7 3.Nd3!** [3.Re7+? Kxe7 4.Nd5+ Kd6 5.Ne3 Nxb5-+] **3...f1Q 4.Nc5+ Kd8 5.Nxb7+ Kc8 6.Nc5!** [6.Rc6+? Kd7 7.Rc7+ Ke6-+] **6...Qb1+ 7.Kc6 Qh1+ 8.Kb6 Qxh5 9.Rc6+ Kd8 10.Nb7+ Ke7 11.Rc7+ Kf6 12.Rc6+ Kg5 13.Rc5+ Nf5 14.Nd6=**

With material economy, the game is surely to the liking of fans of solving.

### Special Honorable Mention

Pavel Arestov  
 Michal Hlinka  
 E193 (Russia, Slovakia)



Draw (5+4)

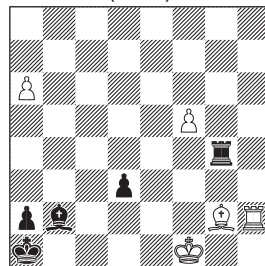
**1.Bc4+ Kf6!** [1...Qxc4 2.Ne5+=; 1...Kg6 2.Ra6 /Bd3=; 1...Kg7 2.Ra7+ /Be5+=] **2.Be5+** [2.Ra6? a1Q 3.Ne5+ Ke7-+] **2...Qxe5+** [2...Kg6 3.Bd3+ Kg5 4.Rxa5 Qb6+ 5.Kc8 Qxc6+ 6.Bc7+=] **3.Nxe5 a1Q** Black phoenix **4.Nd7+** [4.Nd3? Qd4 5.Rxa5 Qb6-+] **4...Ke7** [4...Kg5 5.Ra6 Qa4 6.Ka8! Qxd7 7.Rxa5+ Kf4 8.Rc5 Qd6 9.Rc8=] **5.Ra7** [5.Bb5? Qc3-+ 6.Ra7 Kd8 7.Ka8 Bc7 8.Kb7 Qf3+] **5...Kd8!** [5...Qc3 6.Nc5+! =; 5...Kd6 6.Bb5 Qc3 7.Kb7 Qb4 8.Ka6 Bd8 9.Nb6 Qa3+ 10.Na4! Ke5 11.Rd7=] **6.Ka8!** [6.Nc5? Qe5-+;

6.Bb5? Qc3 /e1-+] **6...Qh1+** [6...Qc3 7.Nc5! Qf3+ (7...Qxc4 8.Nb7+! =) 8.Kb8 Qf4+ 9.Ka8 pos. draw] **7.Rb7 Kc8 8.Bd5! Qa1** [8...Qxd5 9.Nb6+! Bxb6 stalemate] **9.Ra7 Qc3** [9...Qd4 10.Rxa5! Kxd7 11.Ra7+ Kd6 12.Bf7=; 9...Qb2 10.Rxa5! =] **10.Nb8! Bc7** [10...Bb6 11.Be6+=] **11.Na6 Bh2** [11...Be5 12.Be6+ Kd8 13.Rd7+ Ke8 14.Kb7! Qf3+ 15.Bd5! Qa3 16.Bc6= /Be6=] **12.Rh7!** [12.Be6+? Kd8 13.Rd7+ Ke8 14.Rb7 Qa5 15.Bf7+ Kf8 16.Bc4 Qd8+ 17.Nb8 Bc7-+ egtb] **12...Bg3 13.Rf7! Kd8!** [13...Qa5 14.Be6+ Kd8 15.Bc4! Kc8 16.Be6+= pos. draw] **14.Kb7! Qb2+** [14...Qd4 15.Bc6! Qb2+ 16.Ka7! Qd4+ 17.Kb7= pos. draw; 14...Bd6 15.Be6! Be7 (15...Qa3 16.Rd7+=) 16.Rf5! Bd6 (16...Qb2+ 17.Kc6=) 17.Rf7! = pos. draw] **15.Kc6 Qc2+ 16.Nc5 Bf2 17.Bc4!** [17.Rf8+? Ke7 18.Rf7+ Ke8 19.Bc4 Bg1 20.Kb5 Qb2+ 21.Nb3 Qe5+ 22.Ka4 Qe4 23.Kb5 Be3 24.Rf1 Qe5-+ egtb]

White avoids domination. Although the study has artistic edges, it is necessary on various occasions to resort to the technical controls of the tablebases.

### Special Honorable Mention

E198 Michael Pasman (Israel)



Draw (5+5)

**1.a7!** [1.Bd5? Bd4! 2.Rxa2+ Kb1-+]  
**1...Rf4+** [1...Ra4 2.Bd5! as main]  
**2.Bf3!** White is blocking with the Bishop and sacrifices it, but Black does not accept it. **2...Ra4!** [2...Rxf3+ 3.Kg2!=; 2...d2 3.Ke2!=] **3.Bd5 Rxa7 4.Rd2 Ra3!** [4...Kb1 5.Bxa2+=] **5.Rd1+ Bc1**  
 Now Black is blocking from the check with Bishop, the same as White before, but White does not accept it. **6.f6!** [6.Rxc1+? Kb2-+; 6.Bxa2? Kxa2 7.Rxc1 Kb2! 8.Rd1 (8.Rc8 Ra1+ 9.Kf2 d2-+) 8...Kc2-+] **6...Kb2 7.Bxa2 Kc2! 8.Ke1 d2+** Main Line A. [Main Line B: 8...Rxa2 9.f7 Ra8 10.f8Q! Rxf8 11.Rxc1+! Kxc1= Ideal Stalemate] **9.Ke2 Rh3! 10.Bc4!!** [Logical try: 10.f7 Rh2+ 11.Kf1 Ba3! and White's Bishop takes no control on e2 square to play Kg1] **10...Rh2+ 11.Kf1! Rh1+** [11...Kxd1?? 12.Bb3#; 11...Ba3 12.Kg1! and the bishop takes control on the e2 square, for example 12...Rh3 13.Be2 Re3 (13...Bc5+ 14.Kg2 Re3 15.Kf2 Re6+ 16.Kf3=) 14.Kf2=] **12.Ke2! Rxd1 13.Bd3+!** [Thematic try : 13.Bb3+ Kxb3 14.Kxd1 Kc3 15.f7 Ba3-+] **13...Kc3 14.Kxd1 Kxd3 15.f7 Ba3 16.f8Q Bxf8 Stalemate.**

Ideal stalemate in main line A with logical try and ideal stalemate in main line B as well. The presentation of the stalemate figures, with thematic tries and logical moves that do not achieve the objectives. The study deserves the inclusion to this award, with a special distinction.

Salta, Argentina  
 February 20, 2023  
 International Judge Mario G. García

# Problem Paradise

## Informal Tourney Award

### Helpmate (H# ≤ 3) 2022

Judge:

Ricardo de Mattos Vieira

Many thanks to my friend Tadashi Wakashima for the invitation to judge H # 2 / 2.5 / 3 section of Problem Paradise 2022. I felt much honored with the confidence in my judging. I must also thank Toshimasa Fujiwara, my new friend Toshi, the editor of the helpmate section of the magazine, who was in touch with me during the last year and up to now.

53 entries took part in this informal tourney (22 H # 2, 6 H # 2.5 and 25 H # 3) and the quality was not as high as I wished. 4 H # 2, 3 H # 2.5 and 11 H # 3 are in the award and 1st and the 2nd Prizes were awarded to H # 2 entries.

My comments about some entries that did not make into the award are:

H1318 – There is no dual avoidance.

H1319 – Besides lack of harmony, the pin of bQ presented in one solution is useless.

H1320 – wS is useless in one solution.

H1324 – Indian idea is not enough to compensate double check-mates.

H1326 – Unpleasant twins (bK to distant squares) and useless wP in one solution.

H1327 – Interesting for solvers.

H1339 – Double check-mates without any compensation.

H1346 – HOTF presenting Zilahi (first pair) and exchange of W1 / W3 (second pair), but also repetition of moves, lack of harmony and unpleasant captures of bQ.

H1373 – Useless wB.

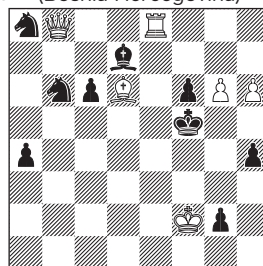
H1382 – Unpins of wSs by wSs are just accidental.

H1387 – Twinning involving a mating piece.

My award follows:

### 1st Prize

**H1340** Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#2 4sols

(6+9)

1.Sc8 Re5+ 2.Kf4 Qb4#

1.Sd5 Be5 2.Ke4 Qb1#

1.Kxg6 Rh8 2.Kf7 Qg8#

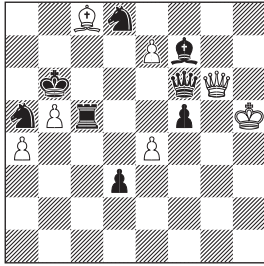
1.g1=R Bh2 2.Rxg6 Qf4#

In the first pair of this HOTF, White shows line clearance (impure Bristol);

the second pair presents white Grimshaw. Four mates by wQ with black uneven play in both pairs.

## 2nd Prize

**H1384** Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



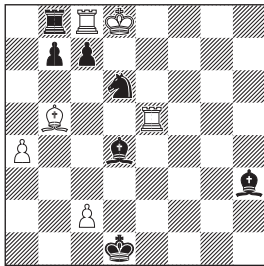
H#2 2sols (7+8)

1.Rc7 exd8=Q 2.Qc6 Qd4#  
1.Re5 e8=S 2.Bd5 Qg1#

Gamage theme in both solutions: after [1.Rc7 exd8=Q], the thematic Gamage pin appears naturally and the pin wQ-bQ-bK is responsible for an interference by a Pelle move; this very pin (wQ-bQ-bK), since required by the first solution, is accepted in the second one, although it is not essential for achieving this solution. A very interesting and pleasant setting.

## 3rd Prize

**H1348** Michel Caillaud  
C+ (France)



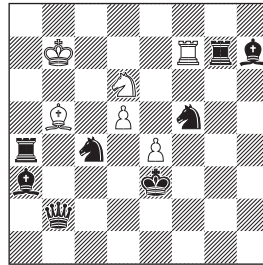
H#3 2sols (6+7)

1.c6 c3! (c4?) 2.Bxc3 Bxc6 3.Bd2 Bf3#  
1.c5 c4! (c3?) 2.Sxc4 Rxc5 3.Sd2 Rc1#

A very interesting manoeuvre to open wRc8' s line: active sacrifices after single and double steps by black and white pawns with dual avoidance at W1.

## 1st Honorable Mention

Jorge Kapros  
**H1349** Christer Jonsson  
C+ (Argentina, Sweden)



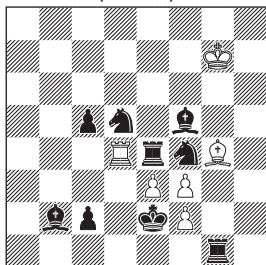
H#3 2sols (6+8)

1.Bb4 Bxc4 2.Sd4 Bf1 3.Bxe4 Sc4#  
1.Rg6 Rxf5 2.Sd2 Rf1 3.Rxe4 Sf5#

Brasil theme is complemented by black play: (indirect / direct) unpin / interference + block of the square mating wS will not guard + block at e4. Capture of black pieces is part of the idea.

## 2nd Honorable Mention

**H1392** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



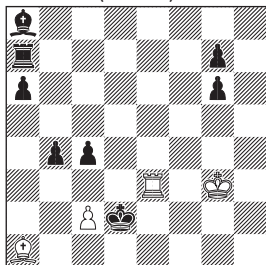
H#3 2sols (6+9)

- 1.Sg2 Bh5 2.Re5 Rg4 3.Kxf3 Rf4#  
1.Sc3 Rd8 2.Bg6 Bd7 3.Kd3 Bb5#

The two pinned white pieces are unpinned by different pairs of black pieces in turn, leading to white steps back, reciprocal interferences and (unfortunately) double checkmates.

## 3rd Honorable Mention

**H1321** Marian Frań  
C+ (Poland)



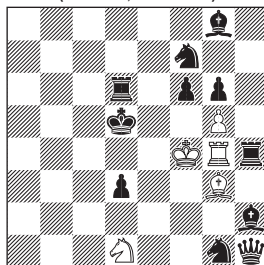
H2.5 2sols (4+8)

- 1...Re6 2.Rb7 Be5 3.Ke3 Bc3#  
1...Bxg7 2.Bb7 Re5 3.Kc3 Re2#

White Indian / Grimshaw + black Grimshaw.

## 4th Honorable Mention

Aleksandr Pankratiev  
**H1372** Evgeny Gavryliv  
C+ (Russia, Ukraine)



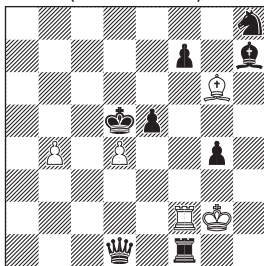
H#3 2sols (5+11)

- 1.Bxg3+ Kxg3 2.Se5 Rc4 3.Be6 Se3#  
1.Rxg4+ Kxg4 2.Ke4 Bf4 3.Rd4 Sc3#

bR / bB captures wR / wB to give a square (active sacrifice) for the wK to move to and open wB / wR' s line, respectively. B2 allows B3 (line opening) but lack of harmony is still present in these moves.

## 5th Honorable Mention

**H1347** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



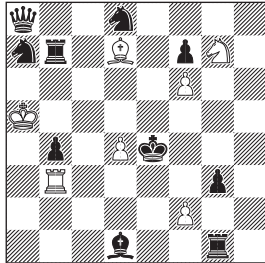
H#3 (5+8)  
b)Pf7→e2

- a) 1.exd4 (Qxd4?) Rc2 2.Rf6 Bf5  
3.Rd6 Rc5#  
b) 1.Qxd4 (exd4?) Be8 2.Bd3 Rf6  
3.Bc4 Bc6#

Completely correlated solutions, but dual avoidance at B1 is differently motivated in (a) [guard of c5] and (b) [unblock of e5].

### 1st Commendation

**H1342** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



H#2.5 2sols (7+10)

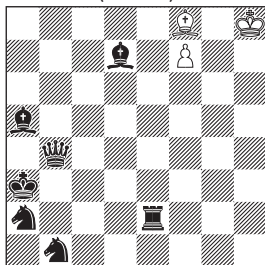
1...Be6 2.Rd7 Sh5 (fxg3?) 3.Rxd4 Re3#  
(MM)

1...Rd3 2.Bb3 fxg3 (Sh5?) 3.Bd5 Bf5#  
(MM)

Correct presentation of Umnov effect since it determines the order of white moves. Reciprocal play between wR/wB (guard / mate) and wS/wPf2 (guard of mating squares [f5/e3] / guard of f4, with dual avoidance).

### 2nd Commendation

**H1368** Waldemar Tura  
C+ (Poland)



H#3 2sols (3+7)

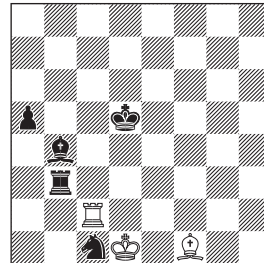
1.Re8 fxe8=S 2.Ba4 Sd6 3.Qb3 Sc4#

1.Be8 fxe8=R 2.Rb2 Re7 3.Qa4 Re3#

The double check-mates are compensated by active black sacrifices followed by white minor promotions and unpin of bQ. Black reciprocal play (bR / bB) and clever choice of the promoted piece.

### 3rd Commendation

Aleksandr Pankratiev  
**H1389** Kirichenko Anatoly  
C+ (Russia)



H#3 (3+5)

b)Pa5→a4

a)1.Ba3 Bc4+ 2.Kc5 Ba6+ 3.Kb4 Rc4#

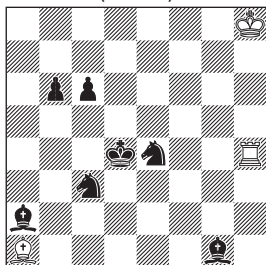
b)1.Ra3 Re2 2.Kc4 Rc2+ 3.Kb3 Bc4#

Harmonic play: B1 moves to the same square (a3) + white reciprocal interference + delayed black Umnov + W2 mates from the same square (c4).



## 4th Commendation

H1369 Aleksandr Pankratiev  
Alekssey Ivunin  
C+ (Russia)



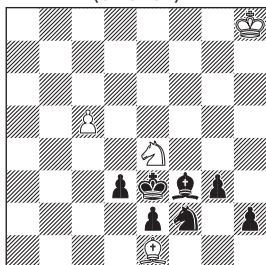
H#3 2sols (3+7)

- 1.Kc5 Rxe4 2.Sb5 Bc3 3.Bd5 Bb4#  
1.Kd5 Bxc3 2.Sd6 Re4 3.Bc4 Re5#

Harmonic presentation: exchange of W1 / W2 moves, Umnov, reciprocal white play. Like H1349 (1st HM), capture of black pieces is part of the idea but this setting is less complex.

## 5th Commendation

H1390 Kaj Engström  
C+ (Sweden)



H#3 2sols (4+7)

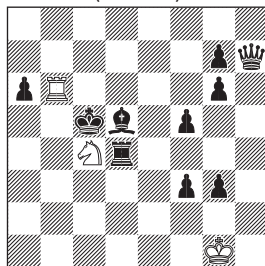
- 1.h1=B Sd2 2.Be4 Sb3 3.Bhf3 Bd2#  
1.h1=S Sf6 2.Se4 Bc3 3.Shf2 Sd5#

Umnov (W1/B2) and black Umnov (B2/B3) with minor promotions similar

to the vacating pieces.

## 6th Commendation

H1370 Kaj Engström  
C+ (Sweden)



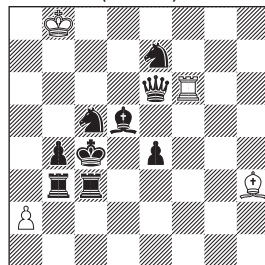
H#3 2sols (3+10)

- 1.Qh4 Se5 2.Rc4 Kf1 3.Qd4 Sd7#  
1.Qg8 Sb2 2.Bc4 Kh1 3.Qd5 Sa4#

bQ blocks the squares bB / bR have just vacated (black Umnov) to block the square wS has just vacated (Umnov). It is a pity that (i) the choice of the mating square depends once on bQ, once on bR and never on bB, and (ii) only one of the interesting wK' s moves is a neutral tempo move.

## 7th Commendation

H1386 Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



H#2.5 (4+9)  
b) -Rb3

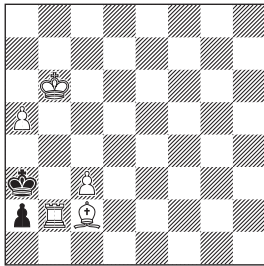
- a) 1...a4 2.Qxf6 Bd7 3.Qd4 Bb5#

b) 1...a3 2.Qxh3 Rb6 3.Qd3 Rxb4#

Harmonic play presenting passive Zilahi combined with line opening, which is responsible for the order of the white moves.

### 8th Commendation

H1361 Marian Frajk  
C+ (Poland)



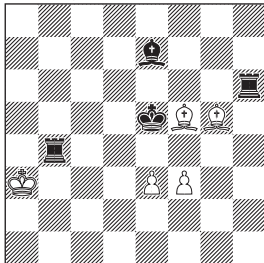
H#2 3sols (5+2)

- 1.a1=S Bb1 2.Sb3 Ra2#
- 1.a1=R Kb5 2.Ra2 Rb3#
- 1.a1=B Rb4 2.Bb2 Ra4#

Nice minor promotions. A tempo manoeuvre (1.a1=R 2.Ra2) is included as a bonus.

### 9th Commendation

H1317 Jorge Kapros  
C+ (Argentina, Sweden)



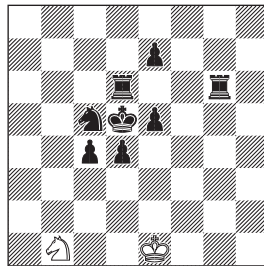
H#2 2sols (5+4)

- 1.Rd6 e4 2.Rbd4 f4#
- 1.Re6 Be4 2.Bf6 Bf4#

Curious moves by wPs and wBs to the same squares, but I miss a better black play. The published solutions mention dual avoidance, but it does not exist in this helpmate.

### 10th Commendation

H1345 Marian Frajk  
C+ (Poland)



H#3 2sols (2+8)

- 1.e4 Sa3 2.e5 Sc2 3.Rge6 Sb4#
- 1.Rc6 Sd2 2.Rgd6 Se4 3.e6 Sf6#

Curious analogy between moves by bPs and bRs, but I miss a better white play.

Rio de Janeiro, Brazil  
April 22nd, 2023.  
Ricardo de Mattos Vieira

## 出口信男の世界 (9)

### 泰永三二郎

今回取り上げるのは安北詰とマキシ詰です。

#### 《安北詰》

安北詰のルール：味方同士の駒が縦に繋がった時、安南詰と逆に下の駒が上の駒の性能に変化する。打歩詰は禁止。二歩は移動して二歩になるのも禁止。

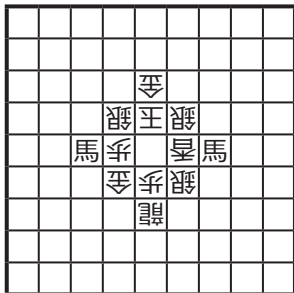
安北詰とは奇妙な名称です。このルールの旧名称は逆鮮詰と言いつもそも意味が分かりにくい。その上似た名称の逆対鮮詰（＝現在の背面詰）と言うのがあって紛らわしく、困っていた。

ここに名案が登場。地図上で北が上、南が下になっている連想から安南と上下逆のルールは安北がいいのではないか。これは確かに連想が効いて覚えやすい。その上同類ルールの安東、安西がセットで誕生するというおまけも付く。

どなたのアイデアだったか存じ上げないが、ナイスな提案でした。対面、背面とともにこの名称はその後定着しました。安北詰はルール的には安南詰と対等なのだが、実際にやってみると安南詰より勘違いを誘発し易い気がする。単に慣れが原因なのだろうか。不思議です。

1番 安北詰、11手。Y-239

(将 50号、1991-8)



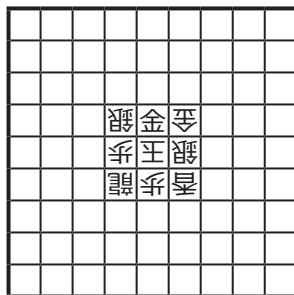
#### ▲金銀

55 銀、イ同玉、A66 馬、口同龍、  
46 馬、同香、45 金、同銀、  
44 銀、同金、54 金迄 11 手。

変化：イで同歩引は 44 馬、同金、53 金迄。  
イで同歩寄は二歩。イで同銀は 44 馬、同金（同玉、同銀とも指せない。63 玉は 62 金迄）53 金迄。

口で同歩は 65 金、同銀、44 馬、同金、64 銀迄。  
紛れ：A で 46 馬は、同龍、66 馬、同歩、65 金、同銀、64 銀、同金、54 金を同香と取られる。本手順では二歩のため 54 同歩とは取れない。

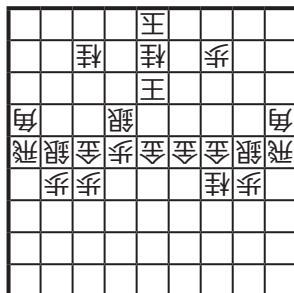
#### 詰上り



初形対称形で詰上り石垣の立体曲詰。これで詰みと言われても駒の利きを確認するのさえ一苦労だ。手順前後の綾が見所。ちなみに今回の安北詰 3 題は手数順に並べたので、発表順ではない。発表時 2 番と 3 番は逆鮮詰、1 番のみ安北詰として出題されている。安北詰の名称が使われるようになったのは 1990 年頃のことと推定出来るようである。

2番 安北詰、25手。Y-158

(カピタン 32号、1985-11)



#### ▲なし

42 王、63 玉、53 王、74 玉、  
 63 王、84 玉、74 王、93 玉、  
 83 王、71 玉、82 王、63 玉、  
 73 王、54 玉、63 王、44 玉、  
 53 王、34 玉、43 王、24 玉、  
 34 王、13 玉、23 王、31 玉、  
 22 王迄 25 手。

ほぼ左右対称の配置だが、32 桂ではなく 32 歩になっているところが手品の種。狙いは分かり易く、何と全詰手順が玉だけという珍品作なのだ。ただ、「もっと手数伸ばせないのか。」などこれ以上を望む解答者が多かった。名手の作には多くを望むのが世の常。

3 番 安北詰、37 手。Y-208  
 (カピタン 45 号、1990-6)



▲ 香

23 歩成、同玉、25 香、33 玉、  
 24 龍、43 玉、45 香、53 玉、  
 44 龍、63 玉、65 香、73 玉、  
 64 龍、83 玉、93 と、同玉、  
 95 香、83 玉、94 龍、73 玉、  
 75 香、63 玉、74 龍、53 玉、  
 55 香、43 玉、54 龍、33 玉、  
 35 香、23 玉、34 龍、13 玉、  
 15 香！、同歩、14 龍！、同玉、  
 26 桂迄。

安北ルールを完璧に生かした趣向手順が明快そのもので、その上鮮やか過ぎる収束が驚異的だ。記憶されるべき作。

《マキシ詰》

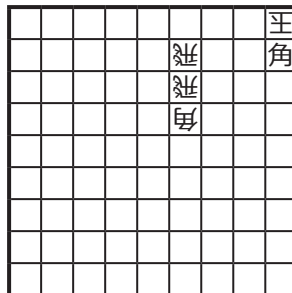
マキシ詰のルール：後手は可能な指手の中で最も距離の長い手を指さなければならない。最長距離の指手が複数ある場合は、その中のどれを選ぶかは後手の自由。他は普通の詰将棋と同じ。

指手の距離は次のように定める。

将棋盤の一つ一つのマス目を一辺の長さが 1 の正方形とする。移動元のマス目の中心から、移動先のマス目の中心までの距離を物差しで測り、それを指手の距離と定める。斜の距離はピタゴラスの定理で計算する。駒を打つ手の距離は 1 とする。

本連載の第 2 回で取り上げたミニ詰と対になるルールです。

例題 マキシ詰、9 手。Y-41  
 (詰バラ、1980-5)



▲ 銀銀桂桂

23 桂、同飛、21 角成、同飛、  
 12 銀、同飛、22 銀、同角、  
 23 桂迄。

ルール説明用に作られたと思われる飛角図式。協力詰ではないのにほぼ協力詰のように後手の指手をコントロールできる。易しい作だがもちろん手順前後を許さない。

4番 マキシ詰、23手。Y-11  
(詰バラ、1978-11)

金	金						
銀	金	玉					
銀							
銀	王	銀					

▲なし

98 銀、同玉、97 金引、89 玉、  
78 銀打、同金、同銀、同玉、  
68 金、89 玉、88 金、イ同玉、  
78 金、□97 玉、87 金引、98 玉、  
A89 銀、同玉、79 金、98 玉、  
88 金引、99 玉、89 金 (引/寄) 迄。

変化:イ 79 玉は、69 金、88 玉、87 金引、99 玉、  
88 銀、89 玉、79 金迄。  
□99 玉は、88 銀、89 玉、79 金迄。  
紛れ:A99 銀は、89 玉、88 金引、99 玉で逃れ。

作者のマキシ詰の発表作としては第一号。金銀図式は普通ルールを含めても少ないのではないか。1:√2の攻防で細かい手順の綾が見どころの作。Aで99銀と打っても取る手はなく89玉が絶対なので、89銀と捨てなければ詰まないのは不思議な感じ。最終手非限定。

5番 マキシ詰、51手。Y-14 (修正図)  
(詰バラ、1979-2)

と							
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	飛			
と	垂	と	垂	と	垂	と	垂
	我	我	我	我			
	飛	香	香	香			
王	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	歩		
	金	金	金	金			

▲なし

97 飛、同玉、88 金、同桂成、  
98 歩、86 玉、96 と、77 玉、  
68 金、同桂成、78 歩、66 玉、  
76 と、57 玉、48 金、同桂成、  
58 歩、46 玉、56 と、37 玉、  
28 金、同桂成、38 歩、26 玉、  
36 と、15 玉 (中間図)

中間図: 26 手目 15 玉の局面

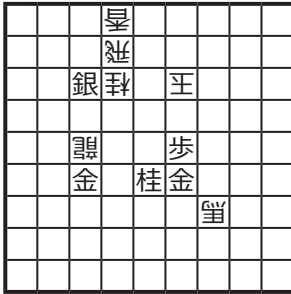
と							
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	飛			
	垂	垂	垂	垂	王		
と	と	と	と				
歩	王	歩	王	歩	王	歩	

▲なし

25 と、同と、14 飛、26 玉、  
27 歩、35 玉、45 と、同と、  
34 飛、46 玉、47 歩、55 玉、  
65 と、同と、54 飛、66 玉、  
67 歩、75 玉、85 と、同と、  
74 飛、86 玉、87 歩、95 玉、  
94 飛迄。

1:√2:√5を利用した楽しい横一往復趣向。行きも帰りも歩打で送る。マキシルールの長編は多くの場合1:√2を利用することになり、軽快な追い趣向になりやすい。

6番 マキシ詰、13手。Y-42  
(詰バラ、1980-5)

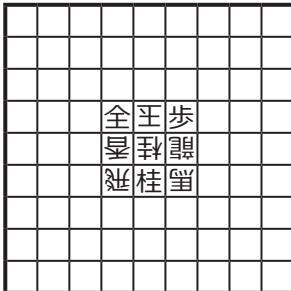


▲桂桂香

44歩、イ54玉、45金、同龍、  
A46桂、同馬、55香、同桂、  
66桂、同飛、65金、同香、  
64銀成迄。

変化:イで34玉は36香、35龍、同金、23玉、  
21飛、22飛、同飛成、14玉、24龍迄2手早い。  
イで32玉は36香、35龍、同香、甲41玉、  
32香成、同飛、31飛、52玉、32飛生、41玉、  
31飛打迄同手数駒余り。  
甲で23玉は21飛、22飛、同飛成、14玉、  
13飛迄2手早い。  
甲で21玉は23飛、22飛、32香成、同玉、  
22飛成、41玉、31飛迄駒余り。  
イで52玉は62銀成、41玉、21飛、32玉、  
22飛成、41玉、52全迄早い。

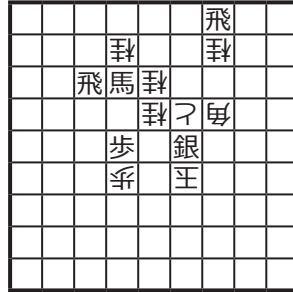
詰上り



初手44歩の突き出しに対して広そうな方に  
逃げる手が心配だが、マキシルールにより意外  
に簡単に捕まる。54玉とした後37馬が動き

出すと厄介なので、一旦46桂を打っておくの  
が肝心。ここを突破すれば、順に駒をさばいて  
作者得意の石垣が出現する。

7番 マキシ詰、15手。Y-93、  
(詰バラ、1981-6)

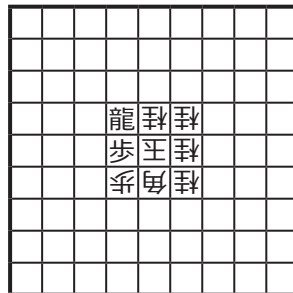


▲なし

64馬、イ55と、同馬、同玉、  
44銀、同桂、56歩、同角、  
35飛成、45桂、46龍、同桂、  
53飛成、54桂、64龍迄。

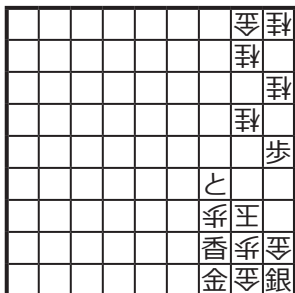
変化:イで55打合は長さが1の手だから、マ  
キシ詰では/2の手を指さざるを得ない。  
イで57玉は77飛成、48玉、68龍、39玉、  
28馬、49玉、38馬迄。  
イで35玉は44銀、同桂、34飛成、26玉、25龍、  
17玉、28馬迄。

詰上り



本題も石垣。初手絶対ながらその応手がマキシ  
らしい移動合。中盤以降四枚の桂をポンポン  
と跳ねさせるリズム感を味わうべき作。

8番 マキシ詰、61手。Y-169  
(詰バラ、1986-9)

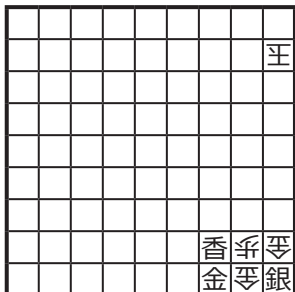


### ▲歩歩歩歩

37と、16玉、27と、イ25玉、  
26歩打、15玉、16歩打、同桂、  
同と、24玉、25歩、同桂、  
同と、13玉、14歩打、同桂、  
同と、22玉、23歩打、同桂、  
同と、11玉、12歩打、同金、  
同と、同玉（中間1図）

変化：イで同玉は28金、16玉、17金、25玉、  
26歩、15玉、16歩、同桂、同金、24玉以下  
桂金を全部剥がして、11で詰む。

中間1図：26手目12同玉の局面



### ▲金桂桂桂桂

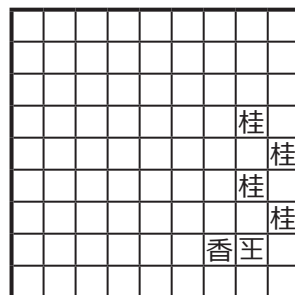
24桂、口23玉、15桂、14玉、  
26桂、25玉、17桂、16玉、  
27金、同玉、18銀、八同玉、  
29金、二同玉、39金打、18玉、  
28金、同玉（中間2図）

変化：口で21玉は12金迄。

八で16玉は27銀、同玉、28金、16玉、27  
金打、15玉、16金、24玉、25金、13玉、  
14金、22玉、23金、11玉、12歩、21玉、  
32香成迄6手早く詰む。

二で27玉は28金、16玉、27金打以下。

中間2図：44手目28同玉の局面



### ▲金歩

29金、17玉、18金、26玉、  
27金、15玉、16金、24玉、  
25金、13玉、14金、22玉、  
23金、11玉、12歩、21玉、  
32香成迄61手詰。

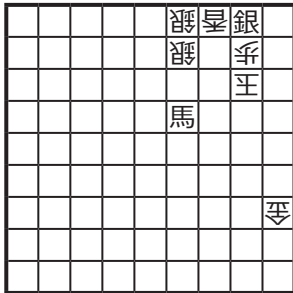
作者／一応例題用のつもり。7年くらい前の作  
ですが、44手目から60手迄の手順が238号  
の上田氏作と同一のため未発表。しかしもう時  
効と思い出頭しました。大目に見てネ。

最初の片道で玉方の4枚の桂をはがしなが  
ら追い落とす。中間1図から桂を連打しつつ  
追い上げる。右下隅で折衝のあと金で追い落と  
し、さきほど打った桂が全て消える。菱形の詰  
上りというおまけもついて気持ちの良い趣向作  
です。

作者の言葉にある上田氏の作とは次の参考  
図。マキシ詰の場合、紐なしの金で頭から抑え  
て鋸状に追い落とすのは全体で一つの手筋と  
いってよいかと思う。

参考図：上田吉一、マキシ詰、41手。

詰バラ 238号,1975-11

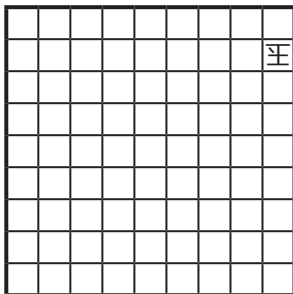


▲香

32 銀生、同玉、39 香、23 玉、  
22 馬、14 玉、13 馬、25 玉、  
24 馬、16 玉、15 馬、27 玉、  
26 馬、18 玉、17 馬、29 玉、  
28 馬、同玉、29 金、17 玉、  
18 金、26 玉、27 金、15 玉、  
16 金、24 玉、25 金、13 玉、  
14 金、22 玉、23 金、11 玉、  
12 歩、21 玉、31 香成、同銀、  
11 歩成、同玉、13 香、21 玉、  
12 香成迄 41 手詰。

マキシ詰最初期の傑作。序盤に変化が集中しているがいずれの変化もマキシルールにより捕まっている。馬による追い上げ、金による追い落としの一往復もの。39 香を最初から配置するのでなく、序盤で組み込むのが当然ながら見事です。

9番 マキシ詰、35手。Y-78  
(詰バラ、1980-12)



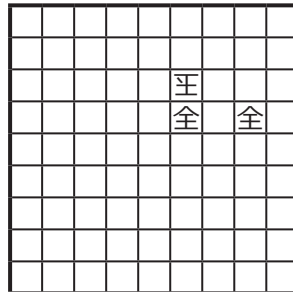
▲銀銀銀歩歩歩歩

13 銀、イ 21 玉、22 銀生、12 玉、  
13 銀打、23 玉、24 銀成、32 玉、  
33 銀生、43 玉、44 銀成 (中間図)

変化:イで 23 玉は 24 銀成、32 玉、33 全、41 玉、  
42 銀、52 玉、53 銀成、61 玉、62 歩、72 玉、  
73 銀、81 玉、82 歩以下。

2 手目 23 玉とするのは上記のように早いので、狭い方の 21 に逃げるのが本手順。ここで 22 銀と打ってしまうと駒不足になるため、22 銀生と再活用するが 12 玉と千日手模様の出だしとは皮肉。ここで 2 枚目の銀を打ち 24 銀成で上部を抑える。22 銀を再活用し 44 銀成とした 11 手目の局面が問題。マキシ詰だから同玉はなく、32 玉と 52 玉の二択を迫られる。先手は持駒の銀が 1 枚なので、広い方に逃げたい気持ちもある。どちらの変化もすぐには詰まないので、イヤラシイ。

中間図：11 手目 44 銀成まで



▲銀歩歩歩歩

□ 32 玉、33 全右、41 玉、  
42 歩、52 玉、53 全、61 玉、  
62 銀、72 玉、73 銀生、83 玉、  
84 銀成、72 玉、73 歩、81 玉、  
82 歩、92 玉、93 歩、91 玉、  
92 歩生、82 玉、83 全、71 玉、  
72 全迄 35 手詰。

変化：□で 52 玉と広い方に逃げると 53 全、  
61 玉、A62 歩、72 玉、73 銀、81 玉、82 歩、  
92 玉、93 歩、83 玉、84 銀成、72 玉、73 歩、  
71 玉、61 歩成!、82 玉、83 全、91 玉、92 全迄 31 手。



A62 歩から 61 歩成がうまい手で 82 玉を強制することが出来る。この手順があるため一見狭い 32 の方に逃げて 42 歩と一枚使わせるのが本手順になる。ところが本手順の 61 玉に対して 62 歩は、収束で歩が一枚不足し詰まない。歩の枚数が微妙に出来ている。

筆者は口の変化中 A の 62 歩に当初気づかなかった。62 歩のところで 62 銀と打つと後述するように 39 手かかり、これが正解手順ではないかとの疑念を持っていた。実際は A で上記 62 歩以下 31 手で詰む手順があるので、私が見つけた手順は変別解だったことになる。蛇足ながら華麗な (?) 変別手順を書いておく。

A62 銀、72 玉、73 銀生、83 玉、84 銀成、72 玉、62 全、81 玉、82 歩、92 玉、93 歩、91 玉、92 歩生、82 玉、83 歩、81 玉、91 歩成、同玉、82 歩成、同玉、83 全、91 玉、92 歩、81 玉、72 全右迄 39 手詰。

発表は同時ではなかったが次の煙詰とペアとなる作。裸玉の方は解付きで発表された。変化手順と本手順とが絡み合って手順には微妙な綾がある。持駒の銀が 3 枚というのがポイントで、マキシルールとは言え将棋盤の端から端までを 3 枚の銀で抑えるのには工夫が必要なのだ。基本線は 2 段目、3 段目は銀生で 4 段目は銀成という考え方となる。最後駒が足りないように思えるが、マキシ流の歩生の妙手が出て御用となる。作者は持駒の種類と枚数を調整しながら正算式で作図したに違はなく、完全作として完成できたのは努力の賜物と感銘を受けざるを得ない。

10 番 マキシ詰、137 手。Y-44 (詰バラ、1980-5)

馬	イ	イ	イ				歩	と
香	香	香	香	香			と	と
歩	と	と	と	と			と	桂
	龍	変			桂	と	桂	
			銀			と	桂	
						と	金	変
銀			銀	王	銀	イ	変	
							玉	

▲なし

56 銀上、イ 38 玉、47 銀、口同龍、88 龍、49 玉、79 龍、ハ 38 玉、68 龍、ニ 49 玉、59 龍、38 玉、48 龍、29 玉、59 龍、49 龍、同龍、18 玉、19 飛、同馬、同龍、同玉、28 角、同金、同銀、同玉 (中間 1 図)

変化:イ 58 玉は、67 銀、同龍、88 龍、69 玉 (78 龍、同龍、47 玉、48 龍迄。)、79 龍、58 玉、59 龍、47 玉、48 龍迄。

口最長移動距離の手は、同龍に決まる。

ハ 58 玉は 59 龍 67 玉 57 龍以下龍を取れ左辺ですぐに詰む。

ニで 29 玉は 59 龍 49 龍同龍 18 玉以下 4 手早い。

2 手目 58 玉はイの変化のように早詰なので、38 玉と逃げるのは限定。それでも 47 に龍を呼んで、奇妙な龍鋸でその龍を無理やり取る。右下隅で駒交換の後 29 金と据え、もう一度駒交換。マキシ詰では金で頭から抑えるのは常套手段だ。但し、斜めの逃げ道を空けておくのが肝要。そうすれば紐付きでない金で追い落とせる。

中間 1 図 : 26 手目 28 同玉の局面

馬	イ	イ	イ				歩	と
香	香	香	香	香			と	と
歩	と	と	と	と			と	桂
		変			桂	と	桂	
			銀			と	桂	
						と	金	変
							イ	
							王	

▲金

29 金、17 玉、27 金、同金、18 歩、同金、同金、同玉、19 金、27 玉、28 金、16 玉、26 と、同玉、27 金、15 玉、14 と、同玉、13 桂成、15 玉、14 圭、同玉、25 と、同玉、

26 金、14 玉、13 と、同玉、  
 12 桂成、14 玉、13 圭、同玉、  
 24 と、同玉、25 金、13 玉、  
 12 と、同玉、11 桂成、ホ 13 玉、  
 12 圭、同玉 (中間 2 図)

変化:ホで同玉は、21 と、同玉、32 桂成、12 玉、  
 22 圭、13 玉、23 圭迄。

凝った攻め駒をほぐすような 1 サイクル 10  
 手の繰り返し趣向によって、19 に打った金が  
 ずいずいと上がっていく。中間 2 図の局面で  
 は手拍子で 23 ととすると詰まない。

中間 2 図 : 68 手目 12 同玉の局面



▲なし

22 と寄、同歩、23 と!、同玉、  
 24 金、12 玉、13 金、21 玉、  
 2 桂成、同玉、22 金、41 玉 (中間 3 図)

22 とから 23 との呼吸がいい感じ。縦追  
 から横追いに切り替わる右上隅のターンがあま  
 りにも自然だ。どうしてこううまくいくのだろ  
 う。

中間 3 図 : 80 手目 41 玉の局面



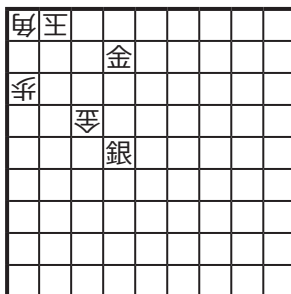
▲なし

51 香成、へ同と、42 歩、同と、  
 同と、同玉、32 金、51 玉、  
 61 香成、同と、52 歩、同と、  
 同と、同玉、42 金、61 玉、  
 71 香成、同と、62 歩、同と、  
 同と、同玉、52 金、71 玉、  
 81 香成、同銀、72 歩、同銀、  
 同と、同玉、62 金、ト 81 玉 (中間 4 図)

変化 : へ同玉は、52 歩、同と、同と迄。  
 ト 83 玉は、74 銀、同玉、75 金、83 玉、84 金、  
 92 玉、93 金、81 玉、72 銀迄。

打歩詰にならぬよう後手方のと金を近づけて  
 から精算する 8 手一組の手順で横に追う。序  
 盤の 19 金が旅路の果てに左上隅迄来た。さあ  
 いよいよ収束。65 銀がうまく消えるか心配に  
 なるが…。

中間 4 図 : 112 手目 81 玉の局面



▲銀

72 銀、92 玉、83 銀成、同玉、  
 74 銀、同玉、75 金、83 玉、  
 84 金、92 玉、93 金、81 玉、  
 82 歩、同角、同金、同玉、  
 64 角、93 玉、75 角、82 玉、  
 72 金、91 玉、64 角、92 玉、  
 82 角成迄 137 手詰。

詰上り

王	馬	金							

大西宏明／趣向中や収束の紐なし戦法が良い。  
 詰上がり一文字の見事な煙。  
 飯島士朗／難解かつ華麗。A  
 福井敏幸／序盤の龍鋸、右上隅の転回、収束す  
 ばらしい。A  
 担当者（加藤徹）／龍鋸と2つの追い趣向を  
 見事に融合させたマキシ煙の傑作。フェアリー  
 ファンでない人もぜひ並べてみてほしい。

マキシルールに慣れないと最後の64角以下  
 の9手詰さえ気づき難い。煙詰とは言え、縦  
 追い横追いは別々にストックしておいた手順  
 で、それらを巧みにドッキングさせたと見る。  
 氏の煙詰は大規模趣向手順を中心に構成されて  
 いるのが特徴である。

なお、マキシ煙詰第一号の栄誉は第10番と  
 同時発表の次図、服部敦氏の「佐保姫」と分か  
 ち合った。

参考図 服部敦、マキシ詰「佐保姫」、119手。  
 (詰バラ、1980-5)

雫	雫		マ	マ	マ	マ	圭		
雫	マ	杏	と						
雫	マ	杏	と	と	と	と	圭	圭	
雫	マ	杏					歩		
マ	マ	杏							
王	マ	馬	我						
鋸									
	銀	銀	馬						
と	飛	と	銀						

▲なし

97 銀、同と、86 飛打、同角、  
 同飛、同と、87 角、同角、  
 同銀、同玉、78 角、同桂成、  
 同銀、96 玉、88 桂、同と、  
 87 銀、同玉、88 と右、96 玉、  
 97 歩以下 119 手詰。

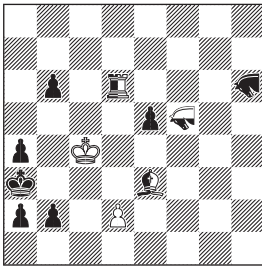
# A Chess Composition Lesson

## Vlaicu Crişan

With the occasion of World Congress for Chess Composition 2021 (Rhodes, Greece) was organized an internet tournament for H#2/3 with neutral units (pawns included, kings not allowed). The set theme was: In each phase a neutral unit plays when it is Black's turn to move and later when it is White's turn to move or vice versa. The thematic moves could be played immediately (one right after the other) or with a delay.

I submitted the following composition, seduced by the idea of having the neutral pieces doubled pinned on two different Rose lines:

1 Vlaicu Crişan  
Rhodes 2021 1st HM



H#2 2 Sols (2+7+3)

b) bPe5 → h6

Rose f5 h6

Neutral Rd6 Be3 ROf5

a) 1.nROe7 nRxh6 2.nRh3 nRxe3#

1.nROg3 nBxh6 2.nBf8 nBxd6#

b) 1.nROf1 nRg6+ 2.nRg3 nRxe3#

1.nROc8 nBg5+ 2.nBe7 nBxd6#

The judge Kostas Prentos aptly commented:

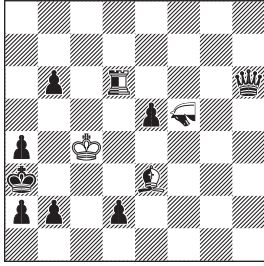
*Two pairs of similar looking solutions, but with enough differentiation to justify*

*having both of them: In twin a, the nRd6 and nBe3 are pinned by both Roses. The neutral Rose unpins one, while maintaining the pin of the other. The unpinned piece captures the black Rose that was pinning it and ends up capturing the other pinned neutral piece on the last move. The mate works, because of the pin by the neutral Rose. In twin b, with the black Rose gone, the neutral Rose plays a critical move to allow the transfer of the pinned nRd6/nBe3 on a different pin square, from which it can capture the other neutral piece, giving a battery double-check mate.*

*It is unfortunate that the matrix requires the use of both the bPe5 and bROh6 in twin a, and neither of them in b. The author was able to link the twins in an acceptable, albeit crude way.*

Fast forward in 2023. While judging the entries submitted for selection in the FIDE Album, the judge Jacques Rotenberg discovered this entry. It was surely love at first sight, as he was able to eliminate the flaw mentioned by the judge by initially suggesting the replacement of the black Rose with a black Queen and subsequently turning the white Pawn into a black one:

2 Vlaicu Crişan  
Rhodes 2021 1st HM (version)

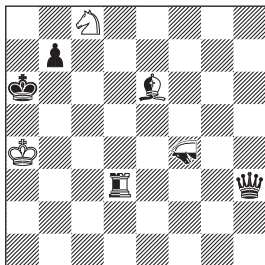


H#2 4 Sols (1+8+3)  
Neutral Rd6 Be3 ROF5

1.nROf1 nRg6+ 2.nRg3 nRxe3#  
1.nROc8 nBg5+ 2.nBe7 nBxd6#  
1.nROe7 nRxb6 2.nRh3 nRxe3#  
1.nROg3 nBxb6 2.nBf8 nBxd6#

But Jacques did not stop here and produced an even more substantial improvement, removing four pieces, changing two solutions and making also the neutral Rose deliver two mates:

3 Jacques Rotenberg  
Vlaicu Crişan  
Rhodes 2021 1st HM



H#2 4 Sols (2+3+3)  
Neutral Rd6 Be3 ROF4

1.nROf8 nRg3+ 2.nRg6 nRxe6#  
1.nROc1 nBg4+ 2.nBe2 nBxd3#  
1.nROe2 nRxb3 2.nRh6 nROxe6#  
1.nROg6 nBxb3 2.nBf1 nROxd3#

Jacques also mentions the bQh3 can be replaced also be a black Rose, but thinks a

black Queen is better.

Now that' s how a good problem can be turned into a great one! Thank you very much, Jacques, for this instructive lesson – I hope *Problem Paradise* readers will be able to learn from these examples as much as I did.

## Definitions

### <一般的通則>

# : 最終目的がメイトであることを表示する。

= : 最終目的がスタイルメイトであることを表示する。

= = : 最終目的が双方スタイルメイトであることを表示する。

+ : 最終目的がチェックであることを表示する。

v : 紛れ (try) を表す。個数は、テーマとなる紛れの数を表す。

\* : Set Play を表す。オーソドックスやセルフメイトの場合は黒から指し始め、ヘルプメイトの場合は白から指し始める。作意手数から 0.5 手を引いた手数になる。

sols : solutions すなわち「解」のこと。指定された数だけ解があり、これは余詰ではなく、作意設定のうちに入っている。

b) c) ... : 問題図を a) とし、指定のように配置を変えた図を b) c) ... として、いずれも a) と同じ条件で解くこと。

Zeroposition : ツイン設定のために便宜上使用される図。この指定があるときには、問題図そのものを解く必要はなく、そこから配置を変えた図 a) b) ... のみを解くこと。

◆盤上にフェアリー駒がある場合、P はそのフェアリー駒にも成れる。

◆キャスリング可能な位置にある K と R は、それが不可能であるという証明ができないかぎりキャスリング可能とみなされる。逆にアンパッサン可能な位置にある P は、直前の手が取られる P が動いたものと証明ができない限りアンパッサン不可能とする。

### <問題設定>

**Direct** (記号無し) : #n では、白から指し始め、n 手で黒をメイトにする手順を求める。黒はそれに抵抗する。

**Duplex** : H#n(=n) において黒から指し始めて黒をメイトにする手順と、白から指し始めて白をメイトにする手順の双方を求めるもの。

**Help (H)** : H#n では、黒が白に協力し、n 手で黒をメイトにするような手順を求める。通常黒から指し始める。白から指し始める場合は、0.5 手分を引いた形で表記する。

**Helpself (HS)** : HS#n では、ヘルプで (n-1) 手指して、そこから S#1 になるような手順を求める。通常白から指し始める。

**Parse Series-help (PSH)** : Series-help で、黒が連続して指す手順中にチェックをかけることもでき、その場合は直後に白が 1 手指す、としたもの。

**Parse Series-self (PSS)** : Series-self で、白が連続して指す手順中にチェックをかけることもでき、その場合は直後に黒が 1 手指す、としたもの。

**Proca-Retractor -n&#1** : 白から戻し始めて、n 手以内で、白が黒を 1 手でメイトにできるような局面を作るのが目的。黒は抵抗する。なお、黒にも白と同様、逆算してから 1 手詰にする権利がある。これを Forward Defense という。

**Proof Game (PG)** : 実戦初形から始めて、指定された手数で問題図に至るような手順を求める。

**Self (S)** : S#n では、白から指し始め、白が自分を n 手でメイトにさせるよう黒に強制する手順を求める。

**Series-Direct (Series)** : Series#n では、白が連続して n 手指し、黒をメイトにする手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

**Series-help (SH)** : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が 1 手でメイトなどの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

**Series-helpself(SHS)**: 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が HS#1 などの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

**Series reflex (SR)**: 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にできるような手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならないし、黒のキングを 1 手でメイトにできるような局面を作ってはならない。

**Series-self (SS)**: 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にするよう強制される手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

#### <フェアリールール>

**Alphabetical Chess (ABC)**: 盤面の柁目に a1, a2, … a8, b1, b2, … h8 という order が付いているとしたとき、すべての着手は、この order でいちばん a1 の近くにあり、柁目の自駒を動かさなくてはならない。

**Andernach**: K 以外の駒は、駒を取ると色が変わって相手の駒になる。新しく発生した R はキャスリング可能。

**AntiCirce**: 駒を取るとき、取る駒 (K を含む) は初形位置に戻り、取られた駒は盤上から消える。取る駒の初形位置が何らかの駒 (取る駒と取られる駒を除く) によって占領されているときは、駒が取れない。細則は Circe に準じる。

**AntiCirce Cheylan**: 取る駒がその原形位置に着地するような取りは禁手とした Anticirce。

**Antipodean AntiCirce**: 取った駒は取った位置から ( $\pm 4$ ,  $\pm 4$ ) の地点に復活する。8 段目に発生した P は任意の駒に成れ、その選択は取りを行った側が決められる。1 段

目に発生した P は動けない。

**AntiTake&Make**: 駒を取ったとき、取られた駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動は、取られた駒の動き。

**Breton**: 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取った側から消える。その駒が 1 つ以上ある場合は、取った側が選択できる。

**Breton Adverse**: 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取られた側から消える。その駒が 1 つ以上ある場合は、取った側が選択できる。

**Checkless Chess**: チェックメイトにできるときを除いて、双方ともチェックをかけてはならない。

**Circe**: K 以外の取られた駒は初形位置に再生する。R および S の初形位置は取られた場所の色によって決まる。P の初形位置は取られた筋の 2 段目。フェアリー駒の初形位置は取られた筋の 8 段目。取られた駒の初形位置が何らかの駒によって占領されているときはその駒は通常通り盤上から消える。初形位置に戻った R はキャスリング可能。初形位置に戻った P は 2 歩進むことが可能。

**Circe Assassin**: 取られた駒は、その初形位置がふさがっている場合でも、そこに再生する。その場合に、元いた駒は消える。初形位置にある駒は取ることができない。

**Equipollents Circe**: 取られた駒は、取られた位置から取った駒の取りの動きのベクトルだけずれた地点に復活する。最上段に復活した P は成り駒として復活する。

**Make&Take**: 駒を取るとき、その駒はまず取られる駒の動き (取られる側から見た動き) で移動して、その地点から駒を取る。

**Maximummer**: 黒は可能な手の中で移動距離 (升目の中心から、中心までの距離) が最大の手を指すとする条件 (複数存在するときには、黒はその中から選択できる)。キ

ヤスリングの移動距離はK,Rの移動距離を足したもの(0-0は2+2=4、0-0-0は2+3=5)。チェックおよびメイトの概念はオーソドックスと同じ。

**MinDister** : 「距離」を指定された白と黒の駒の距離と定義したうえで、黒はこの「距離」を最小にするような着手の中から選択する。

**Platzwechselcirce (PWC)** : 駒を取るとき、取られた駒は取る駒のいた位置に再生する。8段目に発生したPは任意の駒に成れ、その選択は取りを行った側が決められる。1段目に発生したPは動けない。

**Sentinels** : P以外の駒を動かしたとき、その動く前の位置に同じ色のPが発生する。1段目と8段目には発生しない。また、盤上の片方のPの総数は8枚を越えない。このPの発生による局面の合法性は問わない。

**Take&Make** : 駒を取ったとき、その駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動する手は、取られた駒の動き(取られた側から見た動き)になる。Pは1段目に移動できない。

**Transmuted Kings** : チェックをかけられたKは、その瞬間にチェックをかけた駒の働きをするというルール。特に断らない限り、このルールは双方のKに適用される。

**WandelSchach** : 駒が1段目、2段目、7段目、8段目に入ると、その原形位置の駒および色になる。Kは変化しないが、何かの駒がe1またはe8に入ることによってKになることもある。

#### <フェアリー駒>

**Camelrider** : (1,3)-Rider。

**Grasshopper** : Qの筋で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

**Leaper** : Sの様な動きの駒の総称。(x,y)-Leaperは駒の居る位置から縦横に(x,y)または(y,x)だけ離れた地点に着地する。間

に駒があっても飛び越えられる。例えばSは(1,2)-Leaper。

**Locust** : Qの筋で、相手の駒を1枚跳び越して、その直後の地点に着地する駒。着地点は空いている必要があり、かつ跳び越された駒は取られて消える(取りなしで動くことはできない)。

**Neutral** : 白および黒のどちらからも動かせる駒。取ったり取られたりすることもできる。nの記号で表し、nQという風に表記する。nPは成るとNeutral駒に成る。ただし、普通のPがNeutral駒に成ることはできない。フェアリー駒が盤上に現れている場合は、nPはそのNeutralフェアリー駒に成れる。

**Nightrider** : (1,2)-Rider。

**Pao** : Chinese pieceの一つ。Rのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

**Psycho** : (R+B+S)の3種を合体した駒。ただし、たとえば直前の動きがSであったとすれば、次の瞬間にはSの機能を喪失して(R+B)の機能になる。この場合をPsycho-Sと書く。キャスリングには使えない。

**Rider** : RやBなど一定の方向にどこまでも進めるが駒にぶつくとその先には進めない駒の総称。(x,y)-Riderは進める方向が(x,y)-Leaperの延長となる。例えばRは(0,1)-Rider。

**Rook-Hopper** : Rの筋の線上で、一つ駒を跳び越して、その直後の地点に着地する駒。着地地点に敵の駒があれば取れる。

**Rook-Locust** : LocustをRの筋に限定した駒。

**Rose** : 円形の軌跡を描くNightrider。正確には、Nightriderのように直線上を進むのではなく、そのジャンプのたびごとに45度右(または左)へ曲がる。この利き筋の途中に何かの駒がはさまっていると、その先には動けない。たとえば、d5にあるRoseは、



d5-e7-g8, d5-f6-h5, d5-f4-g2, d5-e3-d1,  
d5-c3-a2, d5-b4, d5-b6-a8, d5-c7 という  
8方向に利いている。

**Royal** : Kの代わりにする駒。チェックやメイトの概念を、Kではなく Royal 駒に適用する。

**Shooter** : XY Shooter は、取りなしで動くときにはX、駒を取るときにはYの働きをする駒。

**Vao** : Chinese piece の一つ。Bのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

**Zebra** : (2,3)-Leaper。

## 第 100 号解答通算成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	45	45	115	15	170	45	10	445
内田 昭	25		65		51		10	151
及川弘典	35		115	15	90		5	260
小畑 勉	15		15					30
黒川智記	25		55	15			5	100
齋藤光平			22.5				10	32.5
則内誠一郎	25	20	115	10	150	10	5	335
太刀岡甫	45	15	110	15	150	25	10	370
中嶋正和	43	8	64.5	15	59	2	5	196.5
原岡 望	5		10				5	20
水野勝久	15		25		40		5	85
宮嶋亮一	10		10					20
吉田直嗣							10	10

解答募集形式の最終号となる第 100 号には、12 名の解答参加者がありました。

総合成績では、太刀岡甫さんが 370 点（83%）の驚異的な好成績でトップ。則内誠一郎さんが 335 点（75%）、及川弘典さんが 260 点（58%）で続きました。

本号の新作は、解答募集をしておりませんが、ぜひ自力で解いていただき、コメントを別に用意した Google Form でお送りください。

## 第 97-100 号解答通算成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	290	140	435	65	575	90	45	1640
内田 昭	<b>115</b>		<b>227.5</b>		<b>84</b>		25	<b>451.5</b>
馬屋原剛			58					
及川弘典	<b>233</b>		<b>432.5</b>	<b>55</b>	<b>187</b>		<b>35</b>	<b>942.5</b>
小畑 勉	<b>85</b>		<b>75</b>	5				<b>165</b>
黒川智記	94		105	35			30	264
齋藤光平			22.5				25	47.5
塩見 亮	65	7	129.5		28		15	244.5
須川卓二	233		289	60	83	0	30	695
則内誠一郎	<b>180</b>	<b>48</b>	<b>427.5</b>	<b>30</b>	<b>448</b>	20	<b>35</b>	<b>1188.5</b>
太刀岡甫	<b>258</b>	15	<b>394</b>	<b>55</b>	<b>384</b>	35	<b>60</b>	<b>1201</b>
中嶋正和	<b>214</b>	<b>36</b>	<b>244</b>	<b>60</b>	117	2	<b>30</b>	<b>703</b>
原岡 望	<b>45</b>		12.5				<b>20</b>	<b>77.5</b>
水野勝久	<b>75</b>		<b>83</b>	5	55		15	<b>233</b>
宮嶋亮一	<b>50</b>							<b>50</b>
泰永三二郎							10	10
吉田直嗣			85				<b>50</b>	<b>135</b>
Klaus Wenda						19		19

第 25 巻 (97-100 号) には、17 名の解答参加者がいました。

上の表で、太字は皆勤を表します。

通算成績では、デッドヒートの結果、太刀岡甫さんが 1201 点で、常勝の則内誠一郎さんを押さえて解答王に輝きました。賞品として、プロブレム書籍をお送りします。

また、これまで解答でプロバラを支援していただいた、小畑勉さん、原岡望さん、水野勝久さん、宮嶋亮一さん、以上 4 名の方々に、JCPS が発行しているプロブレム書籍を賞品としてお送りします。長いあいだ、ありがとうございました。